

『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換

## 2024年度 単位互換履修生 募集要項

岡 山 大 学

吉 備 国 際 大 学

岡 山 県 立 大 学

倉 敷 芸 術 科 学 大 学

岡 山 学 院 大 学

く ら し き 作 陽 大 学

岡 山 商 科 大 学

山 陽 学 園 大 学

岡 山 理 科 大 学

就 実 大 学

川 崎 医 科 大 学

中 国 学 園 大 学

川 崎 医 療 福 祉 大 学

ノートルダム清心女子大学

環 太 平 洋 大 学

美 作 大 学

# 目 次

1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について.....	1
2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目).....	2
3. 出願方法について.....	2
4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について.....	3
5. 開講科目一覧.....	4
6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」.....	12
7. 各大学提供科目.....	17
(1) 岡山大学.....	18
(2) 岡山県立大学.....	62
(3) 岡山学院大学.....	74
(4) 岡山商科大学.....	79
(5) 岡山理科大学.....	115
(6) 川崎医科大学.....	140
(7) 川崎医療福祉大学.....	146
(8) 環太平洋大学.....	154
(9) 吉備国際大学.....	158
(10) 倉敷芸術科学大学.....	169
(11) くらしき作陽大学.....	182
(12) 山陽学園大学.....	192
(13) 就実大学.....	204
(14) 中国学園大学.....	230
(15) ノートルダム清心女子大学.....	235
(16) 美作大学.....	266

## 付属資料・・・事件・事故報告書

### ※ 「所属大学」と「科目提供大学」

この要項では、学生にとって自分が在籍している大学を「所属大学」、その学生を単位互換履修生として受け入れ、授業科目を提供する他大学を「科目提供大学」と呼びます。

## 1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について

### (1) 制度の概要

この単位互換制度は、『大学コンソーシアム岡山』参加大学で協定を結ぶ岡山県内16大学間において互いに学生の受け入れを行い、それぞれの科目提供大学等において修得した単位を所属大学等の正規の単位として組み入れる制度です。

この制度を利用して他大学で履修する学生は、「単位互換履修生」と呼びます。

### (2) ねらい

異なる専門分野を持つ大学等の間において、制度的・恒常的な交流を行うことを通じて視野が広く行動力のある人材を養成することを期待しています。

### (3) 参加大学

- |              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| (1) 岡山大学     | (10) 倉敷芸術科学大学                   |
| (2) 岡山県立大学   | (11) くらしき作陽大学                   |
| (3) 岡山学院大学   | (12) 山陽学園大学                     |
| (4) 岡山商科大学   | (13) 就実大学                       |
| (5) 岡山理科大学   | (14) 中国学園大学                     |
| (6) 川崎医科大学   | (15) ノートルダム清心女子大学<br>(女子のみ受け入れ) |
| (7) 川崎医療福祉大学 |                                 |
| (8) 環太平洋大学   | (16) 美作大学                       |
| (9) 吉備国際大学   |                                 |

### (4) 履修できる科目

「5. 開講科目一覧」(4ページ～)に記載されている科目(本人の所属大学の科目を除く)ただし、科目によっては科目提供大学により履修制限を行う場合があります。

### (5) 履修できる単位数

所属大学等の定めに従ってください。

### (6) 単位認定

大学設置基準第28条及び各大学等の定めに基づき、所属大学等の正規の単位として認定されます。

### (7) 授業料について

単位互換に関する授業料は無料で、それぞれが所属大学に納入する授業料がこれに充てられます。ただし、科目によっては実習費等の実費を徴収することがあります。

### (8) 出願資格

3. の参加大学等に在籍する学生で、所属大学等の許可を得た学生

### (9) その他

履修期間中は、各科目提供大学の定める範囲において、図書館等の施設を利用することができます。

## 2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目)

大学コンソーシアム岡山の単位互換科目には、2つの授業形態(遠隔授業・対面授業)があり、科目一覧及びシラバスに、どの形態で行われるかを表示しています。授業形態により履修のための手続き等が異なるため、「4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について」を参照してください。

### (1) 遠隔授業科目

他大学の授業を所属大学の講義室等から、オンライン(双方向ライブ型, オンデマンド型)で受講する。

- ・ 授業時間は、科目提供大学の時間割に従います。
- ・ 授業の内容によっては、他の授業形態も組み合わせて実施することがあります。

### (2) 対面授業科目

科目提供大学の講義室で行われている授業を、その大学に向いて受講するもの。

## 3. 出願方法について

### (1) 申込受付期間及び受付窓口

所属大学の担当窓口で、所定の期間内に出願書類を提出してください。

なお、所属大学で選考を行うことがありますので、担当窓口で指示を受けてください。

所属大学名	担当窓口	申込受付期間
岡山大学	学務部 学務企画課	<b>前期受付： 2024年3月4日(月) ~4月8日(月)</b>  <b>後期受付： 2024年7月1日(月) ~9月24日(火)</b>  ※所属大学の担当窓口受付時間中に限ります。  科目提供大学によっては、この他の時期に受付を行うことがあります。 「7. 各大学提供科目」(P.17~)で確認してください。  また、所属大学等によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
岡山県立大学	教学課 教務班	
岡山学院大学	学務課 教務係	
岡山商科大学	教務課	
岡山理科大学	教学支援部 教務課	
川崎医科大学	事務部 教務課	
川崎医療福祉大学	事務部 教務課	
環太平洋大学	教務課	
吉備国際大学	スチューデントサポートセンター 教務部 教務課	
倉敷芸術科学大学	学務部 教務課	
くらしき作陽大学	教育企画部 教育支援室	
山陽学園大学	教務部 教務課	
就実大学	教務課	
中国学園大学	教務課	
ノートルダム清心女子大学	学務部	
美作大学	教務課	

※岡山医療専門職大学と新見公立大学の学生は履修できません。

### (2) 出願書類

#### ① 単位互換履修科目履修願

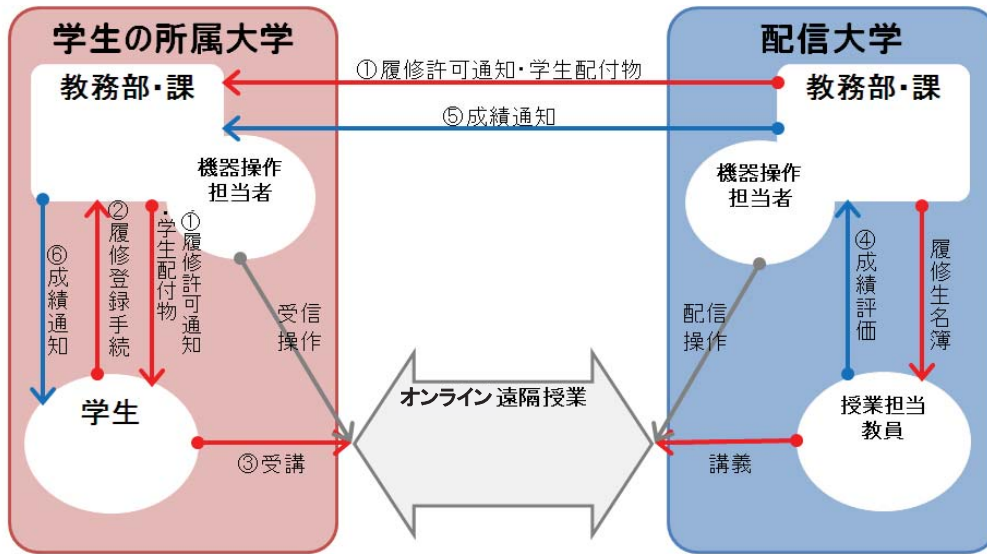
#### ② 学生証等用写真(カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入してください。)

必要枚数は、科目提供大学により異なります。

「単位互換履修科目履修願」下部の指示を読んで提出してください。

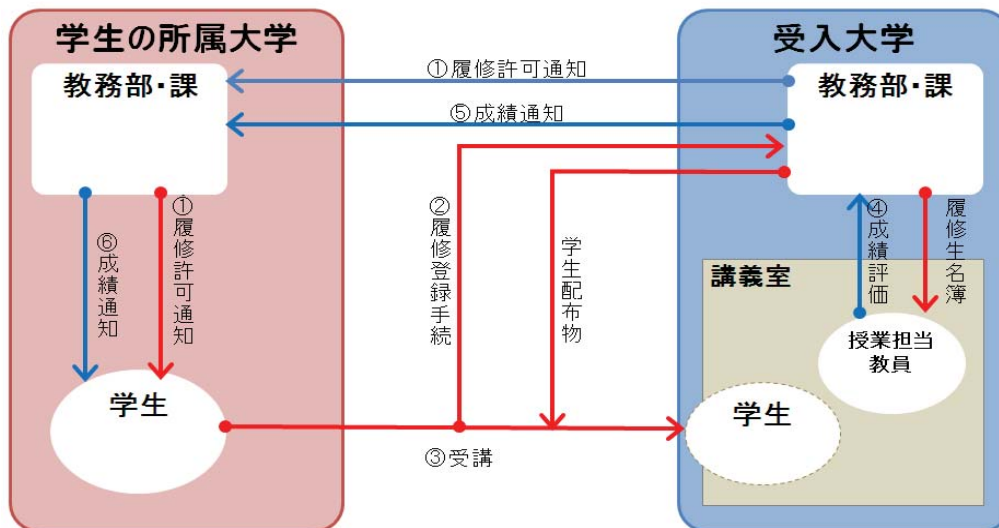
#### 4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について

##### (1) 遠隔授業科目(双方向ライブ型, オンデマンド型)



- ① 「履修許可通知・学生配付物」 科目提供大学によって異なります。
- ② 「履修登録手続」 科目提供大学により異なり, 特に必要がないこともあります。
- ③ 「受講」 遠隔授業は, 所属大学の講義室等からオンラインで受講します。
- ④ 「成績評価」 成績評価方法は, シラバスに記載されています。期末試験等を実施する場合は, 所属大学において期日と場所が決定され, 実施されますので, 所属大学で指示を受けてください。レポート提出の場合は, 所属大学の教務担当窓口へ提出する・電子メールにより提出する等, 授業中に指示があります。

##### (2) 対面授業科目



- ② 「履修登録手続」 対面授業科目の履修を許可された学生は, 科目提供大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。(別途履修手続きが必要な大学では, 手続きが完了するまでは, 仮履修期間として扱われます。)

科目提供大学の担当窓口や注意事項等は, 「7. 各大学提供科目」で確認してください。

- ④ 「成績評価」 成績評価の方法は, 各科目のシラバスにより確認してください。

試験の実施・レポート・課題等の提出については, すべて科目提供大学の規定に従い行われますので, 科目担当教員からの指示に従ってください。

## 5. 開講科目一覧

授業時間及び各科目のシラバスは、「6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目<ちゅうぎん『金融知力』講座>」及び「7. 各大学提供科目」を参照してください。

### (1) 遠隔授業科目

大学	No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限
岡山大学	01101	素粒子と宇宙	教養	吉村 浩司 増田 孝彦	1	第1学期	1~4	受講方法を、遠隔又は対面のどちらかを選択し、受講してください。	金 8:40~10:30
	01102	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3 第4学期	3~4	理工系学部 3 年次以上	月 15:30~17:20
	01103	生活と物理学	教養	池田 直	1	第1学期	1~2	講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること。開講時間に合わせて、講義資料をダウンロードする。文系学生向き	月 15:30~17:20
	01104	現代社会と先端的物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1~2		火 13:25~15:15
岡山県立大学	02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1	オンデマンド配信	水 14:20~15:50
美作大学	16101	韓国語 I	教養	朴 貞淑	1	前期	1~4	オンライン授業 定員 20 名	金 12:40~14:10
	16102	韓国語 II	教養	朴 貞淑	1	後期	1~4	オンライン授業 定員 20 名	金 12:40~14:10

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山大学 コーディネート	20001	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	8/26~8/27(各日 9:00~17:00)	
	20002	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	8/28~8/29(各日 9:00~17:00)	
岡山大学	01001	フランス語コミュニケーション 1	専門	萩原 直幸	2	第1 第2 学期	1~4		火 8:40~10:30
	01002	フランス語コミュニケーション 2	専門	萩原 直幸	2	第3 第4 学期	1~4		火 8:40~10:30
	01003	中等社会科・公民科指導法ⅠA	専門	桑原 敏典	1	第2 学期	2~4		火 15:30~17:20
	01004	中等社会科・公民科指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		火 15:30~17:20
	01005	GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論	専門	桑原 敏典	1	第3 学期	2~4		月 8:40~10:30
	01006	中等社会科・公民科指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		木 8:40~10:30
	01007	中等社会科・公民科授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		月 8:40~10:30
	01008	法と正義	専門	大森 秀臣	2	前期	3~4		金 18:00~19:30
	01009	経営学入門	専門	藤井 大児	2	第1 第2 学期	1~4		月 19:40~21:10
	01010	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2 学期	1~4		月 8:40~10:30
	01011	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1 学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認し、事前に担当教員の許可を得ること	火 15:30~17:20
	01012	健康・スポーツ科学 C	教養	鈴木 久雄 榎本 翔太	1	1~4 また がり	1~4		水 18:30~20:10
	01013	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15
	01014	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2 学期	1~4		火 13:25~15:15
	01015	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を合わせて受講することが望ましい。	火 13:25~15:15
	01016	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4 学期	1~4		火 13:25~15:15
	01017	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3 学期	1~4	文系学生対象	月 10:45~12:35
	01018	数理・データサイエンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第3 学期	1~4	理系学生対象	月 10:45~12:35
	01019	安全衛生入門	教養	寺東 宏明 他	1	第4 学期	1~4		金 13:25~15:15
	01020	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第1 学期	1~4	同一科目のため、 どちらかを受講すること	月 13:25~15:15
	01021	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第2 学期	1~4		金 13:25~15:15
	01022	ESD「持続可能な開発のための教育」のホール・コミュニティ・アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3 学期	1~4	学外活動があります。	火 13:25~15:15

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山大学	01023	子どもの歴史の学び方Ⅰ —今をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第1学期	1~4	第2学期の「子どもの歴史の学び方Ⅱ—未来をつくる歴史—」と合わせて履修することが望ましい。	木 8:40~10:30
	01024	子どもの歴史の学び方Ⅱ —未来をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第2学期	1~4	第1学期の「子どもの歴史の学び方Ⅰ—今をつくる歴史—」を履修していないと履修できない。	木 8:40~10:30
	01025	交流による子どもの成長支援Ⅰ	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	学外での活動が多い授業です。そのため、必ずしも時間割に示された時間に実施するわけではありません。	月 15:30~17:20
	01026	交流による子どもの成長支援Ⅱ	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		月 15:30~17:20
	01027	対話による社会参画入門 入門編	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	第4学期の「対話による社会参画入門 上級編」と合わせて履修することが望ましい。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20
	01028	対話による社会参画入門 上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	第3学期の「対話による社会参画入門 入門編」を履修していないと履修できない。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20
	01029	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1学期	1~4	担当教員からの履修許可があれば1年生も履修可 中国語初級履修経験者 重複履修可	火 10:45~12:35
	01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2学期	1~4		火 10:45~12:35
	01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3学期	1~4		火 10:45~12:35
	01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35
01033	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センター ●定員 15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/24~26(3日間)	
岡山県立大学	02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50
	02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2		金 14:20~15:50
	02003	符号理論	専門	榊原 勝己	2	後期	3		金 8:40~10:10
	02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3	対面・オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50
	02005	組込みシステム	専門	有本 和民	2	前期	3		火 10:20~11:50
	02006	行動情報科学	専門	綾部 誠也	2	前期	3		水 12:40~14:10
	02007	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	通年集中	3	集中授業 8月下旬予定(5コマ×3日間)	
	02008	木構造学・木構造デザイン	専門	向山 徹	2	通年集中	3	集中授業 8/26~28(5コマ×3日間)	
岡山学院大学	03001	栄養教育論	教養	内田 雅子	2	前期	2	定員 10名	土 10:50~12:20



## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山商科大学	04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員 20 名	木 13:10～14:40
	04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員 20 名	木 13:10～14:40
	04003	民法概説	専門	倉持 弘	2	前期	1～4	定員 20 名	月 9:00～10:30
	04004	民法総則	専門	倉持 弘	2	後期	2～4	定員 20 名	金 15:00～16:30
	04005	刑事政策	専門	白井 諭	2	前期	2～4	定員 20 名	月 13:10～14:40
	04006	現代刑事法	専門	白井 諭	2	後期	2～4	定員 20 名	火 15:00～16:30
	04007	労働経済学	専門	三谷 直紀	2	後期	2～4	定員 15 名	火 13:10～14:40
	04008	ミクロ経済学 B	専門	熊代 和樹	2	後期	2～4	定員 15 名	水 10:50～12:20
	04009	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30
	04010	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30
	04011	マクロ経済学 B	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員 15 名	火 9:00～10:30
	04012	岡山経営者論Ⅰ	専門	陳 惠貞	2	前期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30
	04013	岡山経営者論Ⅱ	専門	陳 惠貞	2	後期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30
	04014	簿記論Ⅰ	専門	陶 静	2	後期	1～4	定員 15 名	金 10:50～12:20
岡山理科大学	05001	データの数理Ⅱ	専門	大江 貴司	2	秋	3～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05002	鉱物科学	専門	新原 隆史	2	春	2～4	定員 10 名	火 13:15～14:45
	05003	量子力学の基礎	専門	金子 敏明	2	秋	2～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05004	安全化学	専門	岩永 哲夫	2	春	3～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05005	微生物学	専門	水野 信哉	2	春	2～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05006	再生医療移植学	専門	片岡 健	1	秋	2～4	定員 10 名	火 10:55～12:25
	05007	分子遺伝学Ⅰ	専門	池田 正五	2	春	2～4	定員 10 名	木 9:10～10:40
	05008	機械製図Ⅱ	専門	田中 雅次	2	秋	1～4	定員 10 名	月 13:15～16:30
	05009	センサ工学	専門	河村 実生	2	春	3～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05010	画像処理とCG	専門	島田 英之	2	秋	2～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05011	ナノサイエンス	専門	竹崎 誠	2	秋	3～4	定員 10 名	木 13:15～14:45
	05012	エコロジカルデザイン	専門	増田 俊哉 他	2	秋	3～4	定員 10 名	木 10:55～12:25
	05013	医用工学概論	専門	松宮 潔	2	春	1～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05014	ロボット工学概論	専門	藤本 真作	1	春	1～4	定員 10 名	木 9:10～10:40
	05015	発酵と食品科学	専門	三井 亮司	2	秋	2～4	定員 10 名	火 13:15～14:45

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山理科大学	05016	エコ・ツーリズム技法	専門	能美 洋介 他	2	通年	1～4	若干名	夏季集中
	05017	現代日本語の多様性と運用	専門	ダツタ シヤミ	1	春	2～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05018	商学基礎	専門	大藪 亮	2	春	1～4	定員 10 名	月 15:00～16:30
	05019	マナーマイスター講座 初級	専門	重松 利信 他	2	秋	1～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05020	Presentation	教養	前川 洋子	2	秋	2～4	定員 10 名	木 15:00～16:30
川崎医科大学	06001	生命科学 I	教養	西松伸一郎 他	2	第 1 学期	1	若干名	曜日・時限は シラバス参照
川崎医療福祉大学	07001	健康科学論	教養	矢野 博己	2	秋 学期	1～4	定員 15 名	水 12:45～14:15
	07002	自閉症の理解と支援	教養	諏訪 利明 他	2	春 学期	1～4	定員 15 名	水 12:45～14:15
	07003	生命科学	教養	竹内 雅貴	2	春 学期	1～4	定員 15 名	水 12:45～14:15
	07004	健康と音楽	教養	原山 秋 他	2	秋 学期	1～4	定員 15 名	水 12:45～14:15
	07005	ヒューマンセクシャリティ ー論	教養	谷野 宏美 他	2	秋 学期	1～4	定員 15 名	水 12:45～14:15
環太平洋大学	08001	スポーツ栄養学	専門	保科 圭汰	2	後期	2～4	定員 若干名	月 10:45～12:15
吉備国際大学	09001	社会学	教養	赤坂 真人	2	秋 学期	1～4	高梁キャンパス開講	火 11:10～12:40
	09002	生涯スポーツ論	教養	羽野 真哉	2	秋 学期	1～4	高梁キャンパス開講	火 9:30～11:00
	09003	健康支援と社会保障制度	専門	本郷 貴士	1	春 学期	2～4	高梁キャンパス開講	火 9:30～11:00
	09004	リハビリテーション概論	専門	河村 顕治	1	春 学期	1～4	高梁キャンパス開講	水 15:10～16:40
	09005	作業療法概論	専門	京極 真 他	1	春 学期	1～4	高梁キャンパス開講	金 13:30～15:00
	09006	子どもの心理発達	専門	森井 康幸	2	秋 学期	1～4	高梁キャンパス開講	火 13:30～15:00
	09007	美術史 A	専門	前嶋 英輝	2	春 学期	2～4	高梁キャンパス開講	金 11:10～12:40
	09008	ディスカッション英語	専門	ジョン・フォーセ ット	2	秋 学期	2～4	岡山キャンパス開講	水 13:30～15:00

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
倉敷芸術科学大学	10001	倉敷まちづくり実践論	教養	橋元 純也	2	後期	1～4	定員 10 名	集中 土 13:10～18:10
	10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	前期	1～4	定員 10 名	木 13:10～14:40
	10003	絵画基礎Ⅲ	専門	田丸 稔	2	前期	2～4	定員 10 名	木 14:55～18:10
	10004	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2～4	定員 10 名	火 10:50～12:20
	10005	生活習慣病予防	専門	椎葉 大輔 他	2	前期	3～4	定員 5 名	水 14:55～16:25
	10006	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3～4	定員 10 名	木 09:10～10:40
	10007	医学概論	専門	藤本 一満 他	2	前期	1～4	定員 10 名	火 10:50～12:20
	10008	基礎生理検査学	専門	泉 礼司	2	後期	1～4	定員 10 名	木 09:10～10:40
くらしき作陽大学	11001	ロシア語 I	教養	A.オランスカヤ	1	前期	1～4	曜日・時間については変更する 場合がありますので、事前に開 講大学までお問い合わせくださ い。	水 11:10～12:40
	11002	食統計学	教養	松本 隆行	2	前期	2～4		木 9:30～11:00
	11003	発達障害児教育総論	専門	東川 博昭 他	2	後期	1～4		木 15:05～16:35
	11004	吹奏楽の歴史と魅力	専門	長瀬 敏和 菅付 章宏	2	前期	2～4		月 9:30～11:00
	11005	吹奏楽I	専門	長瀬 敏和 他	2	前期	1～4		木 15:05～18:15
	11006	吹奏楽Ⅱ	専門	長瀬 敏和 他	2	後期	1～4		木 15:05～18:15
	11007	和声学I	専門	米倉 由起	1	前期	1～4		月 13:25～14:55
山陽学園大学	12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2～4		木 9:00～10:30
	12002	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3～4		火 13:05～14:35
	12003	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2～4	9 月集中:9/9(月)～12(木)	
	12004	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	2～4		火 13:05～14:35
	12005	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1～4		月 9:00～10:30
	12006	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1～4		月 9:00～10:30
	12007	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1～4		火 13:05～14:35
	12008	地方自治論	専門	菅野 昌史	2	前期	1～4		木 14:50～16:20
就実大学	13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2～4		火 10:50～12:20
	13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3～4		木 10:50～12:20
	13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2～4		木 13:10～14:40
	13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3～4		火 13:10～14:40
	13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3～4		木 9:10～10:40
	13006	異文化理解と交流 1B	専門	フジシマ ナオミ	2	前期	3～4		水 10:50～12:20

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限
就 実 大 学	13007	異文化理解と交流 1C	専 門	和 栗 了	2	前 期	3~4		火 10:50~12:20
	13008	異文化理解と交流 2A	専 門	D.J.マカントニー	2	後 期	3~4		金 13:10~14:40
	13009	異文化理解と交流 2B	専 門	D.J.マカントニー	2	後 期	3~4		木 9:10~10:40
	13010	イギリス文化研究 1	専 門	雨 森 未 来	2	前 期	3~4		木 13:10~14:40
	13011	イギリス文化研究 2	専 門	渡 辺 浩	2	後 期	3~4		木 13:10~14:40
	13012	イギリス文化研究 3	専 門	原 田 昂	2	前 期	3~4		火 13:10~14:40
	13013	アメリカ文化研究 1	専 門	苔 米 地 夏 緒	2	前 期	3~4		火 10:50~12:20
	13014	アメリカ文化研究 2	専 門	苔 米 地 夏 緒	2	後 期	3~4		火 10:50~12:20
	13015	アメリカ文化研究 3	専 門	和 栗 了	2	後 期	3~4		火 9:10~10:40
	13016	日本史講義 1A	専 門	鈴 木 琢 郎	2	後 期	3~4		金 10:50~12:20
	13017	日本史講義 2C	専 門	苅 米 一 志	2	前 期	3~4		金 13:10~14:40
	13018	日本史講義 3C	専 門	三 田 智 子	2	後 期	3~4		木 10:50~12:20
	13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専 門	小 林 亜 沙 美	2	後 期	3~4		水 13:10~14:40
	13020	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専 門	山 本 航 平	2	前 期	3~4		月 13:10~14:40
	13021	アジア史講義 1A	専 門	渡 邊 将 智	2	後 期	3~4		木 13:10~14:40
	13022	アジア史講義 2A	専 門	井 上 あ え か	2	前 期	3~4		火 14:50~16:20
	中 国 大 学 学 園	14001	公衆衛生学Ⅱ	専 門	波 多 江 崇	2	後 期	2~4	定員 10 名
14002		児童英語演習	専 門	西 田 寛 子	1	後 期	2~4	定員 10 名	火 11:00~12:30
ノ ー ト ル タ ム 清 心 大 学	15001	キリスト教学Ⅰ	教 養	山 根 道 公	2	2 期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15
	15002	キリスト教学Ⅱ	教 養	岡 田 紅 理 子	2	1 期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15
	15003	キリスト教学ⅤⅥ	教 養	山 根 道 公	2	1 期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30
	15004	英語学・言語学研究ⅣA	専 門	齋 藤 衛	2	1 期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30
	15005	英米文学研究ⅢA	専 門	新 野 緑	2	1 期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00
	15006	英米文学研究ⅢB	専 門	新 野 緑	2	1 期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00
	15007	古代文学特講Ⅰ	専 門	東 城 敏 毅	2	1 期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30
	15008	古代文学特講Ⅱ	専 門	東 城 敏 毅	2	2 期	2~4	女子のみ	月 14:45~16:15
	15009	古代文学特講Ⅲ	専 門	中 井 賢 一	2	1 期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15
	15010	古代文学特講Ⅳ	専 門	中 井 賢 一	2	2 期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
ノートルダム清心大学	15011	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15
	15012	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15
	15013	近世文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30
	15014	近世文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30
	15015	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15
	15016	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30
	15017	日本語学特講Ⅱ	専門	尾崎 喜光	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30
	15018	日本語学特講Ⅳ	専門	星野 佳之	2	2期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15
	15019	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1期	2~4	女子のみ	火 9:00~10:30
	15020	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15
	15021	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30
	15022	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30
	15023	現代社会学特講Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15
	15024	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15
	15025	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30
	15026	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00
	15027	考古学Ⅰ	専門	紺谷 亮一	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30
美作大学	16001	情報のユニバーサルデザイン論	専門	関根 千佳	2	前期集中	2~4	定員 20名	5, 6月の土曜日・日曜日
	16002	災害を知る	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~9月上旬
	16003	災害に備える	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~9月上旬
	16004	地球環境論	教養	下池 洋一	2	後期	1~4	定員 20名	火 16:00~17:30

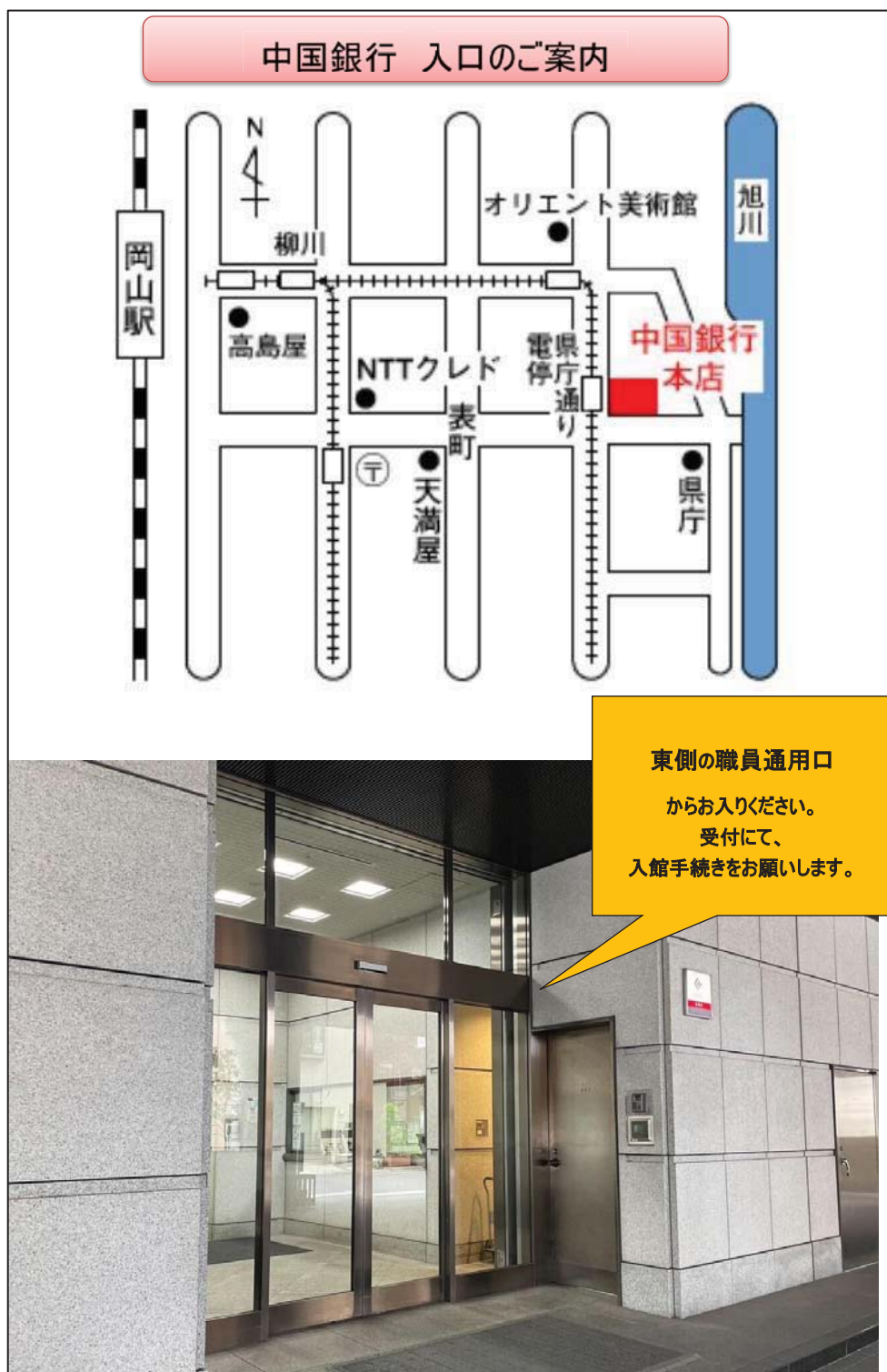
## 6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

### (1)ちゅうぎん『金融知力』講座

#### ① 開講期間・授業時間について

開講期間	Part I	2024年8月26日	～	2024年8月27日
	Part II	2024年8月28日	～	2024年8月29日
授業時間	-	9:00	～	17:00

#### ② アクセス(案内図)



③ 「ちゅうぎん『金融知力』講座」の履修に関する連絡事項

「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I」、「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II」を履修する岡山大学以外の学生は、岡山大学の単位互換履修生となります。

※「ちゅうぎん『金融知力』講座」は、Part I、Part IIを両方受講することで、金融に関する知識が深まる内容になっていますので、ぜひとも両講座を受講して下さるようお願いいたします。

・ 履修申込期限

追加募集を行うことがあります。  
その場合は、別途、各所属大学の教務担当を通じてお知らせします。

・ 履修手続

授業中に、「岡山大学単位互換履修生証」を配付します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

#### ④ シラバス

##### ・対面授業科目

対面授業				20001	
授業科目名:ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I			担当教員氏名:坂入 信也 教授 非常勤講師(メンター):山本晶子、生部敬子、 林 寛之、杉山有也美		
Financial Literacy(Part I)			連絡先:中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL :086-223-3111 Eメール:coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp		
履修年次 全	1 単位	夏季集中	定員 50 名	8 月 26・27 日(各日 9:00-17:00)	
【授業の目的】 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。					
【授業内容】 各テーマの専門家を講師に迎え講義を実施します。講義内容は社会生活に必要な基礎知識をテーマ(経済・財政・金融情勢、特殊詐欺への対処方法、社会保険・年金等)として取り扱う予定です。また、中国銀行本店・日本銀行岡山支店の見学も行います。					
【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 出席および講義後に提出するレポート、受講態度・勉強意欲(±α)。					



・対面授業科目

対面授業			20002	
授業科目名:ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II		担当教員氏名:坂入 信也 教授 非常勤講師(メンター):山本晶子、生部敬子、 林 寛之、杉山有也美		
Financial Literacy(Part II)		連絡先:中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL :086-223-3111 Eメール:coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp		
履修年次 全	1 単位	夏季集中	定員 50 名	8 月 28・29 日(各日 9:00-17:00)
【授業の目的】 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。				
【授業内容】 各テーマの専門家を講師に迎え講義を実施します。講義内容はライフプランに関する基礎知識をテーマ(「資産形成(株式・投資信託・国債等)」、「保険」、「ローン」、「キャッシュレス」等)として取り扱う予定です。 また、自身の人生設計ワークや、投資体験ワーク、中国銀行役員による特別授業も行います				
【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料)				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 出席およびレポート、受講態度・勉強意欲(±α)。				

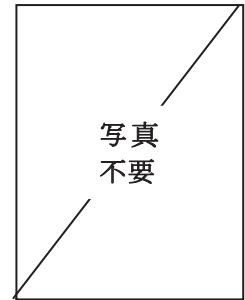
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和	年	月 日
現住所	〒 - Tel ( ) -				
メールアドレス	@				

\* 履修受付締切日: 6月20日(木)15時まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
20001	ちゅうぎん『金融知力』 講座 Part I	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季 集中	1~4	対面講義	8月26・27日 (各日 9:00-17:00)		
20002	ちゅうぎん『金融知力』 講座 Part II	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季 集中	1~4	対面講義	8月28・29日 (各日 9:00-17:00)		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## 7. 各大学提供科目

- ① 開講期間・試験期間・授業時間について
- ② アクセス(案内図)
- ③ 担当窓口
- ④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項
  - ・履修申込期限
  - ・履修手続
  - ・施設利用
- ⑤ 各科目のシラバス
  - ・遠隔授業科目
  - ・対面授業科目
- ⑥ 単位互換履修科目履修願
  - (1) 岡山大学
  - (2) 岡山県立大学
  - (3) 岡山学院大学
  - (4) 岡山商科大学
  - (5) 岡山理科大学
  - (6) 川崎医科大学
  - (7) 川崎医療福祉大学
  - (8) 環太平洋大学
  - (9) 吉備国際大学
  - (10) 倉敷芸術科学大学
  - (11) くらしき作陽大学
  - (12) 山陽学園大学
  - (13) 就実大学
  - (14) 中国学園大学
  - (15) ノートルダム清心女子大学
  - (16) 美作大学

## (1)岡山大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2024年4月8日	～	2024年6月6日
	第2学期	2024年6月7日	～	2024年8月10日
	第3学期	2024年10月1日	～	2024年11月28日
	第4学期	2024年11月29日	～	2025年2月14日
試験期間	第1学期	2024年6月上旬		
	第2学期	2024年8月上旬		
	第3学期	2024年11月下旬		
	第4学期	2025年2月上旬		
授業時間	場所	津島キャンパス	鹿田キャンパス	
	1限	8:40～9:30	8:40～9:40	
	2限	9:40～10:30	9:50～10:50	
	3限	10:45～11:35	11:00～12:00	
	4限	11:45～12:35	12:50～13:50	
	5限	13:25～14:15	14:00～15:00	
	6限	14:25～15:15	15:10～16:10	
	7限	15:30～16:20	16:20～17:20	
	8限	16:30～17:20	17:30～18:30	
	9限	17:30～18:20		
	10限	18:30～19:20		

※津島キャンパスにおいて行われる授業は、50分授業。

鹿田キャンパスにおいて医学部・歯学部・薬学部(うち鹿田地区で行われる授業に限る)は、60分授業。

※夜間主コースの授業については、第1、第2学期を前期授業期間とし、第3、第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

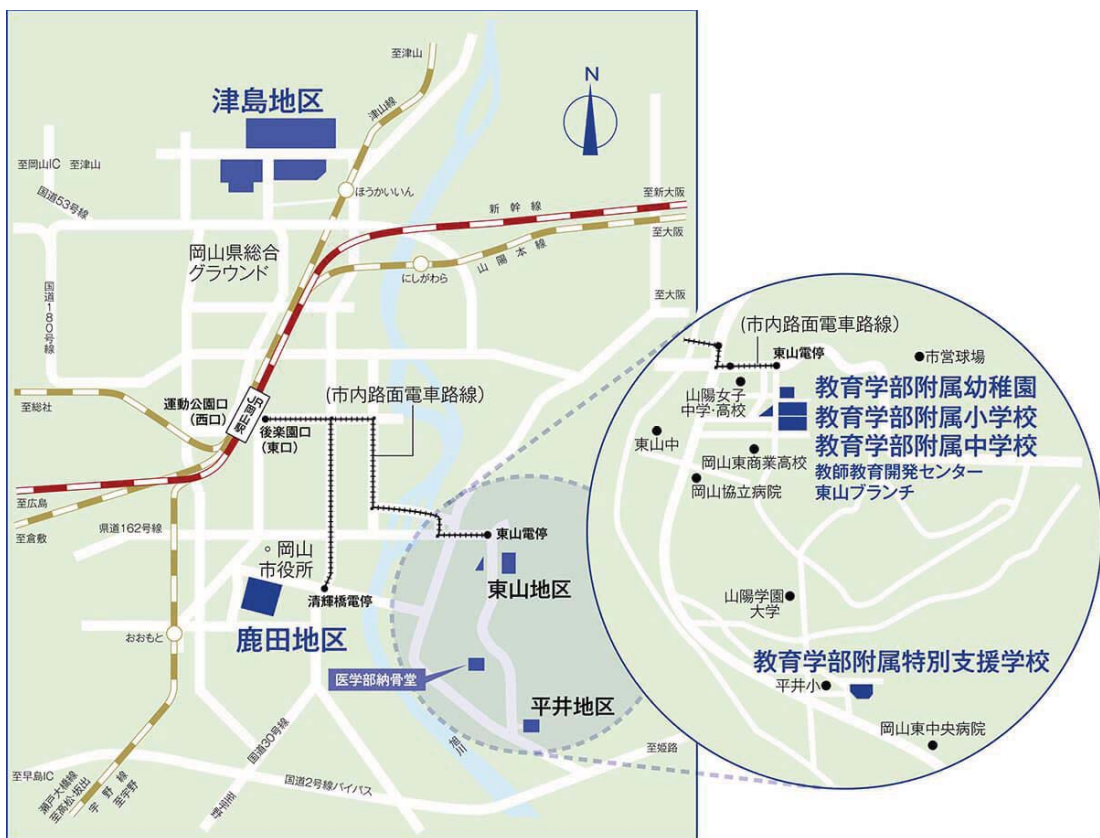
### ② アクセス(案内図)

#### 津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車、徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。(所要時間約7～10分)  
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。  
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
  - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 バス約10分,徒歩約7分)

## 鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。
  - ② 岡山駅東口バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き,【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き,【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。又は,4番乗り場から【12】系統「岡南営業所」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約10分)
- 路面電車  
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 電車約10分,徒歩約8分)



岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

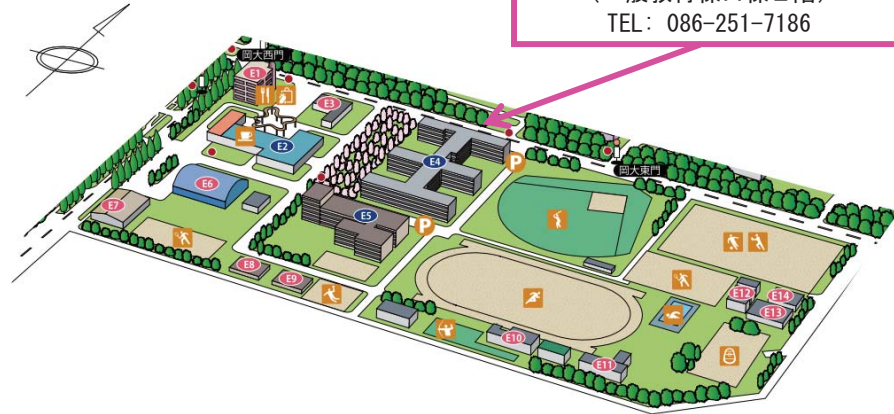
(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地： 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階

学務部学務企画課  
 総務・企画グループ  
 企画担当⑨番窓口  
 (一般教育棟A棟2階)  
 TEL: 086-251-7186



津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設 (ピーチユニオン) 大学会館	E4	学務部 国際部 グローバル人材育成院 L-café	E6	清水記念体育館
E2	教育推進機構 入試・高大接続部門 学生支援部門 キャリア・学生支援室	E5	一般教育棟D・E棟 教育推進機構 学生支援部門 障がい学生支援室 スポーツ支援室	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟A～C棟 教学企画室 教育推進機構			E8	第一武道館
E4	共通教育部門 外国語教育部門 学生支援部門 学生相談室 留学生相談室 学習・教授支援 (CTE) 部門			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話： 086-251-7186(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・ 履修申込期限

**第1・2学期:4月1日(月)15時まで 第3・4学期:9月19日(木)15時まで**

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
(申込期限は延長しません。)

##### ・ 履修手続

###### **対面授業科目を履修する方**

※所属大学の単位互換担当者を通じて以下資料を配布する可能性があります。

1. 第1・2学期:4月8日頃, 第3・4学期:10月1日頃に, 以下の印刷物を配付します。  
対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
  - ①キャンパスマップ
  - ②学生証(単位互換履修生証)
  - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
  - ④岡大ID・パスワード通知(必要な場合のみ)
  - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

###### **遠隔授業科目を履修する方**

申込手続完了後に, 岡山大学から履修生所属大学の単位互換担当者を通じて, 上記「①～⑤」の書類を, 配布します。

##### ・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

##### ・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業は, moodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有や, レポート提出等で利用いたします。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合, 本学単位互換担当者が手続を進め, その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」, 「moodleの手引き」を単位互換生へお渡ししますので, 必ず一読し, 初回授業までにログイン等の手続を終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

##### ・ 今後の実施要項の変更について

やむを得ない事情により, 一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと, ご理解いただいたうえで, お申込みください。変更が生じた場合, 申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus\\_link.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)  
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

遠隔授業 or 対面授業(理学部)				01101	
授業科目名:素粒子と宇宙			担当教員氏名: 吉村 浩司, 増田 孝彦		
Particle Physics and Cosmology			※受講方法を, 遠隔又は対面のどちらかを選択し, 受講してください。		
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(金曜1・2限)	
<p><b>【授業の目的】</b>            日常では意識しない素粒子と宇宙についての基礎知識を学ぶ。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>            以下の項目について講義する。            ・マイクロな素粒子とマクロな宇宙            ・極微、高速の世界:量子論と相対論            ・素粒子で宇宙を覗く:宇宙の始まり(ビッグバン)と膨張宇宙            ・世界を支配する4つの力:標準理論            ・宇宙マイクロ波背景放射(CMB)とその非一様性:ダークマターとダークエネルギー            ・物質と反物質:CP対称性・時間反転対称性の破れ            ・重力崩壊とブラックホール            ・残された謎</p>					
<p><b>【テキスト】</b>            なし</p>					
<p><b>【参考図書】</b>            ・宇宙創成はじめの3分間 S.ワインバーグ著; 小尾信彌訳 筑摩書房 (2008)            ・重力とは何か:アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る 大栗博司著 幻冬舎(2012)            ・ホーキング、宇宙を語る:ビッグバンからブラックホールまで スティーヴン・W・ホーキング著; 林一訳 早川書房 (1995)            ・強い力と弱い力:ヒッグス粒子が宇宙にかけた魔法を解く 大栗博司著 幻冬舎 (2013)</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>            出席および試験(レポート課題)</p>					



ハイブリッド授業(工学部)				01102	
授業科目名:セキュリティ概論			担当教員氏名: 横平 徳美, 野上 保之, 福島 行信, 五百旗頭 健吾, 小寺 雄太		
Introduction to Security					
理工系学部 3 年次以上	2 単位	後期	2 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<b>【授業の目的】</b> サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること。					
<b>【授業内容】</b> 1. 暗号の歴史と概要 2. 暗号数学 3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術 4. 暗号計算のハードウェア実装 5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価 6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術 7. データリンク層セキュリティ 8. ネットワーク層セキュリティ(1) 9. ネットワーク層セキュリティ(2) 10. トランスポート層セキュリティ 11. アプリケーション層セキュリティ 12. マルウェア感染と解析 (1) 13. マルウェア感染と解析 (2) 14. メモリ破棄攻撃と対策 (1) 15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100 分の授業を 1 回としている)					
<b>【テキスト】</b> Web やメールで資料を配布する。					
<b>【参考図書】</b>					
<b>【成績評価の方法】</b> 全 15 回のうち、5 回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学 60%、テスト・課題 40%で成績をつける。					

遠隔授業(教養教育科目 文系学生向き)				01103	
授業科目名:生活と物理学			担当教員氏名:池田 直		
Law of Physics in Daily Life			01104「現代社会と先端的物理学」と講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること		
履修年次 1~2	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<p>【授業の目的】 コロナ禍以来、この科目はネット授業を実施していました。すると特に一学期において、文法経教系の学生に履修しやすい物理科目ということもあり、大変多くの学生さんが履修するようになりました。すでに教室には入らない人数の履修希望であるため、24 年度もネットを利用した形で開講します。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <p>物理学は、人間が自然を理解するための学問であり、同時に現代文明の基盤になっています。この授業は、生活の身の回りとながった、物理法則の生活との関連を理解することを目的としています。ここ数年は、その中で一番大切と考えられる、「エネルギーの概念とその使い方」ならびに「放射能の捉え方」について、の講義時間が長くなっています。教科書は、物理に興味があり、入門したい人向けの啓蒙書を指定していますが、講義は教科書に準拠しません。</p> <p>対象学生は、文系学部在籍し高等学校で物理を履修しなかった学生を想定しています。また理系の学生さんには、明らかに物足りない内容です。ですので履修はしないようお願いしていますが、興味本位で授業参加の希望があれば、連絡してください。</p>					
<p>【授業内容】</p> <p>1. 導入:物理学がなぜ必要になったのか?, 2. ミクロの世界から宇宙の果までを表す様々な数字について, 3. 力とエネルギーのきちんとした定義 1 運動の法則, 4. 力とエネルギーのきちんとした定義 2, 5. 身の回りには、どんなエネルギーがあるか?, 6. エネルギーを測ってみる。エネルギーの味や値段について, 7. エネルギー・熱の利用, 8. 熱機関と文明, 9. エネルギーの利用(電気と電子の世界), 10. 電子を使う機械、コンピューター、デジカメ、ケイタイ, 11. 光の特徴と量子力学の登場, 12. 光の理解と相対性理論の登場, 13. 放射線の数え方を身につけてください, 14. 放射線とどう付き合うか?, 15. 放射線と人間の関係</p>					
<p>【テキスト】 授業のときに配布する資料を用います。</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>10[X]の世界 : 素粒子から銀河まで, 上田剛慈著, 彩図社</p> <p>日常の疑問を物理で解き明かす : スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?, 原康夫, 右近修治著, ソフトバンククリエイティブ</p>					
<p>【成績評価の方法】出席 50 点、レポート 50 点</p> <p>出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらおうのですが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>					

遠隔授業(教養教育科目 文系学生向き)				01104
授業科目名:現代社会と先端物理学			担当教員氏名:池田 直	
Fruits of Physics in Modern Society			01103「生活と物理学」と講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること	
履修年次 1~2	1 単位	第2学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p>【授業の目的】このところネット授業を実施していました。すると文法系の学生に履修しやすい物理科目ということで、大変多くの学生さんが履修するようになりました。このため 24 年度もネット経由で授業する予定です。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <p>「現代の社会で用いる様々な文明技術を物理学に入門しながら解説する」という講義を行ってきましたが、受講者にとっては物理学の入門的学習が必要なことが多く、徐々に一学期の「生活と物理学」との内容のかぶりが多くなっています。このため「生活と物理学」を履修された方は、この科目は履修しないようにしてください。ぜひおねがいします。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>1. 導入・物理学で用いられる単位系について, 2. 時間や大きさのスケールについて, 3. エネルギーはどこで利用されているか, 4. エネルギー・力学入門, 5. 電気の世界, 6. 電磁波とはなにか, 7. 原子の世界, 8. 安定な原子と放射能, 9. 波の性質, 10. 量子の世界のふしぎ, 11. 最先端の大型研究施設について, 12. 大型放射光施設 SPring8 入門, 13. 大型中性子施設 J-Parc 入門, 14. 世界最高のニュートリノ施設カミオカンデ入門, 15. 自然エネルギーの大きさ, 16. 自然エネルギーをどう使うか</p>				
<p>【テキスト】 授業のときに配布する資料を用います。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>10[X]の世界 : 素粒子から銀河まで, 上田剛慈著, 彩図社</p> <p>日常の疑問を物理で解き明かす : スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?, 原康夫, 右近修治著, ソフトバンククリエイティブ</p>				
<p>【成績評価の方法】出席 50 点、レポート 50 点</p> <p>出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらおうのですが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>				

・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名: フランス語コミュニケーション1			担当教員氏名: 萩原 直幸	
Communication in French 1				
履修年次 1~4	2単位	第1・2学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>            フランス語コミュニケーションの基礎を身につけること。            * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う            第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う            第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う            第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う            第5週: 動詞 avoir / 家族について話す            第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う            第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う            第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う            第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する            第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う            第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する            第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する            第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す            第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う            第15週: 試験(オーラル)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            教科書: FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400 円 + 税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます)            販売店: 生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業への取り組み 30%            課題 20%            学期末試験 50%</p>				

遠隔授業(文学部)				01002
授業科目名: フランス語コミュニケーション2			担当教員氏名: 萩原 直幸	
Communication in French 2				
履修年次 1~4	2単位	第3・4学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> フランス語コミュニケーション基礎を身につけること。 * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。				
<b>【授業内容】</b> 第1週: 部分冠詞 / 食習慣について話す 第2週: 中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う 第3週: 代名動詞 / 習慣について話す 第4週: 不規則動詞 / 日常生活について話す 第5週: 直説法複合過去(1) / 過去のことを話す 第6週: 直説法複合過去(2) / 期間を言う 第7週: 直説法半過去 / 過去の習慣について話す 第8週: 人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す 第9週: 不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う 第10週: 不規則動詞 vouloir / 目的を言う, 許可を求める。命令法 / 人を誘う・禁止する 第11週: 近接未来 aller + 不定詞 / 近い未来の出来事について話す 第12週: 直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる 第13週: 条件法現在(2) / 願望を述べる 第14週: 比較級 / 比較する 第15週: 試験(オーラル)				
<b>【テキスト】</b> 教科書: FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます) 販売店: 生協				
<b>【参考図書】</b> 教室にて適宜紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業への取り組み 30% 課題 20% 学期末試験 50%				

対面授業(教育学部)				01003
授業科目名:中等社会科・公民科指導法 I A			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies(Civics) Class Method I A				
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。  2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。  中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認  第1回 中等社会科教育の目標論の再考  第2回 公民科教育の目標論の再考  第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆)  第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆)  II. 授業構想と模擬授業  第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究  第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想  第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究  第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想  第9回 公民科公共の教材研究  第10回 公民科公共の学習指導の構想  第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究  第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想  III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築  第13回 中等社会科学習指導論の構築  第14回 公民科学習指導論の構築  試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01004
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法ⅡA			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods Ⅱ A				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。				
<b>【授業内容】</b> 第1回: 公民科教育の歴史的変遷と現状 第2回: 公民科教育の課題 第3回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回: 学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回: 学習指導要領公民科各科目の内容 第8回: 学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回: 学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回: 中学校社会科の授業構成原理 第11回: 公民科の授業構成原理 第12回: 中学校社会科の授業分析 第13回: 公民科(公共)の授業分析 第14回: 公民科(倫理)の授業分析 第15回: 公民科(政治・経済)の授業分析 第16回: 試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(教育学部)				01005
授業科目名:GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論 I			担当教員氏名:桑原 敏典	
GCED I				
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。 (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。 (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。				
<b>【授業内容】</b> 第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か 第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育 第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み 第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際 第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入 第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開 第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質 第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題 第13回 シティズンシップ教育の評価の方法 第14回 シティズンシップ教育の評価の課題 第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育 試験				
<b>【テキスト】</b> テキストは用いない				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				



対面授業(教育学部)				01006
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法基礎 A			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Secondary Social Studies (Civics) Class Method BasicA				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(木曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。				
<b>【授業内容】</b> I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(教育学部)				01007
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies(Civics) Class Development(advance)				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 中学校社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中学校社会科・公民科の学習評価の考え方を理解している。 3. 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:社会科学とは何か 第2回:中学校社会科・公民科と社会科学の関係 第3回:中学校社会科・公民科(公共)と社会科学の関係と教材研究 第4回:中学校社会科・公民科(倫理)と哲学・倫理学の関係と教材研究 第5回:中学校社会科・公民科(政治・経済)と社会科学の関係と教材研究 第6回:中学校社会科・公民科と他教科の学問領域との関係と教材研究 第7回:中学校社会科・公民科の評価の理論と方法 第8回:中学校社会科・公民科の評価問題 第9回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容 第10回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容の学習指導 第11回:中学校社会科・公民科の授業づくりの方法 第12回:中学校社会科・公民科の授業づくりの課題 第13回:中学校社会科・公民科(公共)の授業計画作成と考察 第14回:中学校社会科・公民科(倫理)の授業計画作成と考察 第15回:中学校社会科・公民科(政治・経済)の授業計画作成と考察 第16回:試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(法学部)				01008
授業科目名:法と正義			担当教員氏名:大森 秀臣	
Law and Justice			90分(金曜9限)18:00~19:30	
履修年次 3・4	2単位	前期	1コマ	定員 特になし
<b>【授業の目的】</b> 本講義は、法や正義をめぐる規範的な議論を検討することを通して、法や正義への根源的な問いを理解する能力や、それらへの多角的な視点を養うことを目的とする。				
<b>【授業内容】</b> 本講義は、「法の目指す正義とは何か」という問いについて、とくに現代の正義論を題材にして解説する。 1 ガイダンス +法と正義 2 正義論概説—正義観念の多様性 3 正義論の思想史—近代における断絶 4 価値相対主義—規範的倫理学の復権まで 5 功利主義—最大多数の最大幸福 6 自由主義—ロールズの正義論 7 グローバル正義—人道的介入、世界の貧困・格差 8 中間試験 9 平等主義的リベラリズム—福祉国家の擁護論 10 リバタリアニズム—市場と自由の正義論 11 共同体論—アイデンティティと共通善 12 フェミニズム—ジェンダーと差異 13 多文化主義—文化的帰属と文化集団の多様性 14 自由主義の展開—3つのポスト自由主義 15 正義論の最前線—デモクラシー論 期末試験				
<b>【テキスト】</b> とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。				
<b>【参考図書】</b> 平井亮輔編『正義—現代社会の公共哲学を求めて』(嵯峨野書院、二〇〇四年) 神島裕子『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』(中央公論新社、二〇一八年) 宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論—ベーシックからフロンティアまで』(法律文化社、二〇一九年) 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年)				
<b>【成績評価の方法】</b> 普段の取り組みを評価するために中間試験(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。				

対面授業(経済学部)				01009
授業科目名:経営学入門			担当教員氏名:藤井 大児	
Introduction to Management				
履修年次 1~4	2 単位	第 1.2 学期	1コマ	90 分×1(月曜 10 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  企業経営を車の両輪に喩えると、それらは企業の戦略と組織からなると考えられる。この講義は企業組織の経営管理のあり方について、とくにミクロな視点から理解を深めるものである。  組織の経営管理について興味・関心を持ち、見る目を養うことが狙いであり、理論・実践の両側面からアプローチする。一方で実務的なノウハウを提供するものではない。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ガイダンス  研究方法  意思決定の理論  創造性の理論  集団の意思決定  リーダーシップ論  マネジャー研究  アントレプレナー研究  演習(講義の内容を映画『12 人の怒れる男』に応用)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  moodle 配布。一部自身で調達。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  moodle 配布。一部自身で調達。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト、レポート、試験などから総合的に評価する。  小テスト 2 割、レポート 3 割、試験 5 割を基本。</p>				

対面授業(歯学部)				01010
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇 卓也・他	
Essays on pain				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分 × 2 (月曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  痛みはそれを感じる生体への警告信号であり、誰もが日常生活で経験するものです。しかし、それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に、生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では、痛みの種類と発生機序、様々な病態における痛みの特徴、および痛みを制御する方法について理解し、日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 痛みの科学概説(1)  第2回: 痛みの科学概説(2)  第3回: 痛みの神経解剖生理学(1)  第4回: 痛みの神経解剖生理学(2)  第5回: 痛みの神経薬理学(1)  第6回: 痛みの神経薬理学(2)  第7回: 痛みの臨床(1)  第8回: 痛みの臨床(2)  第9回: 痛みの臨床(3)  第10回: 痛みの臨床(4)  第11回: 痛みの臨床(5)  第12回: 痛みの臨床(6)  第13回: 痛みの臨床(7)  第14回: 痛みの臨床(8)  第15回: 痛みの科学のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特にありません。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い、これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから、基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01011
授業科目名: 開発学入門			担当教員氏名: 山本 由美子	
Introduction to Development Studies			Yamamoto Yumiko	
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分 × 2 (火曜 7・8 限)
<b>【授業の目的】</b> Students will learn the different facets of development and discuss the key and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understanding and discussing development, drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health, and nutrition.				
<b>【授業内容】</b> This is an introductory course on development studies, focusing on a development discourse in the postwar period. The course is designed for students who wish to work in the fields of international development or international business. Other students willing to obtain basic knowledge in development are also encouraged to attend. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain an in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or other regions. In the course, we discuss various development agendas related to economic development, human development, and sustainable development.				
<b>【テキスト】</b> No textbooks: Book chapters and articles will be assigned each week (see below).				
<b>【参考図書】</b> Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i> . UK: Pearson. United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i> . NY: UN. United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i> . NY: UN. UNESCAP. 2019. <i>The 2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i> . Bangkok: UNESCAP.				
<b>【成績評価の方法】</b> Active participation 30%, weekly assignments (total of 5) 50%, country research paper 20%				

対面授業(教養教育科目)			01012	
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄 :榎本 翔太	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探究し, 理論と実践の融合をはかる。				
<b>【授業内容】</b> I 4月10日(水) 18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて) II 下記の講義 1)~8)より7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月17日(水)メンタルトレーニングのエッセンスを生活に活かす 2) 5月15日(水)スポーツ栄養って?~ 筋力・持久力・コンディション ~ 3) 6月26日(水)上肢スポーツ障害 4) 7月10日(水)スポーツと心臓 5)10月16日(水)これで納得!! スポーツ外傷と障害 6)11月13日(水)メディア&テクノロジーの発達とスポーツの変化 7)12月11日(水)スポーツと歯科との関わり 8) 1月22日(水)スポーツと法 III 1月22日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて)				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 特になし				
<b>【成績評価の方法】</b> 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01013
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	1学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				



対面授業(教養教育科目)			01014	
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	2学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01015
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01016
授業科目名:韓国語中級		担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	4 学期	1コマ 火 5・6 時限  各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<b>【授業の目的】</b> 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
<b>【授業内容】</b> 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
<b>【テキスト】</b> プリント			
<b>【参考図書】</b>			
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。			

対面授業(教養教育科目)				01017
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 國米 充之	
Basic Mathematical and Data Sciences			定員 10名	
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する				
<b>【授業内容】</b> 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解</li> <li>● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践</li> <li>● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解</li> </ul> なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			<b>授業計画:</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会におけるデータサイエンス</li> <li>2. データサイエンスの事例と情報倫理</li> <li>3. コンピュータを用いたデータ分析基礎(1)</li> <li>4. データ分析の基礎(2)と分析における注意点</li> <li>5. 機械学習の概要基礎・利用事例</li> <li>6. ニューラルネットワークの概要と今後</li> <li>7. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例</li> </ol>	
<b>【テキスト】</b> “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編)				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle での小テスト、ならびに演習課題の提出(評価)により総合的に評価する				

対面授業(教養教育科目)				01018
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:市岡 優典	
Basic Mathematical and Data Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2コマ	50 分×2(月曜3・4限)
<p><b>【授業の目的】</b>  データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。また、各自のパソコン(PC)を用いて、データ分析の実習に実際に取り組む。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  授業計画は、教科書の単元で示す以下の通りで、各自のノート PC を持参しての PC 実習の対面授業と、オンデマンド教材を用いた遠隔授業を隔週で実施します。</p> <p>第1週[対面:PC 実習(Excel)]  はじめに、2.データ分析の基礎(1~2)、3.コンピュータを用いたデータ分析(1~2)</p> <p>第2週[遠隔(オンデマンド教材)]  1.現代社会におけるデータサイエンス(1~6)、2.データ分析の基礎(3~7)</p> <p>第3週[対面:PC 実習(Excel, R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(3,4,7)</p> <p>第4週[遠隔(オンデマンド教材)]  2.データ分析の基礎(8~10)、1.現代社会におけるデータサイエンス(7~12)</p> <p>第5週[対面:PC 実習(R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(5~7)</p> <p>第6週[遠隔(オンデマンド教材)]  4.データサイエンスの応用事例(1~9)、2.データ分析の基礎(11~12)</p> <p>第7週[対面:PC 実習(Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(8~9)、機械学習とは</p> <p>※理学部学生対象のクラスでの履修になります。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(I) オフィシャルスタディノート 改訂版」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822341305)  及び、それに対応したオンデマンド映像教材</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(II) オフィシャルスタディノート」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340537)  「統計学 I :データ分析の基礎」  日本統計学会編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340421)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各回授業時の確認テスト(オンライン)、および、Moodle からの課題提出により評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01019
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名: 寺東 宏明・岩崎 良章・崎田 真一・ 中西 真・岡本 崇・中原 望	
Introduction of Safety and Health				
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
【授業の目的】どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。				
【授業内容】職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。授業は全8回で、内容は①ガイダンス、安全衛生の概要、②作業環境要素、③作業管理、安全衛生関連法令・規則、④作業環境管理、⑤放射線安全管理、⑥化学物質管理と環境管理、⑦健康管理、⑧期末試験、である。				
【テキスト】指定しない。				
【参考図書】講義中に紹介する。				
【成績評価の方法】期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100点満点で、講義中の小テストは各10点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。				

対面授業(教養教育科目)				01020
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)  1. 社会保障制度の概要  2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割  3. 生命保険契約のしくみ  4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)  1. 生命保険契約における保険料の算出根拠  2. 必要保障額の算出</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第2版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01021
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)  1. 社会保障制度の概要  2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割  3. 生命保険契約のしくみ  4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)  1. 生命保険契約における保険料の算出根拠  2. 必要保障額の算出</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第2版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				



対面授業(教養教育科目)				01022
授業科目名:ESD「持続可能な開発のための教育」の ホール・コミュニティ・アプローチ			担当教員氏名:柴川 弘子	
Whole-Community Approach for Implementing Education for Sustainable Development				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1コマ	50 分×2(火曜 5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b> ESD は視点の教育であると言われる。そのような視点を持つことで、どのような場・領域・分野においても実践は可能となるとも言える。そして、それらの視点は、まさに持続可能な社会づくりの実践の中において涵養されるものである。ただ単に実践(者)に出会い・体験するのではなく、その前後における十分な探究プロセスの有無が重要となる。そこで、本授業では、学生自らが ESD に出会い、実践を体感し、視点を獲得するという体験を通じて、ESD の実践者として求められる大切な視点を獲得することを目的としている。 以下の内容について、専門知識や技能を習得することを学習目標とする。</p> <p>① ESD の基礎的知識 ② ESD を地域と連携して実践する上での課題 ③ ESD を推進する地域の取り組み</p>				
<p><b>【授業内容】</b> ESD(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育は、世界の諸課題を見据えながらも「地域コミュニティに根差し、多様な人々、社会および環境と有機的につながり」ながら実践されるものである。ホール・コミュニティ・アプローチとは、多様な持続可能な開発の実践の共同体が、それぞれに自律的かつ主体的に生き活きと実践を進めながら、相互に関わり合い、学び合いながら新たな価値を創造していくように ESD が進められる手法(仕組み・仕掛け)のことを意味している。 本講義で目指すのは、その実践を進める上での課題について理解し、具体的な方法について体験を通じて学び、ESD の実践者としての視点を獲得することである。 本講義では、ESD の基礎的な知識と学習理論、そして先進的な実践事例におけるアプローチについて学ぶ。受講生自身もフィールドに出向いたり、実践者の方と出会ったりする体験を通じて、地域と連携して ESD を推進する上での視点を獲得することを期待している 授業計画は以下の通りである。 1回:オリエンテーション、ESD についての講義 2回:フィールドワーク 3回:フィールドワークの振り返り、ディスカッション、課題提起 4回:関係者による講義、ディスカッション 5回:調査(フィールドワーク) 6回:中間報告 7回:調査(フィールドワーク) 8回:提案発表、振り返り、相互評価</p>				
<p><b>【テキスト】</b> なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 適宜授業で資料を配布・指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> グループディスカッション参加、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に評価する。なお、2/3 以上の出席(フィールドワーク含む)が成績評価の対象となる。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01023
授業科目名:子どもの歴史の学び方 I—今をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history I			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01024
授業科目名:子どもの歴史の学び方Ⅱ—未来をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直し、これからの歴史教育のあり方を考えることを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:子供は歴史を学ぶ意味をどのように捉えているのか 第2回:教師は何を目指して歴史を教えているのか 第3回:アメリカの歴史では日本をどのように教えているのか 第4回:日米の歴史学習の違いは何か 第5回:アメリカの子供は自分の国の歴史をどのように学んでいるのか 第6回:アメリカの子供の歴史の学び方にはどのような課題があるのか 第7回:歴史教育とアイデンティティ 第8回:多様性と歴史教育 第9回:なぜ、日本は近隣諸国と歴史でもめるのか 第10回:日中韓で歴史の学び方は違うのか 第11回:歴史認識問題とは何か 第12回:どうすれば歴史認識をめぐる対立を克服できるのか 第13回:未来をつくる歴史教育の構想 第14回:私が提案する新しい歴史授業 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01025
授業科目名:交流による子どもの成長支援Ⅰ			担当教員氏名:桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅰ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会  第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回:「中学生だっぴ」とは何か  第8回:「中学生だっぴ」の成果  第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回:「中学生だっぴ」の準備  第12回:「中学生だっぴ」の運営  第13回:「中学生だっぴ」の体験  第14回:活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01026
授業科目名:交流による子どもの成長支援Ⅱ			担当教員氏名:桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会  第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回:「中学生だっぴ」とは何か  第8回:「中学生だっぴ」の成果  第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回:「中学生だっぴ」の準備  第12回:「中学生だっぴ」の運営  第13回:「中学生だっぴ」の体験  第14回:活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01027
授業科目名:対話による社会参画入門編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p> <p>この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法 第3回:NPOの役割と働き 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見の方法 第6回:地域課題発見のためのワークショップ 第7回:地域課題発見のための技術 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査の計画立案 第11回:地域課題発見のための実地調査 第12回:地域課題解決のための実地調査の計画立案 第13回:地域課題解決のための実地調査 第14回:最終報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01028
授業科目名:対話による社会参画上級編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。また、入門編を履修していないと履修できません。</p> <p>第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01029
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 1 学期</b> 第 1 回:授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回:第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回:第二課「作客」(前半) 第 4 回:第二課「作客」(後半) 第 5 回: 第三課「中国菜」(前半) 第 6 回:第三課「中国菜」(後半) 第 7 回:第四課「大手饅頭」 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				



対面授業(教養教育科目)				01030
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 2 学期</b> 第 1 回:第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回:第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回:第六課「茶食」(前半) 第 4 回:第六課「茶食」(後半) 第 5 回:第七課「告辞」(前半) 第 6 回:第七課「告辞」(後半) 第 7 回:第八課「黄山」 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				

対面授業(教養教育科目)				01031	
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
<b>【授業の内容】</b> <b>第 3 学期</b> 第 1 回:第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回:第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回:第十課「大観園」(前半) 第 4 回:第十課「大観園」(後半) 第 5 回:第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回:第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01032
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 4 学期</b> 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回: 映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				

対面授業(農学部)			01033																												
授業科目名:農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫																												
Experience of Farm Practice																															
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																											
<b>【授業の目的】</b> 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。																															
<b>【授業内容】</b> 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員( ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせして下さい(希望人数によっては抽選になります)。 8月2日(金)17:00より、農学部第4講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。 2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月24, 25, 26日)、以下のような要領で実習を行います。 1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。 2)教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。 3)実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある) <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">9月24日(火)</td> <td style="width:33%;">9月25日(水)</td> <td style="width:33%;">9月26日(木)</td> </tr> <tr> <td>10:30-11:45 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹園管理1</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 水田の管理</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理1</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-16:00 果樹園管理2</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 ブドウの評価</td> <td>14:00-15:30 野菜の管理2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>15:30-16:00 着替え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>16:00 解散</td> </tr> </table> 4)終了後、指示されたレポートは、メールにて担当教員へ提出する。					9月24日(火)	9月25日(水)	9月26日(木)	10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理2	12:30-14:00 昼食(生協等)		16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-15:30 野菜の管理2		17:00 解散	15:30-16:00 着替え			16:00 解散
9月24日(火)	9月25日(水)	9月26日(木)																													
10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理1	9:00-9:30 移動(津高牧場)																													
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理																													
13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																													
15:15-17:00 野菜の管理1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																													
17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理2	12:30-14:00 昼食(生協等)																													
	16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-15:30 野菜の管理2																													
	17:00 解散	15:30-16:00 着替え																													
		16:00 解散																													
<b>【テキスト】</b> 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。																															
<b>【参考図書】</b> 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1																															
<b>【成績評価の方法】</b> 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。																															

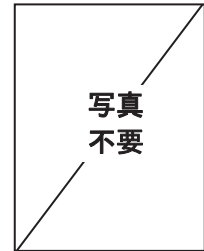
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部	学科	年		
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 — Tel ( ) —				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

- \* 履修受付締切日： 第1～2学期：4月1日(月)15時まで 第3～4学期：9月19日(木)15時まで
- \* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
01101	素粒子と宇宙	教養	吉村 浩司 増田 孝彦	1	第1学期	1～4	受講方法を、遠隔又は対面のどちらかを選択し、受講してください。	金 8:40～10:30	遠隔 対面	
01102	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3・4学期	3～4	理工系学部 3年次以上	月 15:30～17:20		
01103	生活と物理学	教養	池田 直	1	第1学期	1～2	講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること。開講時間に合わせて、講義資料をダウンロードする。文系学生向き	月 15:30～17:20		
01104	現代社会と先端物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1～2		火 13:25～15:15		
<b>対面授業科目</b>										
01001	フランス語コミュニケーション1	専門	萩原 直幸	2	第1・2学期	1～4		火 8:40～10:30		
01002	フランス語コミュニケーション2	専門	萩原 直幸	2	第3・4学期	1～4		火 8:40～10:30		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
01003	中等社会科・公民科 指導法ⅠA	専門	桑原 敏典	1	第2 学期	2~4		火 15:30~17:20		
01004	中等社会科・公民科 指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		火 15:30~17:20		
01005	GCED(グローバル・ シティズンシップ教育)論	専門	桑原 敏典	1	第3 学期	2~4		月 8:40~10:30		
01006	中等社会科・公民科 指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		木 8:40~10:30		
01007	中等社会科・公民科 授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		月 8:40~10:30		
01008	法と正義	専門	大森 秀臣	2	前期	3~4		金 18:00~19:30		
01009	経営学入門	専門	藤井 大児	2	第1・2 学期	1~4		月 19:40~21:10		
01010	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2 学期	1~4		月 8:40~10:30		
01011	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1 学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認 し、事前に担当教員の許可を 得ること	火 15:30~17:20		
01012	健康・スポーツ科学C	教養	鈴木 久雄 榎本 翔太	1	1~4 またがり	1~4		水 18:30~20:10		
01013	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせ て受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01014	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01015	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を合わせ て受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01016	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01017	数理・データサイエ ンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3 学期	1~4	文系学生対象	月 10:45~12:35		
01018	数理・データサイエ ンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第3 学期	1~4	理系学生対象	月 10:45~12:35		
01019	安全衛生入門	教養	寺東 宏明 他	1	第4 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01020	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第1 学期	1~4	同一科目のため、 どちらかを受講すること	月 13:25~15:15		
01021	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第2 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01022	ESD「持続可能な開 発のための教育」の ホール・コミュニティ・ アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3 学期	1~4	学外活動があります。	火 13:25~15:15		
01023	子どもの歴史の学び 方Ⅰ—今をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第1 学期	1~4	第2学期の「子どもの歴史の 学び方Ⅱ—未来をつくる歴史— 」と合わせて履修することが 望ましい。	木 8:40~10:30		
01024	子どもの歴史の学び 方Ⅱ—未来をつくる 歴史—	教養	桑原 敏典	1	第2 学期	1~4	第1学期の「子どもの歴史の 学び方Ⅰ—今をつくる歴史— 」を履修していないと履修で きない。	木 8:40~10:30		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
01025	交流による子どもの 成長支援Ⅰ	教養	桑原 敏典	1	第3 学期	1~4	学外での活動が多い授業で す。そのため、必ずしも時間割 に示された時間に実施するわ けではありません。	月 15:30~17:20		
01026	交流による子どもの 成長支援Ⅱ	教養	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		月 15:30~17:20		
01027	対話による社会参画 入門 入門編	教養	桑原 敏典	1	第3 学期	1~4	第4学期の「対話による社会 参画入門 上級編」と合わせて 履修することが望ましい。学外 での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01028	対話による社会参画 入門 上級編	教養	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4	第3学期の「対話による社会 参画入門 入門編」を履修して いないと履修できない。学外 での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01029	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1 学期	1~4	担当教員からの履修許可が あれば1年生も履修可 中国語初級履修経験者 重複履修可	火 10:45~12:35		
01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2 学期	1~4		火 10:45~12:35		
01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3 学期	1~4		火 10:45~12:35		
01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4 学期	1~4		火 10:45~12:35		
01033	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季 集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センタ ー ●定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件と する。	9/24~26(3日間)		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## (2) 岡山県立大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	第1Q	2024年4月10日	～	2024年6月11日
		第2Q	2024年6月12日	～	2024年8月9日
	後期	第3Q	2024年9月24日	～	2024年11月25日
		第4Q	2024年11月26日	～	2025年2月10日
試験期間	第1Q		2024年6月5日	～	2024年6月11日
	前期・第2Q		2024年8月5日	～	2024年8月9日
	第3Q		2024年11月19日	～	2024年11月25日
	後期・第4Q		2025年2月4日	～	2025年2月10日
授業時間	1限		8:40	～	10:10
	2限		10:20	～	11:50
	3限		12:40	～	14:10
	4限		14:20	～	15:50
	5限		16:00	～	17:30

### ② アクセス(案内図)

- JR 桃太郎線・服部駅(JR 岡山駅から 25 分)から徒歩 5 分。
- 岡山自動車道・岡山総社 IC から車で 5 分。

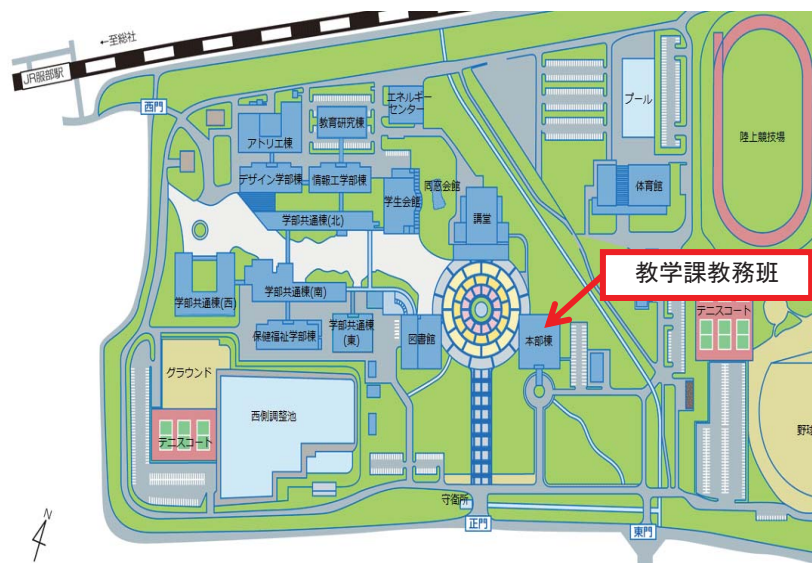




### ③ 担当窓口

教学課教務班

所在地:



電話: 0866-94-2111(代表)

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。

#### ・ 履修手続

##### 対面授業科目を履修する方

1. 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ①履修案内
- ②シラバス(該当科目)
- ③授業時間割表
- ④学生便覧

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

#### ・ 施設利用

岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。

#### ・ 特記事項

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www.oka-pu.ac.jp/guide/guide\\_detail/index/17.html](https://www.oka-pu.ac.jp/guide/guide_detail/index/17.html)

(岡山県立大学HP→大学案内→教育情報の公表→授業科目、授業内容、授業計画に関すること)

・遠隔授業科目

遠隔授業(教養教育科目)				02101
社会連携要論			岩満 賢次	
The Elements of Social Cooperation				
1 年次	1 単位	第2Q	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>            人生の移行期にいる大学生が、そのキャリア形成においてより豊かに成長していくためには、サービスラーニングを実践していくことが重要である。社会や地域のなかにある諸課題を取り上げながら、社会や地域を創生していく体験が学生の成長には必要である。そのため、大学生がサービスラーニングに参画することが重要となる。本講義では、学生がキャリア形成を行う上で、社会連携活動を通じたサービスラーニングの実践を学ぶことにより、社会や地域の諸問題を発見し、どのように解決に向けたアプローチを形成していくかという方法論の基本的視点を習得していくことを目的としている。</p> <p>なお、本講義は岡山県立大学副専攻岡山創生学課程の基礎科目である。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.高等教育における社会連携教育の導入</li> <li>2.学生の成長と社会連携教育</li> <li>3.社会連携教育におけるサービスラーニングの意義の理解</li> <li>4.サービスラーニング実践事例の理解</li> <li>5.SDGs の概念と社会連携</li> <li>6.SDGs 推進の取り組み①NPO・ボランティアの役割</li> <li>7.SDGs 推進の取り組み②企業の役割</li> <li>8. SDGs 推進の取り組み③行政の役割</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>            岩満賢次(2023)『社会連携要論:学生と社会をつなぐ新しい教育』DTP出版            その他資料を配付することがある。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            岡本栄一監修『ボランティアのすすめ』ミネルヴァ書房など</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業への取り組み状況(授業時の課題)(40%)、総括レポート(60%)</p> <p>※岡山県立大学以外の学生が授業を希望する場合は授業後の録画配信となります。授業をそのまま録画しますので、クオリティは保証できませんので、ご了承ください。</p>				

・対面授業科目

対面授業(専門教育科目)			02001																	
国際家族政策論			近藤 理恵																	
International Family Policy																				
3~4 年次	2 単位	前期	週1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>          本講義では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワークライフバランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型</td> <td>9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)</td> <td>14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク</td> </tr> <tr> <td>8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク	8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	
1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク																			
8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
<p><b>【テキスト】</b>          プリントを使用</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>          「日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ」近藤理恵著、学文社、2013 年          「グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究」中嶋和夫監修、ユン・ジョンス、近藤理恵編、学術出版会、2013 年          『世界の子どもへの貧困対策と福祉関連 QOL』黒木保博監修、中嶋和夫、近藤理恵編、学文社、2018 年</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          小レポート(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。</p>																				

対面授業(専門教育科目)				02002
サービスマーケティング論			喜村仁詞	
Service Marketing				
2 年次	2 単位	前期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  サービスマーケティングに関する理論について、事例等を中心に用いることで理解を深めます。はじめに、マーケティング理論の関する基礎的な知識を身につけ、その上で、サービスについて学ぶことで、サービスが持つ特性に応じた顧客とのコミュニケーションを理解することを目的とします。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1.ガイダンス:サービスマーケティングとは  2.価値って誰が決めるのか？  3.消費者の購買行動には法則がある  4.置かれた環境を分析する  5.売れるための秘訣を考える  6.ブランドとは？  7.ロングセラーの秘訣  8.顧客に伝えるべき内容とは？  9.新たな価値の創造  10.前半のふりかえり  11.サービスとは？  12.サービスの事例 1  13.サービスの事例 2  14.サービスの事例 3  15.後半のふりかえり</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。資料を配付することがある。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み状況(授業時の課題)(20%)、レポート(80%)</p>				

対面授業(専門教育科目)				02003
符号理論			榊原 勝己	
Coding Theory				
3 年次	2 単位	後期	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 講義では、線形代数あるいは論理数学に基づいて構成された誤り訂正符号の基礎理論と、最も簡単な誤り訂正符号であるハミング符号の論理回路による実現について学びます。また、誤り検出符号を利用した様々な自動再送制御方式の概要とその違いや性能を学習します。				
<b>【授業内容】</b> 1. 通信路雑音の原因、ビット誤り率 2. 誤り訂正符号の原理(繰返符号、ハミング距離、距離の三公理) 3. 誤り訂正符号の原理(最小距離と誤り訂正能力) 4. 誤り訂正符号の原理(生成行列、検査行列) 5. ハミング符号(生成行列と符号化法) 6. ハミング符号(検査行列と復号法、シンドローム) 7. 線形符号(線形空間と誤り訂正符号、符号化法と復号法) 8. 線形符号(拡張符号、短縮符号、パンクチャー符号) 9. 巡回符号(ベクトル表現と多項式表現、巡回符号の性質) 10. 巡回符号(線形符号との対比による符号化法と復号法) 11. 巡回符号の符号化回路 12. 巡回符号の復号回路 13. 様々な誤り訂正符号 14. 自動再送制御方式 15. ハイブリッド ARQ				
<b>【テキスト】</b> 使用しない。テキスト教材を配付することがある。				
<b>【参考図書】</b> 三谷政昭(著)、「[改訂新版]やり直しのための工業数学(情報通信編)」、CQ 出版など				
<b>【成績評価の方法】</b> 定期試験(60%)、小テスト(30%)、ミニツツペーパー(10%)				

対面授業(学部教育科目) ※リアルタイムオンライン併用可(期末試験を除く)				02004
設計工学・生産システム			妻屋 彰	
Design Engineering and Manufacturing Systems				
3 年次	2 単位	後期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  ものづくりにおいては、要素技術に加えてそれらを活用し組み合わせることによって、「なにを」「いつ」「どのように」つくるのか、ということが重要である。近年のものづくりを取り巻く状況の変化により、設計や生産などのものづくり技術についても、体系化が必要となってきた。本講義では、製品やサービスなどのシステムの設計開発および生産システムや生産管理に関する工学の基本的な理論・方法論・方法を修得することを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設計・生産とは、現代のものづくり</li> <li>2. 人工物・ものづくりの歴史と進化</li> <li>3. 製品／システムの価値・評価</li> <li>4. プロジェクト・スケジューリング</li> <li>5. 設計の理論・方法論1(ドイツ流設計方法論)</li> <li>6. 設計の理論・方法論2(公理的設計方法論)</li> <li>7. 設計の理論・方法論3(一般設計学)</li> <li>8. 問題解決プロセスとその方法1(問題構造の把握:ISM 法, QFD)</li> <li>9. 問題解決プロセスとその方法2(機能のモデリング:IDEF0, UML)</li> <li>10. 問題解決プロセスとその方法3(意思決定法:AHP)</li> <li>11. 生産システム1(生産設計, レイアウト設計)</li> <li>12. 生産システム2(生産形態, トヨタ生産方式)</li> <li>13. 生産管理1(生産計画)</li> <li>14. 生産管理2(生産スケジューリング)</li> <li>15. 生産管理3(在庫管理)</li> <li>16. 期末試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  特に指定しない。Web やメール等で適宜資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  講義中に適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験(70%)、講義中の演習および宿題(30%)</p>				

対面授業(専門教育科目)				02005
組み込みシステム			有本 和民	
Embedded Systems				
3 年次	2 単位	前期	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 組み込みシステムの全体像を理解し、それを構成するハードウェア、ソフトウェアの基本構成について理解する。また組み込みシステム設計に必要なとされる基本知識を習得する。				
<b>【授業内容】</b> 1 授業の概要の説明 2 組み込みシステムの概要1 3 組み込みシステムの概要2 4 組み込みハードウェア設計概要 5 組み込みソフトウェア設計概要 6 組み込みプロセッサ1 7 組み込みプロセッサ2 8 組み込みネットワーク 9 ソフトウェア開発環境 10 ソフトウェアプラットフォーム 11 ソフトウェア開発方法の基礎 12 ソフトウェアの設計・検証 13 カーエレクトロニクス 14 センサネットワーク 15 IoT 16 組み込みシステム最新動向				
<b>【テキスト】</b> 「組み込みシステム概論」、情報処理学会 組み込みシステム研究会 監修 戸川 望 編著、CQ 出版社				
<b>【参考図書】</b> 「組み込みシステム」、阪田史郎・高田広章 著、オーム社 「マイクロコンピュータの基礎」、森下 巖著、昭晃堂				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業への取り組み状況(授業時の課題等)(20%)、レポート(80%)				

対面授業(専門教育科目)				02006
行動情報科学			綾部 誠也	
Coding Theory				
3 年次	2 単位	前期	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 行動情報科学では, ヒトの行動を包括的に科学的に理解するための行動・動作の生理メカニズムや個人・集団の行動の計測・分析方法について学習する. 身体の行動情報を科学的に分析する手法, 集団行動の評価, 数値解析, 統計手法の解析などを学習する.				
<b>【授業内容】</b> 1. 身体行動の科学 2. ヒト行動の進化 3. 動物とヒトの行動 4. 身体行動と認知・脳情報 5. 食行動の科学 6. 行動と情動の科学 7. 身体行動と発育発達・加齢 8. 行動変容の科学 9. サーガディアンリズムと行動 10. 行動の身体負担の推定原理 11. 身体活動の評価技術 12. 身体行動の客観的評価(身体活動) 13. 身体行動の客観的評価(睡眠) 14. 日常生活行動の解析・分析(個人) 15. 日常生活行動の解析・分析(集団)				
<b>【テキスト】</b> 使用しない。テキスト教材を配付することがある。				
<b>【参考図書】</b> など				
<b>【成績評価の方法】</b> 小テスト・ミニッツペーパー(60%)・定期試験(40%)				



対面授業(専門)			02007
森林生態学・地盤工学		穂苅 耕介	
Forest Ecology and Geotechnical Engineering			
3年次	2単位	通年集中	
<p><b>【授業の目的】</b>          建築をつくることは、人間と自然との関係を再構築する行為といえる。気候変動による多くの災害やパンデミックに直面している現代社会において、環境の正しい理解なしに建築を考えることは不可能である。そのためには、森林や地盤構造に対する正しい理解が必須である。また、戦後の建設資材としての製材増産のための自然林から人工林への転換、および経済合理性優先の宅地開発等による地盤の軟弱化が、現在の気候変動による災害の甚大さをもたらす大きな要因のひとつになっている。本科目は森林や地盤についての基本的な知識を修得し、環境から導かれるこれからの建築デザインについて考える素地を滋養することが目的である。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. キャンパス内散策</li> <li>3. 森林と人類の歴史</li> <li>4. 森林とは</li> <li>5. 森林生態系</li> <li>6. 森林の役割</li> <li>7. 森林の管理</li> <li>8. 木材の利用</li> <li>9. 岡山県の森林</li> <li>10. 今後の方向性</li> <li>11. 地盤形成学</li> <li>12. 軟弱地盤対策</li> <li>13. 砂質地盤対策</li> <li>14. 地盤掘削論</li> <li>15. 建物の防災論</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b>          教科書は使用しない</p>			
<p><b>【参考図書】</b>          河野伊一郎・八木規男・吉国洋編著:「土の力学」技法堂出版、1990          林野庁「森林・林業白書」          岡山県「21おかやま森林・林業ビジョン(改訂版)」</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>          取り組み態度(20%)、総括レポート(80%)</p>			

対面授業(副専攻科目)				02008
木構造学・木構造デザイン			向山 徹	
Wood Structure and Wood Structure Design				
3年次	2単位	通年	15コマ	
<b>【授業の目的】</b> 建築構造の中の、木構造についての基本的な考え方に習熟すると同時に、構造的観点からのデザインについて、実例を通じて学び、木造で建築を考える感覚を涵養する。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 木構造デザインの基礎(1)(木の性質と木の組み方)</li> <li>2. 木構造デザインの基礎(2)(木組みとデザイン)</li> <li>3. 木構造デザインの応用編(1)(実例を通じた解説)</li> <li>4. 木構造デザインの応用編(2)(実例を通じた解説)</li> <li>5. 木構造デザインの応用編(3)(実例を通じた解説)</li> <li>6. 在来軸組構法の耐震設計の概要(1)</li> <li>7. 在来軸組構法の耐震設計の概要(2)</li> <li>8. 在来軸組構法の耐震設計の概要(3)</li> <li>9. 在来軸組構法の耐震設計の概要(4)</li> <li>10. 在来軸組構法の耐震設計の概要(5)</li> <li>11. 素材と構法について</li> <li>12. 巨匠と構法について</li> <li>13. 木構法応用編(4)(実例を通じた解説)</li> <li>14. 木構法応用編(5)(実例を通じた解説)</li> <li>15. 木構法応用編(6)(実例を通じた解説)</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> 指定しない。テキスト教材を配付することがある。				
<b>【参考図書】</b> 「木質構造」杉山英男著、共立出版。「世界で一番やさしい木構造」山辺豊彦、エクスナレッジ。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席と授業態度(20%)、レポート(80%)				

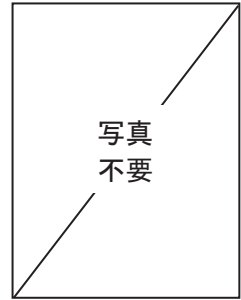
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山県立大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな				
氏名				



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等				
学部・学科・学年	学部	学科	年	
学生番号	生年 月日	西暦 年		
		昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 — Tel ( ) —			
メールアドレス	@ (大学で付与されたメールアドレスを記入してください)			

\* 履修受付締切日：前期：4月4日(木)まで 後期：9月19日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1	オンデマンド配信	水 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2		金 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
02003	符号理論	専門	榊原 勝己	2	後期	3		金 8:40~10:10	<input type="checkbox"/>	
02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3	オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02005	組込みシステム	専門	有本 和民	2	前期	3		火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02006	行動情報科学	専門	綾部 誠也	2	前期	3		水 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
02007	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	通年 集中	3	集中授業 8月下旬予定 (5コマ×3日間)		<input type="checkbox"/>	
02008	木構造学・木構造デザイン	専門	向山 徹	2	通年 集中	3	集中授業 8/26~28 (5コマ×3日間)		<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

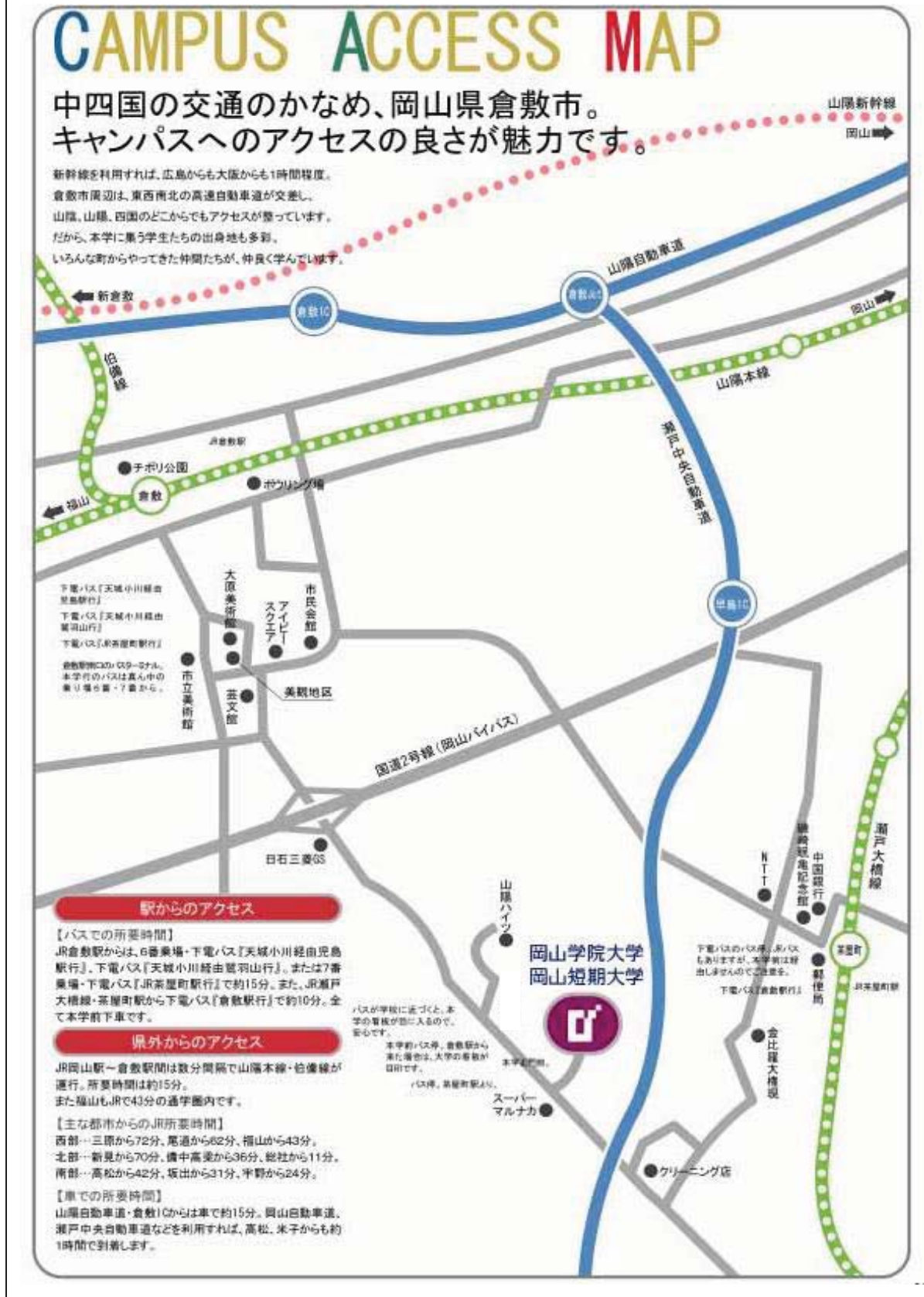
### (3) 岡山学院大学

#### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月1日	～	2024年9月10日
	後期	2024年9月11日	～	2025年3月31日
試験期間	前期	2024年7月下旬	～	2024年8月上旬
	後期	2025年1月下旬	～	2025年2月上旬
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:00	～	14:30
	4限	14:40	～	16:10
	5限	16:20	～	17:50

② アクセス(案内図)

岡山学院大学へのアクセス



③ 担当窓口

学務課教務係	
所在地:	岡山県倉敷市有城 787
電話:	086-428-2651

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修手続

対面授業科目の履修者には、以下の印刷物を配付します。

①シラバス(該当科目) (学務課)

・ 施設利用

岡山学院大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

--

・対面授業科目

対面授業(教養教育科目)				03001																
栄養教育論			内田 雅子																	
履修年次: 2年生	2単位	前期	1コマ	定員 10名																
<p><b>【授業の目的】</b>            人々の「健康」に対する意識が高まる中、栄養教育は、科学的根拠にも基づき、様々な状況に置かれた人々の栄養状態の維持改善を目指して、自らが行動変容を起こせるよう支援していくことです。            本講義では、初学者のために栄養教育を行うに必要な基礎知識を、演習も交えて解説します。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 行動科学の理論とモデル</td> <td>9. 行動変容技法</td> </tr> <tr> <td>2. 行動科学の理論とモデル</td> <td>10. 栄養教育マネジメント</td> </tr> <tr> <td>3. 行動科学の理論とモデル</td> <td>11. 栄養教育マネジメントで用いる理論</td> </tr> <tr> <td>4. 行動科学の理論とモデル</td> <td>12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)</td> </tr> <tr> <td>5. 行動科学の理論とモデル</td> <td>13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)</td> </tr> <tr> <td>6. 栄養カウンセリングの基本</td> <td>14. 症例別栄養教育の実践(実施)</td> </tr> <tr> <td>7. 栄養カウンセリング 認知行動療法</td> <td>15. 症例別栄養教育の実践(評価)</td> </tr> <tr> <td>8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接</td> <td>16. 試験</td> </tr> </table>					1. 行動科学の理論とモデル	9. 行動変容技法	2. 行動科学の理論とモデル	10. 栄養教育マネジメント	3. 行動科学の理論とモデル	11. 栄養教育マネジメントで用いる理論	4. 行動科学の理論とモデル	12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)	5. 行動科学の理論とモデル	13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)	6. 栄養カウンセリングの基本	14. 症例別栄養教育の実践(実施)	7. 栄養カウンセリング 認知行動療法	15. 症例別栄養教育の実践(評価)	8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接	16. 試験
1. 行動科学の理論とモデル	9. 行動変容技法																			
2. 行動科学の理論とモデル	10. 栄養教育マネジメント																			
3. 行動科学の理論とモデル	11. 栄養教育マネジメントで用いる理論																			
4. 行動科学の理論とモデル	12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)																			
5. 行動科学の理論とモデル	13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)																			
6. 栄養カウンセリングの基本	14. 症例別栄養教育の実践(実施)																			
7. 栄養カウンセリング 認知行動療法	15. 症例別栄養教育の実践(評価)																			
8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接	16. 試験																			
<p><b>【テキスト】</b>            永井成美・赤松成美 Visual栄養学テキスト 栄養教育論第2版 中山書店</p>																				
<p><b>【参考図書】</b></p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業の参加状況(意見・質問・実技等)(10%)、小テスト(30%)、および期末試験(60%)の全てを合計し、60%以上を取得した者に対して単位を認定します。</p>																				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山学院大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科			年
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 — Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日: 前期: 4月3日(水)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
03001	栄養教育論	教養	内田 雅子	2	前期	2	定員 10 名	土 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚



## (4) 岡山商科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月8日	～	2024年7月25日
	後期	2024年9月13日	～	2025年1月14日
試験期間	前期	2024年7月30日	～	2024年8月5日
	後期	2025年1月20日	～	2025年1月24日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	15:00	～	16:30
	5限	16:50	～	18:20

### ② アクセス(案内図)



#### 【交通アクセス】

◎JR岡山駅よりバス利用 所要時間 15分, バス便多数あり

対象路線: 国立病院線, 免許センター線, 辛香線, 半田山ハイツ・津高台団地線

◎山陽自動車道 岡山 I.C.より車で5分

# CAMPUS MAP



① 1号館 (教務課・学生課・入試課、研究室)  
⑤ 5号館

⑦ 7号館 (研究室・教室)

⑧ 8号館 (研究室・教室)

⑨ 本館 (事務局 (総務企画課・会計課)、法人事務局)、研究室

⑩ 図書館 (図書課・産学官連携センター・  
社会総合研究所・孔子学院)

⑪ 体育館 ⑫ 学生会館 (食堂、地域交流談話室)

⑬ 第2学生会館 (部室)

⑭ 第10学生会館 ⑮ 野球グラウンド

⑯ 野球屋内練習場 ⑰ サッカーグラウンド

⑱ 剣道・卓球場 ⑲ 弓道場 ⑳ 中庭

㉑ 井尻記念館 (キャリアセンター・大学院研究室・  
講義室、50周年記念室  
同窓会事務局、売店)

㉒ 第5学生会館 ㉓ 第6学生会館 ㉔ 第9学生会館

### ③ 担当窓口

教務課	
所在地:	岡山市北区津島京町2-10-1 1号館1階
電話:	086-256-6653

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

前期受付:2024年3月4日(月)～3月29日(金)  
後期受付:2024年7月1日(月)～9月11日(水)  
ただし、所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

#### ・ 履修手続

##### 対面授業科目を履修する方

- 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課に来てください。
  - ① 学生証(単位互換履修生証)
  - ② OSU-Port パスワード
  - ③ 学生手帳
- 自動車通学を希望する場合は、許可が必要ですので申し出てください。  
(駐車料金有料)

#### ・ 施設利用

岡山商科大学在大学生と同じ扱いとします。  
図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

#### ・ 特記事項

振替講義日(下記の日は月曜日の授業を行います)  
前期:5月1日(水), 7月16日(火), 7月25日(木)  
後期:9月24日(火), 10月17日(木), 10月30日(水), 1月14日(火)

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://webclass.osu.ac.jp/webclass/ip\\_mods.php/plugin/syllabus/search](https://webclass.osu.ac.jp/webclass/ip_mods.php/plugin/syllabus/search)

・対面授業科目

対面授業			04001	
授業科目名: 行政法 I			担当教員氏名: 伊藤 治彦	
Administrative Law 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>            行政法の基本原理(法律による行政の原理、行政法の法源、公法上の法律関係等)、行政組織法、公務員法について学んでいく。            1 行政法の体系、基本原理を理解する            2 国の行政組織のしくみや行政組織相互の関係について理解する            3 わが国の公務員制度について理解する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            行政法の基本原理</p> <p>(1)行政の概念            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(2)行政法の体系            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(3)法律による行政の原理            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(4)行政法の法源            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(5)行政上の法律関係            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政組織法</p> <p>(6)行政組織改革概説            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(7)行政主体・行政機関・行政庁            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(8)内閣・内閣官房・内閣府            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>(9)内閣の統轄下にある行政組織            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>公務員法</p> <p>(10)概説            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく            復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>				

(11)種類

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(12)公務員の権利とその制限

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(13)公務員の義務

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(14)不利益処分とその救済

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(15)まとめ

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(予習・復習)

授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従って、それぞれ2時間以上行うこと

(注意事項)

授業中の私語、無断退出は厳禁、出席に関する不正行為は厳罰に処する。授業中に配ったプリントは、次回から全て持ってくること。六法も毎回持参すること

【テキスト】

事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院

【参考図書】

【成績評価の方法】

試験: 15 回目の講義日にまとめのテストを行う(70%)

小テスト: 適宜 1 回以上行う(20%)

受講態度:(10%)

対面授業				04002
授業科目名: 行政法Ⅱ			担当教員氏名: 伊藤 治彦	
Administrative Law 2				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、行政作用法の中でも行政計画、行政立法、行政行為、行政強制、行政罰について考察するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政の一連の活動の形成過程を理解する。</li> <li>2 行政作用の種類及び各行政作用の特色について理解する。</li> <li>3 行政作用に関する公務員試験の基礎的な問題が解けるようになる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政作用法概説  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 行政計画の種類  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>3 計画策定手続  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政立法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 法規命令  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>5 訓令・通達  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政行為</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 概念、効力  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>7 行政行為の種類  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>8 行政裁量  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>9 行政行為の付款  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>10 瑕疵ある行政行為  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>11 行政行為の取消と撤回  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol>				

<p>行政強制</p> <p>12 代執行・執行罰・直接強制  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>13 即時強制と行政調査  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政罰</p> <p>14 行政刑罰・秩序罰・その他の制裁  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>15 まとめ  予習 授業で配布されたプリントを整理しておく  復習 教科書やプリント及びノートを見て全体を要解していく</p> <p>(予習・復習)  授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従ってそれぞれ2時間以上行うこと。</p> <p>(注意事項)  私語、無断退出は厳禁。出席に関する不正行為は厳罰に処する。</p>
<p>【テキスト】  事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院</p>
<p>【参考図書】</p>
<p>【成績評価の方法】  試験:15回目の「まとめ」で行う(70%)  小テスト:適宜最低1回は行う(20%)  受講態度:(10%)</p>

対面授業				04003
授業科目名: 民法概説			担当教員氏名: 倉持 弘	
Introduction to Civil Law				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、これまで法律学を学んだことのない学生を対象に、民法(財産法)をおおまかに解説するものである。内容的には、主に、不動産の売買や金銭の貸借などの契約について解説する。  受講生が受講後に次のようなことができるようになること。  1. 契約の締結、履行の流れをおおまかに理解し、また契約が履行されなかった場合の法的処理についてもおおまかに理解できている。  2. 未成年者のような判断能力が不十分な者の契約締結についての法的規制について例をあげて説明できる。  3. 代理人による契約締結について例をあげて説明できる。  4. 不動産登記制度について例をあげて説明できる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  原則として対面で授業を行うが、オンライン授業となった場合には講義動画を YouTube に掲載する。  対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドを WebClass に掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時には手元に用意しておくこと。ほぼ毎回小テストを行うが、対面授業の場合でも WebClass で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、「民法は人生の必修科目」  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 民法について考える。</li> <li>2. 民事と刑事、法規定の構造  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 民事法と刑事法の違いについて考える。</li> <li>3. 事故の場合の損害賠償(不法行為)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 損害賠償制度について考える。</li> <li>4. 契約とはどのようなものか、売買とはどのようなものか  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 契約について考える。</li> <li>5. 財産権(売買される対象)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 物権と債権の違いについて考える。</li> <li>6. 契約の締結  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 意思と表示の不一致について考える。</li> </ol> <p>補講. 六法の見方 法学科以外の学生は講義動画を視聴してレポートを提出すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 詐欺・強迫、消費者契約の規制  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 消費者契約について考える。</li> <li>8. 代理人による契約の締結  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 表見代理について考える。</li> <li>9. 未成年者の保護  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 未成年者は具体的にどう保護されているのか考える。</li> </ol>				



<p>10. 所有権の移転、不動産登記  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 不動産登記制度について考える。</p> <p>11. 契約が履行されないとき(強制履行、損害賠償、契約解除)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 契約が履行されないときに採ることができる法的手段について考える。</p> <p>12. 慣習・任意規定による契約内容の補充、同時履行の抗弁、買主の追完請求権  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 任意規定・強行規定について考える。</p> <p>13. 貸し借りの契約(賃貸借・消費貸借)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 利息に関する法規制について考える。</p> <p>14. さまざまな弁済方法、保証  事前学習: 講義スライドを読む。利息計算。  事後学習: 保証について考える。</p> <p>15. 担保(保証、抵当)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 担保について考える。</p> <p>16. 最終試験  最終試験は原則として筆記式で行う。それができない場合は WebClass で行う。</p> <p>* 六法は指定のものでもなくとも構わないが、改正前の規定なども掲載されている書籍の六法が望ましい。</p> <p>(予習・復習)  予習1時間: 講義スライドを読み、意味・読みのわからない語句を調べる。  復習3時間: 講義スライドを読み直して、各回の事後学習について、自分で考えること。  WebClass の自習課題に取り組むこと。</p> <p>(注意事項)  ・出席登録は WebClass で行うのでPCまたはスマートフォンを持参すること。また、授業時間中にも WebClass で小テストを行うので、PCを持参するのが望ましい。  ・自習課題を WebClass で提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。  ・講義時間の冒頭で復習テストを WebClass で実施する。終了後に得点が表示されるように設定を変更するので、それを見て復習すること。  ・対面授業の場合でも講義動画を YouTube に掲載するので、欠席者は必ずそれを視聴して、上記の自習課題・復習テスト(次回に紙で提出のこと)に取り組むこと。  ・最終試験は、筆記式・持込不可で行う。</p>
<p><b>【テキスト】</b>  講義スライド、自習課題を WebClass に掲載する。  教科書 <a href="http://kuramochi.o.oo7.jp">http://kuramochi.o.oo7.jp</a></p>
<p><b>【参考図書】</b>  ・民法への招待[第6版] 池田真朗/著 税務経理協会  ・ポケット六法 令和6年版 佐伯仁志/編集 大村敦志/編集 荒木尚志/編集 有斐閣</p>
<p><b>【成績評価の方法】</b>  試験: 最終試験。筆記式、持込不可。(40%)  小テスト: 講義時間冒頭で復習テストを行う。講義時間中に小テストを行う。(60%)</p>

対面授業			04004	
授業科目名: 民法総則			担当教員氏名: 倉持 弘	
Civil Law				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  公務員(行政職)試験などを受験しようという学生を想定して、民法の総則編について解説する。自習課題・小テストなどは公務員試験の過去問に類する問題を出題する。  受講生が受講後に次のようなことができるようになること。  1. 法律行為とはどのようなものか、例をあげて説明できる。  2. 行為能力の制限の制度について例をあげて説明できる。  3. 代理について例をあげて説明できる。  4. 時効制度について例をあげて説明できる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドを WebClass に掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時間には手元に用意しておくこと。また、ほぼ毎回 WebClass 上で予習課題、小テストを課す。  オンライン授業の場合、講義動画を YouTube に掲載する。</p> <p>この講義は5編構成の民法の第1編「総則」の部分解説するものであるが、総則編には民法全体に共通して適用される規定が置かれているので、民法全体をある程度理解した上で履修することが望ましい。なお、総則編中の法人については『会社法概説』の講義で、取得時効については『物権総論』の講義で扱われる。</p> <p>1. オリエンテーション、民法総則とは  事前学習: 教科書第1章を読む。「民法概説」の復習(小テストで出題する)。  事後学習: パンデクテンシステムとはどういうものか。</p> <p>2. 人の出生と死亡、失踪宣告  事前学習: 教科書第3章第1節を読む。  事後学習: 失踪宣告の制度は何のためにあるか。</p> <p>3. 法律行為と意思表示  事前学習: 教科書第6章第1節から第3節を読む。  事後学習: 法律行為・意思表示とは何か。</p> <p>4. 意思と表示の不一致  事前学習: 教科書第6章第3節から第4節を読む。  事後学習: 意思と表示の不一致とはどういう問題か。</p> <p>5. 錯誤、詐欺・強迫  事前学習: 教科書第6章第4節を読む。  事後学習: 民法の詐欺取消しと消費者契約法による取消しの違い。</p> <p>6. 未成年者  事前学習: 教科書第3章第2節第3節を読む。  事後学習: 未成年者はどのように保護されているか。</p> <p>7. 成年の制限行為能力者、制限行為能力者の相手方の保護  事前学習: 教科書第3章第3節を読む。  事後学習: 成年後見にからむ諸問題。</p> <p>8. 中間試験、無効と取消し  事前学習: 教科書第8章を読む。  事後学習: 無効と取消しの異同。</p> <p>9. 代理の概略  事前学習: 教科書第10章第1節第2節を読む。  事後学習: 民法の代理とはどういうものか。</p>				

<p>10. 代理行為、代理権の濫用  事前学習:教科書第10章第3節を読む。  事後学習:代理行為の瑕疵、代理権の濫用とは何か。</p> <p>11. 無権代理、表見代理  事前学習:教科書第10章第4節第5節を読む。  事後学習:表見代理制度はなぜ必要か。</p> <p>12. 時効の概略  事前学習:教科書第12章第4節を読む。  事後学習:時効制度の意義。</p> <p>13. 消滅時効  事前学習:教科書第12章第2節を読む。  事後学習:消滅時効の起算点について考える。</p> <p>14. 取得時効・消滅時効に共通する原則  事前学習:教科書第12章第3節を読む。  事後学習:時効の完成猶予と更新について考える。</p> <p>15. 信義誠実の原則、条件・期限、物  事前学習:教科書第2章第3節、第9章、第5章を読む。  事後学習:信義誠実の原則について考える。</p> <p>16. 最終試験  最終試験は筆記式、持込不可で行う。それができない場合はWebClassで行う。</p> <p>* 六法は指定のものでも構わないが、2017年改正前の規定が掲載されている書籍の六法が望ましい。</p> <p>(予習・復習)  予習1時間:教科書該当ページを読み、予習課題に答えること。  復習3時間:教科書・講義スライドを読み直して、各回の事後学習について、自分で考えること。  WebClassの自習課題に取り組むこと。</p> <p>(注意事項)  ・出席登録はWebClassで行うのでPCまたはスマートフォンを持参すること。  ・予習課題をWebClassで提出する。  ・自習課題をWebClassで提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。  ・講義時間冒頭に復習テストをWebClassで実施する。解答期間終了後に得点が表示されるように設定を変更するので、それを見て復習すること。  ・対面授業の場合でも講義動画をYouTubeに掲載するので、欠席者は必ずそれを視聴して、上記の自習課題・復習テスト(次回に紙で提出)に取り組むこと。  ・最終試験は、筆記式・持込不可で行う。</p>
<p><b>【テキスト】</b>  (教材)  講義スライド、自習課題をWebClassに掲載する。  (教科書)  民法入門・総則[第5版補訂版] エッセンシャル民法1 永田眞三郎／著・文・その他 松本恒雄／著・文・その他 松岡久和／著・文・その他 横山美夏／著・文・その他 有斐閣</p>
<p><b>【参考図書】</b>  ポケット六法 令和6年版 佐伯仁志／編集 大村敦志／編集 荒木尚志／編集 有斐閣</p>
<p><b>【成績評価の方法】</b>  試験:最終試験。筆記式、持込不可。(60%)  小テスト:講義時間冒頭で復習テストを実施する。授業計画第8回の中間試験も、成績評価では復習テストの1つとして扱う。(30%)  その他:WebClassで予習課題を提出する。(10%)</p>

対面授業				04005	
授業科目名: 刑事政策			担当教員氏名: 白井 諭		
Criminal Policy					
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>          本科目は法学部の専門科目である。犯罪の原因やそれへの対応のあり方を学ぶことで、とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。          (1) 社会や刑事司法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。[CP/DP6 意欲・責任感]          (2) 犯罪対応をめぐる現状とそれに関する理論の概要を他者に説明することができる[DP/CP1 専門知識]          (3) 刑事司法をめぐる問題点を発見し、様々な利益を考量しながらそれを解決することができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力]          (4) 社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べるすることができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力、DP/CP6 意欲・責任感]</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          ≪授業方法≫          * 受講者にはあらかじめレジュメと講義ビデオに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又は zoom と対面とで並行して)開講することがある。</p> <p>≪授業計画≫          「刑事政策」は犯罪への対応のあり方を検討することを目的としている。社会で発生した犯罪に対しては、様々な学問分野の知見を参考にしながら犯罪の原因を突き止め、それに適した対応をとることが求められる。しかし他方で、犯罪に対応していくためには、「基本的人権の保障」をはじめとする法原理を尊重する必要があることも忘れてはならない。          この講義では、さまざまな犯罪を取り巻く諸事情(犯罪の原因)を検討したうえで、犯罪への対応のあり方を議論していく。とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。</p> <p>第1回 「刑事政策」とは何か          &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第1講第1節-第2節・第2講第1節-第2節、犯罪学講義 pp.1-9          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること          &lt;事後学修&gt; 「刑事政策」と刑法・刑事訴訟法などの違いについて、考えをまとめておくこと</p> <p>第2回 現在の犯罪情勢と治安          &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第1講第3節・第2講第3節、犯罪学講義 pp.10-24          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること          現在の犯罪情勢について、情報を収集すること          &lt;事後学修&gt; 現在の犯罪情勢について、考えをまとめておくこと</p>					

- 第3回 犯罪の原因 —伝統的な犯罪学と犯罪防止に向けた社会の役割—  
 <参考資料> 刑事政策学第2講第4節-第5節、犯罪学講義 pp.79-97,173-201  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 犯罪が発生する原因について、情報を収集すること  
 <事後学修> 犯罪が発生する個人的な原因について、考えをまとめておくこと
- 第4回 刑罰の種類と目的  
 <参考資料> 刑事政策学第3講第1節・第3節、犯罪学講義 pp.111-113、刑法9条以下  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 刑罰の種類について、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑罰の目的について、考えをまとめておくこと
- 第5回 刑事司法の流れと現状  
 <参考資料> 刑事政策学第1講第3節・第5講、犯罪学講義 pp.98-110、  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 刑事司法の流れについて、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑事司法全体の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第6回 刑罰の歴史と死刑制度  
 <参考資料> 刑事政策学第3講第2節・第4節、犯罪学講義 pp.113-117  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 死刑制度について、情報を収集すること  
 <事後学修> 死刑制度の問題点について、考えをまとめておくこと
- 第7回 自由刑の問題点  
 <参考資料> 刑事政策学第3講第5節-第6節、犯罪学講義 pp.117-123  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 懲役刑・禁錮刑・拘留刑について、情報を収集すること  
 <事後学修> 自由刑の特徴と問題点について、考えをまとめておくこと
- 第8回 犯罪者処遇の基本原則  
 <参考資料> 刑事政策学第6講第1節、犯罪学講義 pp.143-145  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 犯罪者の処遇について、情報を収集すること  
 <事後学修> 犯罪者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第9回 施設内処遇  
 <参考資料> 刑事政策学第6講第2節、犯罪学講義 pp.145-163  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 刑務所のありようについて、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑務所や施設内処遇の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第10回 財産刑と社会内処遇  
 <参考資料> 刑事政策学第3講第7節・第6講第3節、犯罪学講義 pp.126-132,164-172  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 財産刑や社会内処遇について、情報を収集すること  
 <事後学修> 社会における犯罪者の処遇のあり方について、考えをまとめておくこと
- 第11回 猶予制度  
 <参考資料> 刑事政策学第2講第6節・第5講第4節-第5節、犯罪学講義 pp.  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 猶予制度について、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑罰・施設収容の目的やそれらの限界について、考えをまとめておくこと

#### 第12回 刑罰の付随的効果(資格制限と恩赦)

<参考資料> 刑事政策学第4講第4節-第5節、犯罪学講義 pp.

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑罰の付随的効果について、情報を収集すること

<事後学修> 資格制限や恩赦の在り方について、考えをまとめておくこと

#### 第13回 保安処分と触法精神障がい者の処遇

<参考資料> 刑事政策学第4講第1節-第3節、犯罪学講義 pp.

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
措置入院制度や医療観察制度について、情報を収集すること

<事後学修> 触法精神障がい者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと

#### 第14回 犯罪被害者等への対応

<参考資料> 刑事政策学第2講第8節、犯罪学講義 pp.214-226

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
犯罪被害者等が置かれている状況について、情報を収集すること

<事後学修> 犯罪被害者等への支援策について、考えをまとめておくこと

#### 第15回 刑事政策への市民参加

<参考資料> 犯罪学講義 pp.272-281

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑事司法における市民参加の制度について、情報を収集すること

<事後学修> 刑事司法における自己の役割について、考えをまとめておくこと

(第15回終了後、最終試験)

(予習・復習)

\* 予習(1回につき2時間程度)

(1) WebClass を用いて事前にレジュメを配布するので、あらかじめダウンロードして内容に目を通しておくこと。また併せて、YouTube で講義ビデオを配信することがあるので、それを有効に活用すること(URL は逐次指示する: URL を知る者のみ視聴可)。

(2) 「刑法」「刑事訴訟法」の基本原則を確認するとともに、テキストの該当ページに目を通しておくこと

(3) 犯罪・非行とそれに対する処分にかかわる問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。

\* 復習(1回につき2時間程度)

(1) 配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

(2) 返却されたワークシートの問題を解きなおすこと。

(注意事項)

\* 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数がそのまま評価の対象になることはない。

\* この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、WebClass の「アンケート」を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがあり、その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。

\* 授業内レポートや「演習問題」の答えは担当教員がチェックして本人に返却する。ただし、オンラインで問題に回答してもらった場合は、その内容を個別にチェックできないので、授業中の解説を手掛かりとして自己採点をすること。

**【テキスト】**

(教材)

\* OSU-Port(WebClass)を用いてレジメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、必要に応じて、自習用に教科書とYouTube 動画(URL はレジメに記載あり:URL を知る者のみ参照可)を参照してほしい。

\* 授業中に条文の参照が必要となる場面が頻繁に出てくるため、六法を必ず持参すること(小型のものでかまわないが、「刑事訴訟法」・「刑事収容施設及び被収容者の処遇に関する法律」などを搭載した最新版を用意すること)。

(教科書)

刑事政策学 武内謙治／著 本庄武／著 日本評論社

**【参考図書】**

- ・犯罪白書 令和5年版 法務省 法務総合研究所／編 日経印刷  
([https://www.moj.go.jp/housouken/houso\\_hakusho2.html](https://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html))
- ・犯罪学講義 第3版 上田寛／著 成文堂

**【成績評価の方法】**

試験:基本的に学期末試験の成績で評価する(60%)

受講態度:「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」は授業内レポートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数そのまま評価の対象になることはない。(40%)

対面授業				04006
授業科目名:現代刑事法			担当教員氏名:白井 諭	
Modern Criminal Law				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  この講義は法学部の専門科目である。この講義では、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている昨今の動向に合わせて、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方を参加者全員で考えていくことにしたい。  (1) 社会や刑事法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。  (2) 少年法の基本原理の概要を他者に説明することができる。  (3) 社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べるができる。</p> <p><b>【授業内容】</b>  <b>《授業方法》</b>  * 受講者にはあらかじめレジュメに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又は zoom と対面とで並行して)開講することがある。</p> <p><b>《テーマ》若年者に対する刑事法制と「少年法」</b>  最近、マスメディアなどで少年犯罪がクローズアップされ、そのたびに凶悪犯罪をおかした少年に厳正な制裁を下すことを求める世論が強まっている。また、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている(法制審議会における最近の議論では、ひとまず少年法の適用年齢を従来どおり「20歳未満」とすることになったが、それでもなお犯罪少年に対する厳罰化は推し進められようとしている)。  しかし、非行少年に厳正な刑罰を科すことで本当に事態は改善するのだろうか?近代社会では、少年非行には成人とは異なる対応が必要だという認識から「少年法」(又はそれに代わる法律)の下、非行少年に対して特別な措置を講じてきた。そもそも子どもの成長発達には保護者など周りの大人が責任を負わなければならないものであり、非行少年に対していかなる処遇が必要・適切であるかを考えることは刑事法制や社会全体のあるべきかたちを見出していくことにつながるであろう。  そこで、この講義では、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方について参加者全員で考えていくことにしたい。</p> <p><b>《授業計画》</b>  <b>第1回 「少年法」の目的と特徴</b>  &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  少年法の目的と特徴について情報を収集しておくこと  &lt;事後学修&gt; 少年法の目的について、自分の考えをまとめておくこと</p> <p><b>第2回 「少年法」の対象</b>  &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  少年法の対象年齢引下げの議論について、情報を収集しておくこと  &lt;事後学修&gt; 少年法の対象年齢引下げの是非について、自分の考えをまとめておくこと</p>				



### 第3回 「少年法」の歴史と基本原則

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年非行の現状について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年非行の現状を改善する方策について、自分の考えをまとめておくこと

### 第4回 少年非行の発見と調査・捜査活動

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年非行に対する警察等の役割について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年非行に対する警察等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

### 第5回 家庭裁判所の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
家庭裁判所について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年司法における家庭裁判所の役割について、自分の考えをまとめておくこと

### 第6回 少年審判の原理・原則

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年審判について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年審判の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

### 第7回 非行事実と要保護性の認定

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年審判について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞非行少年に対する処分決定の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

### 第8回 少年司法における付添人の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における弁護士の役割について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年司法における弁護士の役割について、自分の考えをまとめておくこと

### 第9回 少年司法における検察官の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における検察官の役割について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年司法における検察官の役割について、自分の考えをまとめておくこと

### 第10回 少年司法における被害者等の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における被害者等の役割について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞少年司法における被害者等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

### 第11回 少年審判の終局決定

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
非行少年に対する処分について、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞非行少年に対する処分について、自分の考えをまとめておくこと

### 第12回 非行少年の保護処分

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年院や保護観察などについて、情報を収集しておくこと

＜事後学修＞非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

### 第13回 非行少年の刑事手続

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

#### 第 14 回 少年に対する刑事処分

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

#### 第 15 回 少年司法と国際準則

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
＜事後学修＞非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

(第 15 回終了後に最終試験を実施する予定)

(予習・復習)

\* 予習(1回につき2時間程度)

- (1)「刑法」「刑事訴訟法」「少年法」の基本原則を確認しておくこと。
- (2)事前に OSU-Port(WebClass)を用いてレジュメを配布するので、目を通しておくこと。
- (3)題材とする具体的な問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。

\* 復習(1回につき2時間程度)

配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

(注意事項)

\* 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数がそのまま評価の対象になることはない。

\* この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、OSU-Port(WebClass)を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがある。その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。

\* ワークシートは担当教員がチェックして本人に返却する。オンラインで回答してもらった問題は授業中に講評する。

【テキスト】

\* 事前に配布するレジュメに基づいて講義を進める。ただし、頻繁に条文を確認する場面があるため、必ず紙媒体の六法を持参すること。

【参考図書】

- ・犯罪白書 令和 5 年版 法務省 法務総合研究所／編  
([https://www.moj.go.jp/housouken/houso\\_hakusho2.html](https://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html))
- ・ビギナーズ少年法 第3版補訂第2版 守山正／著・編集 後藤弘子／著・編集 成文堂

【成績評価の方法】

試験:基本的に学期末試験の成績で評価する。(60%)

レポート:「平常点」として、ワークシートの内容などを付加的に勘案することがある。(25%)

受講態度:「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。(15%)

対面授業			04007	
授業科目名:労働経済学			担当教員氏名:三谷 直紀	
Labor Economics				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  労働経済学の理論について説明するとともに、実証研究の結果を踏まえて、雇用、賃金、人的資本投資等の政策的課題について論じる。とりわけ、少子高齢化、技術進歩などの構造変化と労働市場の課題について講ずる。  受講生が受講終了までに次のようなことができることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.労働経済学の基本的な概念を理解し、説明できる。</li> <li>2.労働市場の基本的な機能について理解し、説明できる。</li> <li>3.新聞等で取り上げられる身近な労働・雇用問題について理解し、説明できる。</li> <li>4.基本的な労働統計について理解し、分析に用いることができる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では、授業中に Google Form を使ってアンケートを実施し、集計データから留保賃金や失業率等を計算する作業を各自行ってもらいます。(アクティブラーニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働経済学とは何か？  労働市場、労働統計、労働市場の特殊性と労働政策  (事前学修:なし、事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>2. 労働供給(1)  労働供給行動、なぜ労働力人口は変化するか、ライフサイクルと留保賃金  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>3. 職探しの理論  求人情報、職探しの理論  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>4. 労働供給(2)  労働時間の選択、効用最大化問題、所得の変化と労働時間、労働供給曲線、引退と年齢  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>5. 短期の労働需要  人を雇う理由、短期の企業経営、独占企業の労働需要  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>6. 長期の労働需要  労働時間と企業への貢献度、労働時間の趨勢、労働時間短縮、労働時間と労働者数  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>7. 労働市場  労働市場の供給と需要、労働市場の効率性、買い手独占の労働市場  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>8. 補償賃金仮説  賃金格差の実態、仕事の内容や性質と補償賃金、仕事に対する需要と供給  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>9. 差別の経済学  男女間賃金格差、統計的差別、日本における女性活用  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>10. 賃金はどう支払われる  賃金の支払い形態、年功賃金、退職金  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>11. どうして大学へ進学するの？  大学進学の原因、経済学的視点から大学進学を考える、進学率の上昇  (事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> </ol>				

12. 人材開発

賃金プロフィールと教育訓練、誰が費用を負担するのか、正規労働者と非正規労働者の境界  
(事前学修: 前回配布資料を再度読む。事後学修: 配布資料を読み復習する。)

13. 失業

失業率の定義、性・年齢別失業率、失業の発生理由、自然失業率、雇用の創出と消失  
(事前学修: 前回配布資料を再度読む。事後学修: 配布資料を読み復習する。)

14. 労使関係

労使関係、労働組合の存在、労働組合組織率、労働組合の役割  
(事前学修: 前回配布資料を再度読む。事後学修: 配布資料を読み復習する。)

15. 労働市場と働き方の未来

労働供給の変化、労働需要の変化、市場の変化  
(事前学修: 前回配布資料を再度読む。事後学修: 配布資料を読み復習する。)

16. 定期試験

(予習・復習)

講義 1 回当たりの予習時間は 2 時間とし、教科書の当該箇所を読んでおく。復習時間はおおむね 2 時間とする。講義内容を復習し、理解を深める。

【テキスト】

(教材)

厚生労働省、総務省統計局、OECD などの政府・国際機関の Web ページから労働統計のデータや労働政策に関する情報をダウンロードして教材として使う。

(教科書)

基本講義 労働経済学 阿部正浩／著 新世社

【参考図書】

労働経済 清家篤／著 風神佐知子／著 東洋経済新報社

【成績評価の方法】

試験: 定期試験 (67%)

小テスト: 講義期間の中頃に中間試験を行う。(33%)

対面授業				04008
授業科目名:ミクロ経済学 B			担当教員氏名:熊代 和樹	
Microeconomics B				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          経済主体の行動に関わる理論およびその現実社会への応用について講義する。          経済学部経済学科に係る専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献することを授業目標とする。          受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミクロ経済学の基礎理論を理解し、説明できるようになる。</li> <li>2. ミクロ経済学のツールを使って、社会が直面する経済問題を分析し、対応策を考えることができる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>          ◎ この授業は原則として対面授業を実施する。ただし学校閉鎖時や未入国の学生がいる場合等、オンライン授業が必要となった場合には Zoom によるリアルタイム授業と Youtube による録画配信を併用する。          ◎ 資料の配布、課題提出、出欠確認等で WebClass を使用する。          ◎ 毎回レポート課題を課す。</p> <p>この授業では経済学の応用分野の基礎となるミクロ経済学の基本的な考え方や近年の発展について講義する。          ミクロ経済学とは、経済や社会に登場する個々の主体(消費者、企業など)の行動に焦点を当て、どのような意思決定が行われるのか、どのような意思決定を行うべきなのか、そして個々の行動が社会でどのような結果をもたらすのかを考えるための理論である。</p> <p>概ね各講義で教科書の1章分を扱う。ただし、進捗状況に応じてスケジュールを変更する可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済学の原理と実践、方法              事前学習:教科書の1章と2章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>2. 最適化              事前学習:教科書の3章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>3. 需要、供給と均衡              事前学習:教科書の4章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>4. 消費者とインセンティブ              事前学習:教科書の5章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>5. 生産者とインセンティブ              事前学習:教科書の6章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>6. 完全競争と見えざる手              事前学習:教科書の7章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>7. 外部性と公共財              事前学習:教科書の9章を熟読する              事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> </ol>				

## 8. 政府の役割

事前学習:教科書の10章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 9. 生産要素市場

事前学習:教科書の11章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 10. 独占

事前学習:教科書の12章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 11. ゲーム理論と戦略的行動

事前学習:教科書の13章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 12. 時間とリスクのトレードオフ

事前学習:教科書の15章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 13. 情報の経済学

事前学習:教科書の16章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 14. オークションと交渉

事前学習:教科書の17章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

## 15. 社会経済学

事前学習:教科書の18章を熟読する

事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く

(予習・復習)

復習に重点を置いて授業外学習をすることを推奨する。

予習(1時間):教科書の該当箇所を読む。

復習(3時間):配布資料や教科書、ノートを見直し、練習問題を解く。

(注意事項)

◎ スライドを使用して授業を行うが、必要に応じて板書を併用するのでノートやルーズリーフなどを持参すること。

◎ 経済学は積み重ねが重要な学問なので毎回授業に出席すること。やむを得ず欠席した場合は講義掲示板から資料を入手し、教科書を見ながら内容を確認しておくこと。

◎ 中間レポート・確認レポートについては実施後に解説する。

◎ 出席はWebClassを使用して確認するのでスマートフォンを持参すること。

### 【テキスト】

アセモグル/レイブソン/リスト ミクロ経済学 = Acemoglu Laibson List Microeconomics

Acemoglu,Daron,1967- Laibson,DavidI List,JohnA.,1968- ほか/著 東洋経済新報社

### 【参考図書】

・ミクロ経済学 芦谷政浩/著 有斐閣

・ミクロ経済学のカ 神取道宏/著 日本評論社

・[改訂版]経済学で出る数学 尾山大輔/著・編集 安田洋祐/著・編集 日本評論社

### 【成績評価の方法】

試験:期末試験(40%)

レポート:中間レポート20%(学期中1回) 確認レポート15%(15回)

中間レポート・確認レポートについては実施後に解説する。

受講態度:練習問題(25%)

WebClass上で練習問題集を配布し、日々の自己学習の取り組みを評価する。

対面授業				04009
授業科目名: 国際経済学 I			担当教員氏名: 山下 賢二	
International Economics 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  国際貿易の基礎理論を中心に展開する。貿易の発生理由、そのメリットを講義する。また、貿易理論のもつミクロ経済学の応用としての側面も講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.貿易の持つ経済的意味を理解できる</li> <li>2.基本的な貿易理論の基本的な部分を習得できる</li> <li>3.自由貿易、グローバル化のメリットを理解できる</li> <li>4.ミクロ経済学をより深く理解できる</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」  本講義は原則として対面方式で行う。  ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。  また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <p>01.国際経済学とは何か？(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.国際貿易の基本 貿易の発生理由と仕組み(chap.2)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(1)比較優位と絶対優位(chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(2)部分均衡分析(1)(chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(3)部分均衡分析(2)(chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(4)一般均衡分析(chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(1)リカード・モデルとの比較(chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(2)ヘクシャー・オリーの定理(chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(3)要素価格均等化定理(chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p>				

- 10.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーンモデル(4)レオンチェフの逆説(chap.5)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 11.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(1)自由貿易下の経済と関税のある経済との厚生比較(chap.6)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 12.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(2)関税・輸出税・輸入補助金・輸出補助金の効果(chap.6)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 13.新しい貿易理論(1)クルーグマン・モデル(新貿易理論)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 14.新しい貿易理論(2)メリッツ・モデル(新々貿易理論)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 15.まとめ 総復習  
 事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 16.定期試験

(予習・復習)

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出と出席に対する評価(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%)

※課題へのフィードバック回を設ける。

※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

【テキスト】

・毎回 WebClass から配信する課題

・クルーグマン国際経済学 理論と政策 [原書第10版]上:貿易編 山形浩生/翻訳 守岡桜/翻訳 丸善出版

【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次/著・編集 竹内信仁/著・編集 柳原光芳/著・編集 中央経済社

※経済学用語の説明が詳しい。

【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)

レポート:WebClass にて記述式で提出する。(30%)

受講態度:主に出席回数で判断する。(18%)

その他:質疑応答や講義への貢献度を見る。(2%)



対面授業				04010
授業科目名: 国際経済学Ⅱ			担当教員氏名: 山下 賢二	
International Economics 2				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  開放経済下でのマクロ経済について講義する。その中で、国際収支の概念、為替レートの決定理論、開放経済下での経済政策の効果を講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.開放経済下でのマクロ経済学(国際マクロ経済学)の基礎を理解できる</li> <li>2.新旧(BPM5 と BPM6)を理解できる</li> <li>3.為替レートの決定理論を理解できる</li> <li>4.開放経済下でのマクロ経済政策の効果を理解できる</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」  本講義は原則として対面方式で行う。  ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。  また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01. 国際マクロ経済学とは何か?(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>02. 国際収支統計表(1)国際収支表の概要、BPM5(旧版)の理解(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>03. 国際収支統計表(2)BPM6(新版)の理解、BPM5 と BPM6 の比較(chap.1 とプリント)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>04. 為替レートと国民所得(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>05. 為替レートの決定理論(1)為替レートとは何か、長期の為替レート決定理論(chap.2,4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>06. 為替レートの決定理論(2)短期の為替レート決定理論(1)アブソープションアプローチ(1)(chap.6)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>07. 為替レートの決定理論(3)短期の為替レート決定理論(2)アブソープションアプローチ(2)(chap.6)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> <li>08. 為替レートの決定理論(4)短期の為替レート決定理論(3)弾力性アプローチ(chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</li> </ol>				

09. 為替レートの決定理論(5)短期の為替レート決定理論(4)ポートフォリオ・バランスアプローチ (chap.5)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

10. 為替レートの決定理論(6)短期の為替レート決定理論(5)マンデル・フレミングアプローチ (chap.7)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

11. 国際マクロ経済政策(1)IS-LM-BP 分析(各曲線の導出(chap.7))

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

12. 国際マクロ経済政策(2)IS-LM-BP 分析(変動相場制での小国のケースの財政・金融政策) (chap.7)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

13. 国際マクロ経済政策(3)IS-LM-BP 分析(固定相場制での小国のケースの財政・金融政策) (chap.7)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

14. 国際マクロ経済政策(4)IS-LM-BP 分析(資本移動が不完全なときの財政・金融政策) (chap.7)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

15. 総復習

事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

16. 定期試験

(予習・復習)

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%)

※課題へのフィードバック回を設ける。

※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

【テキスト】

・毎回 WebClass から講義前に送付する講義資料

・国際経済学 = International Finance 岩本武和／著 ミネルヴァ書房

【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次／著・編集 竹内信仁／著・編集 柳原光芳／著・編集 中央経済社

※経済学用語の説明が詳しい。

【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)

レポート:WebClass にて記述式で提出する。(30%)

受講態度:主に出席回数で判断する。(18%)

その他:質疑応答や講義への貢献度を見る。(2%)

対面授業			04011	
授業科目名: マクロ経済学 B			担当教員氏名: 山下 賢二	
Macroeconomics B				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  マクロ経済ならびにマクロ経済理論の基本を講義する。  受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。  1.マクロ経済学の基本的な部分を習得できる  2.現実のマクロ経済を観察するにあたって、理論的な視点に立って思考できる  3.経済学のその他応用分野を学習するための基礎の確立できる</p> <p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」  本講義は原則として対面方式で行う。  ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。  また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <p>※入…入門編（テキスト）</p> <p>01.マクロ経済学とは何か？（入 chap.1）  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.マクロ経済学のデータ(1)GDP(1)全体像(入 chap.1、2)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.マクロ経済学のデータ(2)GDP(2)計算(入 chap.1、2)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.マクロ経済学のデータ(3)物価水準、失業率(入 chap.1、2)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.経済循環図(1)三面等価の法則(1)全体図・生産面(供給面)・支出面(需要面)(入 chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.経済循環図(2)三面等価の法則(2)分配面(入 chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.マクロ経済学の理論の概要 マクロ経済学における長期と短期(入 chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.長期の理論(1)財市場と労働市場(入 chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.長期の理論(2)金融市場(入 chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10.長期の理論(3)長期における政策の効果(1)財政政策(入 chap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p>				

- 11.長期の理論(4)長期における政策の効果(2)金融政策・古典派の二分法(入 chap.4)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 12.短期の理論(1)短期理論の概要・IS-LM 分析の概要(入 chap.7、8)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 13.短期の理論(2) IS-LM 分析、IS 曲線の導出、短期の財市場と労働市場(入 chap.7、8)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 14.短期の理論(3)IS-LM 分析、LM 曲線の導出、短期の金融市場(入 chap.7、8)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 15.短期の理論(4)IS-LM 分析(政策分析)(入 chap.9)  
 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  
 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと
- 16.定期試験

※「国際マクロ経済学」に関しては、「国際経済学Ⅱ」で取り扱う。

(予習・復習)

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%)

※課題へのフィードバック回を設ける。

※9回以下の出席しかない者は成績評価対象外

【テキスト】

・毎回 WebClass から講義前に送付する講義資料

・マンキュー マクロ経済学Ⅰ 入門篇(第4版) N・グレゴリー・マンキュー／著 足立英之／翻訳 地主敏樹／翻訳 中谷武／翻訳 柳川隆／翻訳 東洋経済新報社

電子版あり マンキューマクロ経済学<1> 第4版 入門篇(電子版/PDF)

【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次／著・編集 竹内信仁／著・編集 柳原光芳／著・編集 中央経済社

【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)

レポート:WebClass にて記述式で提出する。(30%)

受講態度:主に出席回数で判断する。(出席回数-9)×3点(18%)

その他:質疑応答や講義への貢献度を見る。(2%)

※9回以下の出席しかない者は成績評価対象外

対面授業			04012	
岡山経営者論 I			担当教員氏名:陳 惠貞	
Management in Okayama 1				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。</p> <p>経営理論と経営手法の習得</p> <p>(1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。  (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。  (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。  (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は、対面講義で行います。  講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。</p> <p>また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義(Zoom)になります。  講義の連絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。  なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。</p> <p>講義方式:講義内容をまとめて、レポートを作成して提出すること。  対面・オンライン授業とも、毎回レポート提出があります。</p> <p>1. 4月08日(月) 岡山商科大学 担当教員(西)  事前学修:シラバスを読む  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>2. 4月15日(月) 岡山トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 梶谷俊介 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>3. 4月22日(月) 岡山トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 梶谷俊介 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>4. 5月1日(水) サンラヴィアン 代表取締役社長 占部守弘 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>5. 5月13日(月) サンラヴィアン 代表取締役社長 占部守弘 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>6. 5月20日(月) 税理士法人パートナーズ 代表社員 川本 洋 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p>				

<p>7. 5月27日(月) 税理士法人パートナーズ 代表社員 川本 洋 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>8. 6月03日(月) (株)真庭運創研 代表取締役社長 小林一昭 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>9. 6月10日(月) (株)佐田建美 代表取締役社長 佐田時信 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>10. 6月17日(月) クラカグループ・倉敷青果(株) 取締役・カット野菜部部长        寺田幸司 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>11. 6月24日(月) 邦美丸 漁師 富永邦彦 様・富永美保 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>12. 7月01日(月) (株)アイリス 代表取締役社長 石川哲也 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>13. 7月08日(月) クラカグループ・倉敷青果(株) 取締役・カット野菜部部长        寺田幸司 様        事前学修:ホームページや会社概要を調べる        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>14. 7月16日(火) 岡山商科大学 担当教員(渡邊)        事前学修:配布資料を確認する        事後学修:講義内容を整理する</p> <p>15. 7月22日(月)岡山商科大学 担当教員(陳)        事前学修:配布資料を確認する        事後学修:講義内容を整理する</p>
<p>【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)</p>
<p>【参考図書】 適宜指示をする</p>
<p>【成績評価の方法】        毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。        提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。        なお、評価(方法)手段の評価(%)も含まれますので留意のこと。        提出したレポート・課題のフィードバックは講義やWebclassを通じて適宜行う。        ※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。</p>

対面授業			04013	
岡山経営者論Ⅱ			担当教員氏名:陳 恵貞	
Management in Okayama 2				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。  経営理論と経営手法の習得  (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。  (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。  (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。  (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は、対面講義で行います。  講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。</p> <p>また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義(Zoom)になります。  講義の連絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。  なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。</p> <p>講義方式:講義内容をまとめて、レポートを作成して提出すること。  対面・オンライン授業とも、毎回レポート提出があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9月24日(火) 岡山商科大学 担当教員(西)  事前学修:シラバスを読む  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>9月30日(月) 岡山商科大学 担当教員(渡邊)  事前学修:アクティブラーニングについて調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月07日(月)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月17日(木)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月21日(月)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月30日(水) 外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> </ol>				

7. 11月11日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
8. 11月18日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
9. 11月25日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
10. 12月02日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
11. 12月09日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
12. 12月16日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
13. 12月23日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
14. 1月06日(月)外部講師  
事前学修:ホームページや会社概要を調べる  
事後学修:講義内容を整理する
15. 1月14日(火)岡山商科大学 担当教員(陳)  
事前学修:配布資料を確認する  
事後学修:講義内容を整理する

【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)

【参考図書】 適宜指示をする

【成績評価の方法】

毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。  
提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。  
なお、評価(方法)手段の評価(%)も含まれますので留意のこと。  
提出したレポート・課題のフィードバックは講義やWebclassを通じて適宜行う。  
※毎回、講義の始めに各自のスマートホンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。



対面授業				04014
授業科目名:簿記論 I			担当教員氏名:陶 静	
Bookkeeping 1				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は複式簿記の基礎知識を教え、その上必要な実技(会計仕訳)を習得してもらう。さらに商業簿記の基本問題を解けるように、反復練習をする。  受講生が授業修了までに次のようなことができることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複式簿記の基礎的な知識を身につけること。</li> <li>2. 商業簿記の基礎問題を解けるようになること。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は基本教室にて対面講義を行う。対面の際、毎回課題提出(レポート或いは練習問題)があります。  新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、やむをえず学校閉鎖になった場合はオンライン講義になる。  オンライン講義になる場合は講義日前日までに大学の WebClass を通して講義資料を配布し、当日 ZOOM を使って講義を行う予定である。</p> <p>第1回 インTRODクシヨン(講義の進め方)、  事前学修:日商簿記初級について調べる  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第2回 簿記の基礎(第1章)  事前学修:第1章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第3回 商品売買(第2章)  事前学修:第2章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第4回 現金・預金(第3章)  事前学修:第3章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第5回 手形と電子記録債権(債務)(第4章)  事前学修:第4章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第6回 貸付金・借入金(第5章)  事前学修:第5章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第7回 中間評価テストおよび解答解説(第1から5章まで)  事前学修:第1から5章までの内容を再確認  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第8回 その他の取引(第6章)  事前学修:第6章前半の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第9回 固定資産(第7章)  事前学修:第6章後半の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第10回 租税公課と消費税・資本金(第8章)  事前学修:第7章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p>				

- 第 11 回 帳簿への記入(第9章)  
 事前学修:第8章の内容を読み込み  
 事後学修:テキストと配付資料を再確認
- 第 12 回 試算表(第 10 章)  
 事前学修:第9章の内容を読み込み  
 事後学修:テキストと配付資料を再確認
- 第 13 回 伝票と仕訳日計表(第 11 章)  
 事前学修:第 10 章の内容を読み込み  
 事後学修:テキストと配付資料を再確認
- 第 14 回 期末評価テストおよび解答解説  
 事前学修:第1から 11 章まで内容を復習する  
 事後学修:テスト内容の再確認
- 第 15 回 総復習および総まとめ(第1から 11 章まで)  
 事前学修:第1から 11 章までの内容を再確認する  
 事後学修:テスト模範回答再確認

進展状況により, 授業計画を変更する可能性がある。

(予習・復習)

予習(1.5 時間程度)テキストの該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。  
 復習(2.5 時間程度)講義の内容をもう一度整理し、自分の理解度と課題を整理すること。

(注意事項)

この講義は「日商簿記検定」の対策講義ではない。  
 出席点は付けない。ただし、講義中に積極的に発言、討論に参加する受講生には加点を行う。  
 反対に講義中に私語、携帯遊ぶ、居眠りなど講義に妨げる行為をする受講生には減点を行う。  
 講義中で行った小テスト、中間評価テスト、期末評価テストなどの解説についてはその場です  
 る。講義後に模範解答を web-class に掲載する。

【テキスト】

スッキリわかる日商簿記初級 TAC 株式会社出版事業部

【参考図書】

【成績評価の方法】

試験:期末評価テスト(第 14 回)(60%)  
 小テスト:中間評価テスト(第 7 回)(40%)

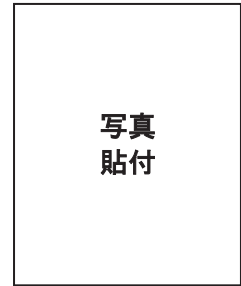
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山商科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年			
		男・女		昭和・平成 年 月 日			
現住所	〒			—		Tel ( ) —	

\* 履修受付締切日：前期：3月29日(金)まで 後期：9月11日(水)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2~4	定員 20名	木 13:10~14:40		
04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2~4	定員 20名	木 13:10~14:40		
04003	民法概説	専門	倉持 弘	2	前期	1~4	定員 20名	月 9:00~10:30		
04004	民法総則	専門	倉持 弘	2	後期	2~4	定員 20名	金 15:00~16:30		
04005	刑事政策	専門	白井 諭	2	前期	2~4	定員 20名	月 13:10~14:40		
04006	現代刑事法	専門	白井 諭	2	後期	2~4	定員 20名	火 15:00~16:30		
04007	労働経済学	専門	三谷 直紀	2	後期	2~4	定員 15名	火 13:10~14:40		
04008	ミクロ経済学B	専門	熊代 和樹	2	後期	2~4	定員 15名	水 10:50~12:20		
04009	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2~4	定員 15名	木 9:00~10:30		
04010	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2~4	定員 15名	木 9:00~10:30		
04011	マクロ経済学B	専門	山下 賢二	2	後期	2~4	定員 15名	火 9:00~10:30		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜 日・時 限	履 修 希 望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
04012	岡山経営者論Ⅰ	専 門	陳 惠 貞	2	前期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30		
04013	岡山経営者論Ⅱ	専 門	陳 惠 貞	2	後期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30		
04014	簿記論Ⅰ	専 門	陶 静	2	後期	1～4	定員 15 名	金 10:50～12:20		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## (5)岡山理科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	春学期	2024年4月10日	～	2024年7月30日
	秋学期	2024年9月19日	～	2025年1月24日
試験期間※	春学期	2024年7月31日～8月2日・8月5日～6日		
	秋学期	2025年1月22日～23日・27日～28日・2月3日		
授業時間	1時限	9:10	～	10:40
	2時限	10:55	～	12:25
	3時限	13:15	～	14:45
	4時限	15:00	～	16:30
	5時限	16:45	～	18:15

※試験予備日【春学期】2024年8月7日・8日

【秋学期】2025年1月29日・2月4日

## 岡山理科大学へのアクセス・周辺マップ

交通手段	出発場所	路線	下車場所	所要時間
岡電バス	JR岡山駅西口 (22番乗り場)	岡山理科大学行	岡山理科大学 バス停	バス20分、 徒歩0分、片道210円
岡電バス	JR岡山駅東口 (13番乗り場)	理大東門行	岡山理科大学東門 バス停	バス30分、 徒歩0分、片道210円
JR	JR岡山駅	JR津山線	JR法界院駅	JR4分、徒歩25分
タクシー	JR岡山駅西口		岡山理科大学	タクシー15分、徒歩0分

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教学支援部 教務課	
所在地:	岡山市北区理大町 1-1
電話:	086-256-8447

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

・春学期受付:2024年3月27日(水)～4月3日(水)  
※エコツーリズム技法の受付期間については3月27日(水)～4月5日(金)17時となっています。(エコツーリズム技法申込時にコース選択の面談と申込・承諾書の記入が必要です。履修届は参加申込が受理された後に提出してください。)  
  
・秋学期受付:2024年9月11日(水)～9月19日(木)

・履修手続

以下の印刷物を配付します。  
① OUS-ID(時間割等お知らせ用ポータルサイトログインID)  
② 学生証

・施設利用

岡山理科大学在学の学生と同じ扱いとします。

・特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mylog.pub.ous.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006>

・対面授業科目

対面授業				05001	
データの数理Ⅱ			大江 貴司		
Mathematics of Data Processing II					
履修年次:3~4年次	2単位	秋	1コマ		
<b>【授業の目的】</b> 現代の情報システムで重要な要素を占めるビッグデータ解析や機械学習など人工知能技術開発に用いられる代表的な統計的手法である多変量解析について講義する。特にデータ解析の代表的手法である回帰分析、主成分分析、クラスタ分析等について説明する。また、それらをコンピュータ上で実行するための情報システムについても言及する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 多変量解析が利用される様々な場面について説明する。		9. 重回帰分析における寄与率および重相関係数について説明する。			
2. 統計的推定および検定について、復習する。		10. 主成分分析におけるアイデアと第1主成分の導出について説明する。			
3. 単回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。		11. 主成分分析について、第2以下の主成分の導出と寄与率・因子負荷量について説明する。			
4. 単回帰分析における正規方程式の解の構成について説明する。		12. 因子分析について説明する。			
5. 単回帰分析における不偏性定理について説明する。		13. クラスタ分析の基本的アイデアと、集合間の距離の取り方について説明する。			
6. 単回帰分析における寄与率および回帰の仮説検定について説明する。		14. クラスタ分析のアルゴリズムについて説明する。			
7. 重回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。		15. 判別分析について説明する。			
8. 重回帰分析における正規方程式の解の構成と不偏性定理について説明する。		16. 期末試験を行う。			
<b>【テキスト】</b> 多変量解析入門／永田靖・棟近雅彦／サイエンス社／ISBN4-7819-0980-9					
<b>【参考図書】</b> Rで学ぶ確率統計学(多変量統計編)/神永正博・木下勉/内田老鶴園/ISBN978-4-7536-0124-0					
<b>【成績評価の方法】</b> ・講義中に行う練習問題:評価割合 50%(達成目標1~4) ・期末試験:評価割合 50%(達成目標1~4) により評価し、総計で60%以上を合格とする。					



対面授業			05002		
鉱物科学			新原 隆史		
Mineral Science					
履修年次:2~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 地球などの太陽系固体天体を構成する物質の基本単位である鉱物を理解することは、太陽系について知る上で最も基礎的なことである。そこで、まず鉱物の物理的性質・化学的性質・産状・成因など鉱物学の基礎を習得する。そして、身近な鉱物の例をあげ、鉱物生成のメカニズムの解明がどのような手法で行われるか理解する。隕石に含まれる鉱物の特徴とその形成環境について理解する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. イントロダクション。講義の進め方について説明する。続いて、身近な鉱物を例に私たちの生活と鉱物との繋がりについて理解する。		9. 隕石の種類と分類について理解する。			
2. 鉱物の定義について説明する。		10. コンドライト隕石の成因と種類を理解する。			
3. 鉱物の定義について説明する。続いて私たちの繋がりをより理解するために、どんな分野と関係しているかについて説明する。		11. 分化天体起源隕石(月・HED 隕石など)の成因と種類を理解する。			
4. 鉱物の結晶化学的性質、特に結晶系、晶族について理解する。		12. 分化天体起源隕石(火星隕石など)の成因と種類を理解する。			
5. 鉱物の結晶化学的性質、ケイ酸塩鉱物の構造について理解する。		13. 惑星探査で持ち帰られた試料の特徴と隕石との関係を理解する。			
6. 鉱物の結晶化学的性質、特に固溶体について理解する。		14. 鉱物の風化変質について理解する。鉱物資源について理解する。			
7. 鉱物の結晶化学的性質、特に面指数、単位包について理解する。X線回折法とこれによって何がわかるかを理解する。		15. 9回以降に解説した内容の理解度を確認するため小テストを行う。			
8. 1~7回目までの内容について理解度を確認するための小テストを行う。					
<b>【テキスト】</b> 鉱物の科学/赤井純治ほか/東海大学出版部/ISBN978-4-486-01303-7					
<b>【参考図書】</b> ニューステージ地学図表/浜島書店/ISBN978-4-8343-4015-0					
<b>【成績評価の方法】</b> 授業中に実施する2回の小テスト(40%)、各授業の際に提出する感想および質問(20%)、レポート(40%)により成績を評価する(達成目標の1~5を確認する)。レポート・課題はすべて提出すること。総計で60%以上を合格とする。					

対面授業		05003		
量子力学の基礎		金子 敏明		
Elementary Quantum Mechanics				
履修年次:2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 量子力学は現代物理学をミクロな立場から理解するために不可欠な方法論を提供した。この講義では、古典力学から量子力学への橋渡しをするために、種々の事例を紹介して、確率波としての波動力学である量子力学に触れることを目的とする。量子力学の基礎を解説するために、主として、空間的には一次元の波動を用いる。				
<b>【授業内容】</b>				
1. まず、なぜ量子力学が必要になった背景について説明する。粒子性と波動性の特徴と相違点、波動の基本的性質を解説し、簡単な演習をする。	9. 関数内積、固有方程式の例、エネルギー固有値と固有関数の直交性について解説して、簡単な演習を行う。			
2. 光の波動性(屈折と反射の法則)、ヤングの干渉実験やX線回折など光の波動性をやさしく解説し、若干の演習をする。	10. シュレーディンガー方程式(1次元)の導出について説明して、簡単な演習を行う。			
3. 光の粒子性(光電効果、コンプトン効果)について解説した後、簡単な演習をする。	11. シュレーディンガーの波動方程式を解いて、無限に深いポテンシャル井戸の中にある粒子のエネルギーが離散的になることを解説した後、簡単な演習をする。			
4. 粒子の波動性(ド・ブロイの物質波)について解説した後、簡単な演習をする。	12. シュレーディンガー方程式(1次元)における波動関数の確率解釈と確率保存、連続の方程式について解説した後、簡単な演習をする。			
5. ボーアの素原子模型と量子条件、光の発生について解説した後、簡単な演習をする。	13. 演算子の平均値(期待値)とエーレンフェストの定理を説明する。そのあと、簡単な演習をする。			
6. 分散関係と偏微分を用いて波動方程式を導出し、それに関する解説をしたのちに簡単な演習をする。	14. ポテンシャルの壁による "波動関数の染み出し" について説明し、簡単な演習を行う。			
7. これまでに学習した内容に関するまとめのテスト(中間テスト)を行い、重要ポイントを解説する。	15. ポテンシャルの壁による波の反射確率と透過確率について解説した後、簡単な演習をする。			
8. この講義回以降は、量子力学の体系について解説する。まず、量子力学で現れる演算子(運動量演算子、エネルギー演算子)と固有値、固有関数について解説した後、簡単な演習をする。	16. 今までの学習内容全般に関する期末試験を行い、重要ポイントを解説する。			
<b>【テキスト】</b> 運動量保存と"非保存"/金子敏明 著/共立出版/ISBN:978-4-320-03363-4 の項目と講義ノートを活用して講義する。				
<b>【参考図書】</b> 阿部龍蔵著「はじめて学ぶ量子力学」(サイエンス社)				
<b>【成績評価の方法】</b> 講義中での演習とレポートが約30%、2回のテスト(中間、期末)で約70%の割合で評価する。中間テストでは達成目標 1~2 を、期末試験では達成目標 1~5 を評価対象とする。追加レポートを課す場合がある。最終的な成績評価で総計60点以上を合格とする。				

対面授業				05004	
安全化学			岩永 哲夫		
Chemical Safety					
履修年次:3~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 本講義では、「危険物取扱者」や「毒物・劇物取扱責任者」の資格試験に出題される法令や各種危険物の取り扱い方法などを中心に取り扱い、資格取得を目指す。また研究室において専門的な実験を安全に行うために、化学物質の取り扱い方や実験操作の基本を理解する。化学物質に関連したいくつかの法律を理解し、環境との関わりを社会的な面から考えていく。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 講義および危険物取扱者などの資格の概要を理解する。化学実験の安全の総論、研究の進め方、研究倫理について学習し、理解する。		9. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」に係る模擬試験に解答し、その解説を理解する。			
2. 危険な化学物質 毒物劇物(1):毒物・劇物に関する法令および各物質の性質について学習し、理解する。		10. 危険な化学物質 環境汚染物質等(1) 発がん性物質、環境基本法、水質・大気汚染について学習し、理解する。			
3. 危険な化学物質 毒物劇物(2):薬物類の法規制と性質および応急処置について学習し、理解する。		11. 危険な化学物質 環境汚染物質等(2) オゾン層破壊物質、化審法、労安法について学習し、理解する。			
4. 危険な化学物質 法令:危険物に関する法令、危険物の分類、資格について学習し、理解する。		12. 危険な化学物質 環境汚染物質等(3) PRTR 法、MSDS、ダイオキシン類、地球温暖化について学習し、理解する。			
5. 危険な化学物質 危険物(1) 危険物各類(第1, 3, 5, 6類)の性質について学習し、理解する。		13. 実験装置と実験操作(1) ガラス器具の扱い方、真空、脱水・乾燥、加熱、蒸留などの操作について学習し、理解する。			
6. 危険な化学物質 危険物(2) 危険物各類(第2, 4類)の性質について学習し、理解する。		14. 実験装置と実験操作(2) 冷却、かくはん、再結晶などの操作、不安定化合物の取り扱いについて学習し、理解する。また事故の実例と対策について理解する。			
7. 危険な化学物質 危険物(3) 危険性に関する表示、燃焼と消火の理論、高圧ガスおよび緊急対処法について学習し、理解する。		15. 危険物取扱者試験に係る総合演習に解答し、その解説を理解する。講義内容の総括を行う。			
8. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」の法令に係る演習問題を行い、その解説を理解する。					
<b>【テキスト】</b> 学生のための化学実験安全ガイド／徂徠 道夫他著／東京化学同人／978-4-807905716					
<b>【参考図書】</b> ・基礎化学実験安全オリエンテーション／山口 和也・山本 仁著／東京化学同人 ・失敗から安全を学ぶ化学実験の心得／西脇 永敏著／化学同人 その他は講義において指示する					
<b>【成績評価の方法】</b> 毎回実施する演習への取り組み 70%(達成目標 1~4 を評価)と課題レポート 30%(達成目標 3,4 を評価)から評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。					

対面授業				05005	
微生物学			水野 信哉		
Microbiology					
履修年次:2~4 年次		2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 微生物学領域での基盤知識を得るとともに、微生物と宿主の相互関係を理解する。とりわけ、近年全世界的に問題となっている動物由来感染症では、生態系を取り巻く環境レベルで感染様式と感染経路を包括的に理解する。さらに微生物側から見た増幅戦略を分子生物学的に理解し、分子標的に基づく近代化学療法の合理性を理解する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. イントロダクションと微生物の分類について全体スケジュールや教育方針(学習目標達成に向けてのプロセス)を説明する。シラバス登録と講義の順番や内容に変更がある場合は事前説明を行う。ついで、微生物の分類と定義、我が国における感染症の発生状況を年代別に概説する。		9. 消毒と滅菌/消毒と滅菌の原理を概説し、具体的な手法とその用途、長短所を解説する。			
2. 細菌学1(総論)/地球誕生後の細菌、古細菌進化の重要性を概説する。細菌の構造、形態、発育について概説する。微生物の有効利用について発酵や遺伝子組み換え技術を解説する。		10. ワクチン/免疫学に基づくワクチンの原理を解説するとともに、ポリオや天然痘の制圧におけるワクチンの貢献を解説する。その上で我国におけるワクチンの現状(問題点)と今後の展望についても解説を加える。			
3. 細菌学2(各論)/食中毒の原因菌(カンピロバクター、サルモネラ、病原性大腸菌 O157 など)や胃がんの原因菌(ピロリ)の特徴や感染様式を概説し、その予防法を解説する。		11. 化学療法 1/抗生物質発見の歴史と細菌性感染症制圧における抗生剤の重要性を解説する。			
4. ウイルス学1(総論)/ウイルスの分類のもとに構造や増幅様式を概説するとともに、ウイルス発見の歴史を振り返る(タバコモザイクウイルス、黄熱病ウイルス、細胞変性効果による間接的可視化など)。		12. 化学療法 2/インフルエンザやC型肝炎を中心に抗ウイルス薬の開発状況と今後の展望を解説する。抗真菌剤、抗原虫剤、抗寄生虫剤についても病原体分子標的に基づく作用起点を解説する。			
5. ウイルス学2(各論)/巨大ウイルス(ミミウイルス等)、バクテリオファージ、ポリオウイルス、ノロウイルスの特徴とウイルス感染の様式や経路を解説する。		13.動物由来感染症1/重度熱性血小板減少症候群(SFTS)をもたらすブニヤウイルスとその感染様式について解説する。野生動物の感染状況や媒介するダニの種類についても解説を加える。			
6. 原虫/病原性原虫(アメーバ、トリコモナス、トリパノソーマなど)の感染様式や生活環を解説する。次いで、マラリアの現状と今後の展望を解説する。		14. 動物由来感染症2/鳥や豚をはじめとする動物由来インフルエンザの感染様式と問題点(異種間遺伝子組み換えなど)を解説する。			
7. 真菌/真菌の分類法と特性について解説する。アスペルギルス症、アフラトキシン中毒(発がん性)、カンジダ症、クリプトコッカス症の原因や感染経路なども解説を加える。		15. 動物由来感染症3(30分)/コウモリやハクビシンが持ち込む重症呼吸器症候群(SARS)、ラクダから伝搬される中東呼吸器症候群(MERS)についてウイルスの特徴や感染様式を解説する。 理解度確認テスト(後半) 後半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。			
8. リケッチア、クラミジア(30分)/リケッチアやマイコプラズマ、クラミジアなどの細胞内寄生病原体を持つ生物学的性状を解説する。日本紅斑熱やツツガムシ病、Q熱、オウム病の特徴とその感染様式を解説する。 理解度確認テスト(前半) 前半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。					
<b>【テキスト】</b> 教科書は特に指定しない。参考書はその都度紹介する。参考書をまとめたパワーポイント資料は毎回プリントとして配布する。					
<b>【参考図書】</b> 参考書はその都度紹介する。参考書をまとめたパワーポイントスライド資料は毎回プリントとして配布する予定である。					
<b>【成績評価の方法】</b> おおむね3、4回に1回の割合で小テストを行う(具体的な運用はその都度指示する)。成績評価は小テスト獲得点(30%)、2回の理解度確認テスト(70%)による総合評価によって行う予定である。このほか、必要に応じて再試験、課題レポート提出を求める場合がある。以上を通じて、到達目標(1)、(2)、(3)のすべての項目について、目標到達度を評価する。なお、総合得点が100点満点中60点以上を合格とする。					

対面授業				05006	
再生医療移植学			片岡健		
Regenerataive Medicine					
履修年次: 2~4 年次	1 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b>					
臨床検査の知識を先端医療に生かすプロセスについて、再生医療と移植医療を通じて理解する。さらに再生医療や移植医療の現状と問題点について理解し、これからの発展についてこれまで学修を生かしてディスカッションする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. オリエンテーション、血液検査学の復習。再生医療と移植医療の違いを理解する					
2. 移植免疫について理解する。					
3. 輸血とその検査について理解する。					
4. 造血幹細胞移植とその検査について理解する。					
5. 移植医療の現状・脳死について理解する。					
6. 各種幹細胞とその培養について理解する。					
7. 再生医療の現状について理解する。					
8. 期末試験を行い、引き続き、試験問題の解答と解説を行う。					
<b>【テキスト】</b>					
資料をプリントにより配布する。					
<b>【参考図書】</b>					
最新臨床検査学講座 免疫検査学／第2版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22400-7					
最新臨床検査学講座 血液検査学／第2版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22381-9					
病気がみえる vol.5 血液／第3版／メディックメディア／ISBN978-4-89632-922-3					
<b>【成績評価の方法】</b>					
小テスト評価: 60% (達成目標 1 から 3 を確認)					
期末試験: 40% (達成目標 1 から 3 を確認)					
以上により成績を評価し、総計で得点 60%以上を合格とする。					

対面授業		05007		
分子遺伝学 I		池田 正五		
Molecular Genetics I				
履修年次:2~4 年次	2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
<p>遺伝現象とそれを司る物質を分子のレベルで理解するために、分子遺伝学の基礎を身につける。分子遺伝学の知識だけではなく、どのような実験を通じてそれらの現象が解明されて来たのかを理解する。さらに、現在どのような研究が最先端のレベルでおこなわれているのかを修得する。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1. 授業のオリエンテーションとして、授業の進め方、授業の内容、成績評価の方針について説明する。続いて、遺伝学と分子生物学の起源について学習し、分子遺伝学 I で何を学ぶのか理解する。	9. RNA 分子の中で、mRNA の構造や分子遺伝学的役割について理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
2. 遺伝子の本体が DNA であることを証明した実験の方法とその原理を理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	10. DNA の遺伝暗号とはどのようなものか、またその特徴について理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
3. DNA の構造のうち、ヌクレオチドの化学的な構造や特徴について理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	11. 翻訳過程における tRNA の役割について理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
4. DNA の構造のうち、二重らせん構造について理解する。この構造がどのような研究をもとに組み立てられたのかについても理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	12. 翻訳過程の全体像を分子レベルで理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
5. 遺伝子の本体である DNA 分子上に生物学的情報がどのように刻まれているのか、理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	13. いろいろな遺伝子発現の調節例を紹介するので、遺伝子発現が生命活動にいかに重要であるか、理解する。さらに、細菌における遺伝子発現の調節機構として、リプレッサーによる調節を分子のレベルで理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
6. DNA の転写の仕組みにおける酵素や DNA の塩基配列上の特徴などについて分子レベルで理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	14. 細菌の遺伝子発現調節機構として、カタボライト抑制やアテニュエーションを理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
7. 真核生物の転写の過程について理解する。さらに、RNA 分子の中で、rRNA の役割の概要を理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	15. 真核生物における遺伝子発現調節の分子機構を理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。			
8. rRNA と tRNA の構造や分子遺伝学的役割について理解する。講義の最後に演習問題を解き、今回の内容を確認する。	16. 期末試験を実施する。テスト終了後、解答例を示して問題の解説を行い、本講義の総括を行う。			
<b>【テキスト】</b>				
分子遺伝学(第3版) / T.A. Brown 著 西郷薫監訳 / 東京化学同人 / 978-4-807905015				
<b>【参考図書】</b>				
エッセンシャル 遺伝子 / B. Lewin 著 菊池ら訳 / 東京化学同人:ウィーバー 分子生物学(第4版) / Weaver 著 杉山ら訳 / 化学同人				
<b>【成績評価の方法】</b>				
<p>期末試験の成績65%(達成目標1~3を確認)、講義中の演習の成績20%(達成目標1~3を確認)および宿題の課題15%(達成目標1~4を確認)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。</p>				

対面授業				05008	
機械製図Ⅱ			田中 雅次		
Drawing in Mechanical Engineering II					
履修年次: 1~4年次	2単位	秋	2コマ		
<b>【授業の目的】</b> (1)2次元 CAD で、多様な製図ができることを目的とする。 (2)3次元 CAD で、多様なモデリングができることを目的とする。 (3)グループに分かれて、モデルの創作と発表会を行い、設計における創造性を養うことを目的とする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. CAD の概要と 2DCAD の基本操作について説明する。		9. 3DCAD の応用操作(図形の完全定義とスケッチ履歴の利用)について説明する。			
2. 2DCAD の基本操作と課題図面を製図する。		10. 3DCAD の応用操作(参照平面)について説明する。			
3. 2DCAD の課題図面を製図する。		11. 3DCAD の応用操作(アニメーション)について説明する。			
4. 2DCAD の課題図面を製図する。		12. 1. 3DCAD の応用操作(ラップその他)について説明する。 2. 自由課題である3次元モデル創作のためのグループ分けを行う。 3. 各グループで課題の検討を行う。			
5. 2DCAD の課題図面を製図する。		13. 各グループに分かれてモデルの創作を行う。			
6. 3DCAD の基本操作(平行押出し)について説明する。		14. 各グループに分かれてモデルの創作を行う。			
7. 3DCAD の基本操作(回転押出し)について説明する。		15. 創作モデルの発表会を行う。			
8. 3DCAD の基本操作(スイープとシェル)について説明する。					
<b>【テキスト】</b> 3次元 CAD「SolidWorks」練習帳／(株)アドライズ編／日刊工業新聞社／978-4526063091					
<b>【参考図書】</b> 必要に応じて適宜紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 各講義での課題評価(得点配分 90%)[達成目標 1,2を評価]、発表会での評価課題の評価(得点配分 10%)[達成目標3を評価]、総計で 60%以上を合格とする。					

対面授業				05009	
センサ工学			河村 実生		
Sensor Engineering					
履修年次: 3~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b>					
センサは機械の感覚器官を担うもので、自動車、ロボット、家電製品などに多種多様なセンサが使われており、その重要度はますます高まっています。本講義ではセンサ技術の全体像を把握し各種センサの構造および計測原理を学び、これらのセンサの特質を踏まえながら実際にどのように利用されているか、具体例を探りながら、センサに関する知識を習得します。					
<b>【授業内容】</b>					
1. センサとは何か、SI 単位、センサの信号検出回路について説明する。		9. 機械量センサ(変位・加速度・真空計)について説明する。			
2. 光センサ(光導電効果形)について説明する。		10. 磁気センサ(常伝導形)について説明する。			
3. 光センサ(光起電力形)について説明する。		11. 磁気センサ(超伝導形)について説明する。			
4. 温度センサ(電気抵抗形)について説明する。		12. 超音波センサについて説明する。			
5. 温度センサ(ゼーベック効果形)について説明する。		13. 流速・流量センサについて説明する。			
6. 化学センサ(ガス・湿度)について説明する。		14. センシング技術(MRI)について説明する。			
7. 化学センサ(イオン・バイオ)について説明する。		15. センシング技術(センシング技術)について説明する。			
8. 機械量センサ(圧力・ひずみ)について説明する。		16. 1 回~15 回までの総括を説明し、期末試験を実施する。			
<b>【テキスト】</b>					
センサの原理と応用 / 塩山忠義著 / 森北出版 / 978-4-627-79081-0					
<b>【参考図書】</b>					
センサ工学 / 森泉豊栄, 中本高道 / 昭晃堂 / 4-7856-0107-8					
<b>【成績評価の方法】</b>					
期末試験 70%(達成目標 1)と 3)を評価)、レポート課題 30%(達成目標 2)を評価)により成績を評価する。					



対面授業				05010	
画像処理とCG			島田 英之		
Image Processing and Computer Graphics					
履修年次: 2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> コンピュータ応用分野である画像処理とCGに関する専門知識を学ぶことによって、それらを現実の問題に対して応用するための知識と技能を修得する。受講者は、前半では画像を処理するための知識と技能、後半ではCGを生成するための知識と技能を修得する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 画像処理の目的、CGの目的、画像処理とCGの融合について理解する。			9. 第8回までの内容に関する中間試験を実施し、解説を行う。		
2. 画像処理について、濃淡画像処理(1):画像処理の歴史、人間の視覚、色彩の表現、画像のデジタル表現、画素ごとの濃淡情報の変換について理解する。			10. 2次元画像生成:デジタル線分の発生法、デジタル円弧の発生法、自由曲線について理解する。		
3. 濃淡画像処理(2):平滑化処理、鮮鋭化処理について理解する。			11. モデリング:右手系と左手系、立体の表現法、ソリッドモデルの表現法、自然物の表現法について理解する。		
4. 濃淡画像処理(3):幾何学的変換処理について理解する。			12. 3次元座標変換:3次元アフィン変換、座標系、透視変換について理解する。		
5. 濃淡画像処理(4):エッジ検出処理、テンプレート・マッチング処理(1)について理解する。			13. レンダリング(1):隠面消去について理解する。		
6. 濃淡画像処理(5):テンプレート・マッチング処理(2)について理解する。			14. レンダリング(2):シェーディング、シャドウイング、マッピング、グラフィックス用の各種API、CG制作のためのソフトウェア、3D映像の原理、画像処理とCGの未来について理解する。		
7. 2値画像処理:2値化処理、基本処理、画像の形状解析について理解する。			15. 期末試験および授業内容の総括を行う。		
8. データ圧縮、線図形処理、画像の保存方式、画像処理のためのソフトウェアについて理解する。					
<b>【テキスト】</b> 書店販売しない。初回の講義にて講義ノートを配付する。					
<b>【参考図書】</b> なし					
<b>【成績評価の方法】</b> 中間試験 40%(達成目標(1)を評価)、期末試験 40%(主に達成目標(2)を評価)、演習レポート 10%(達成目標(1)(2)を評価)、プログラミング課題 10%(達成目標(1)(2)を評価)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。					

対面授業				05011	
ナノサイエンス			竹崎 誠		
Nanoscience					
履修年次: 3~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b>					
ナノメートルスケールの超微粒子は、肉眼や一般の光学顕微鏡で見えるサイズの物質とは異なるユニークな性質を示す。有機物、無機物、無機・有機複合体から成るナノ粒子/ナノ組織体について、原子や単独分子にない新しい機能が発現されることを理解し、近年発展の著しいこの分野の内容について理解することを目的とする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 全体の授業内容を説明した後、両親媒性物質(界面活性剤)の化学構造による分類と性質について学ぶ。		9. 金属ナノ粒子の配列による性質の変化とセンサーへの応用について学ぶ。			
2. ミセル、ベシクル、平面二分子層等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。		10. 金属ナノ粒子のバイオ分野への応用について学ぶ。			
3. 逆ミセル、マイクロエマルション等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。		11. フラーレンの発見前後の状況について学ぶ。			
4. 自己組織化単分子膜について学ぶ。		12. フラーレンの性質について学ぶ。			
5. 周期表 12-16 族の性質を復習し、半導体の性質について学ぶ。		13. カーボンナノチューブの発見前後の状況について学ぶ。			
6. 半導体ナノ粒子の性質について学ぶ。		14. カーボンナノチューブの性質について学ぶ。			
7. 金属ナノ粒子の合成法について学ぶ。		15. ナノプロービングについて学ぶ。			
8. 金属ナノ粒子のサイズ・形と光学的性質について学ぶ。		16. 期末試験を実施する。			
<b>【テキスト】</b>					
プリントを配布する。					
<b>【参考図書】</b>					
コロイド科学Ⅱ 会合コロイドと薄膜/日本化学会編/東京化学同人/ISBN 9784807904365 ;化学の要点シリーズ7 ナノ粒子/春田著/共立出版/ISBN 9784320044128 ;ナノテクノロジー入門シリーズ ナノテクのための化学・材料入門/日本表面科学会編/共立出版/ISBN 9784320071711 ;分子間力と表面力/J.N.Israelachvili 著,近藤・大島訳/マグロウヒル/ISBN 9784254140514 ;ナノ粒子科学/G.Schmio 編、岩村・廣瀬訳/NTS/ISBN 9784860431754 ;化学マスター講座 ナノテクノロジー/今堀ら著/丸善/ISBN 9784621082607 ;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第2巻ナノ粒子/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950269;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第3巻ナノコロイド/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950276; ナノカーボンの科学/篠原久典/講談社ブルーバックス/ISBN 9784062575669;基本分析化学-イオン平衡から機器分析法まで-/北條正司・一色健司 編著 / 三共出版 / ISBN 978-4-7827-0787-6;無機化学 その現代的アプローチ 第2版 / 平尾一之・田中勝久・中平敦 著 / 東京化学同人 / ISBN 978-4-8079-0824-0					
<b>【成績評価の方法】</b>					
毎回レポート30%(到達目標1)~5)を確認)、期末試験70%(到達目標1)~5)を確認)により成績を評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。					

対面授業		05012		
エコロジカルデザイン		増田 俊哉 他		
Ecological Design				
履修年次: 3~4年次	2単位	秋	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化及び都市や地域の環境破壊を防止する環境共生のまちづくり、建築、家づくりの方法論、省エネルギー、資源循環、ヒートアイランド対策など地球環境や都市環境保全に関する社会的、技術的課題について理解し、ストックの活用再生修復の視点から、団地再生、スケルトンインフィル、さらには文化財保護を軸としたまちづくりや歴史地区の保存再生計画等について身につける。				
<b>【授業内容】</b>				
1. ガイダンスおよび ECO デザインの概要: 持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化や都市や地域の環境破壊を防止する環境共生建築、環境共生都市の必要性を解説する。【増田 俊哉-1】		9. エコロジカル建築の実例を通じた計画手法・要件を解説する。【馬淵 大宇】		
2. ECO デザイン_テクニカル・アプローチ: 持続的発展が可能な環境共生都市、まちづくりの概念についてテクニカル・アプローチを具体的事例を挙げて解説する。【増田 俊哉-2】		10. 持続的発展が可能な都市づくりを目指した長寿命化住宅、住宅の長期耐用化技術について解説する。【納村 信之】		
3. 持続性可能な環境共生都市・まちづくりにおける「環境人間学的視座」について解説する。【増田 俊哉-3】		11. 環境建築における環境技術の応用について解説する。【中山 哲士】		
4. 「環境-人間-建築」的志向_周辺環境・自然のうつろい: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「周辺環境・自然のうつろい」に関する事例を解説する。【増田 俊哉-4】		12. 建築・都市の環境を制御する手法と効果について解説する。【中山 哲士】		
5. 「環境-人間-建築」的志向_中間領域: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「中間領域」に関する事例を解説する。【増田 俊哉-5】		13. 地球環境と環境共生建築: 地球温暖化の現状を概説し、その対策の一例としてZEBについて解説する。またSDGsについて概説する。【坂本 和彦】		
6. 「環境-人間-建築」的志向_風・水・光: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「風・水・光」の制御と受容に関する事例を解説する。【増田 俊哉-6】		14. 持続可能な住宅と環境: 家庭でのエネルギー消費量等を概説し、住宅の省エネルギーと環境性能について解説する。【坂本 和彦】		
7. 持続的発展が可能な都市づくりの観点から、文化財、歴史的町並みの保存、コンバージョンについて解説し、「環境人間学的」ECO デザインを総括的に解説する。【増田 俊哉-7】		15. 建築における再生可能エネルギー利用: 各種再生可能エネルギーについて概説し、建築への適用事例について解説する。【坂本 和彦】		
8. エコロジカルな都市・まちづくりの実例を通じた計画手法・要件を解説する。【八百板 季穂】				
<b>【テキスト】</b> 講義で資料を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 『成長の限界 ローマクラブ人類の危機レポート』/ドネラ・メドゥズ、デニス・メドゥズ、ジャーガン・ランダズ、ウィリアム・ベアランズ三世/ダイヤモンド社、『フライブルクのまちづくり』/村上 敦/学芸出版社、『風土の日本』/オグスタン・ベルク/筑摩書房、『三つのエコロジー』/フェリックス・ガタリ/平凡社、『レンゾ・ピアノ・ビルディング・ワークショップ 全作品集』/ファイドン、『グレン・マーカットの建築』/TOTO出版				
<b>【成績評価の方法】</b> 担当教員ごとの複数回の課題を総合的に評価し、総計で 100 点満点、60 点以上を合格とする。				

対面授業			05013		
医用工学概論			松宮 潔		
Introduction to Medical Engineering					
履修年次: 1~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 検査、診断、治療の機器について学び、臨床において使用する場面と方法についての理解を深める。これら機器の原理と構造についても学び、理解を深める。以上の内容について、基本的な知識とスキルを養い、今後の専門科目を学ぶ上での基礎となるようにする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 生体の構造と機能について解説する。		9. 人工臓器について解説する。			
2. 生体の物理的特性と化学的特性について解説する。		10. 尿・血液検査機器について解説する。			
3. 生体を力学的・機械工学的な視点で解説する。		11. 呼吸器機能・循環器機能検査機器について解説する。			
4. 生体情報の種類について解説する。		12. 内視鏡・画像診断装置について解説する。			
5. センサ・トランスデューサの原理と構造について解説する。		13. 各種エネルギーが生体に及ぼす影響・危険性について解説する。			
6. 信号処理について解説する。		14. 医用安全を確保するための方法について解説する。			
7. 計測値の統計処理について解説する。		15. 病院管理と地域医療について解説する。			
8. 物理的エネルギーを用いた治療について解説する。		16. 期末試験を行い、終了後に解法や考え方について解説する。			
<b>【テキスト】</b> 最新臨床検査学講座 医用工学概論／嶋津秀昭、中島章夫 編／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22374-1					
<b>【参考図書】</b> ME の基礎知識と安全管理 改訂第 7 版／日本生体医工学会 ME 技術教育委員会／南江堂／ISBN978-4-524-24656-4					
<b>【成績評価の方法】</b> 小テスト評価30%(達成目標1と2を確認)期末試験70%(達成目標1と2を確認)により成績を評価し、総計で得点60%以上を合格とする。					

対面授業			05014		
ロボット工学概論			藤本 真作		
Outline of Robot System Engineering					
履修年次:1~4 年次	1 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> ロボット工学や機械工学系の入門として、ロボットシステム、センサ、ロボットと五感、アクチュエータ、人工知能などの基礎事項を学ぶとともにそれらの簡単な内容と問題点などを説明する。そして、人類が如何にしてロボットという概念に到達したか？そもそもロボットとは何か？について考える。人工物であるロボットを題材に、自然物である人の類まれな能力などについて学ぶことができる。最後にセンサから得られた信号の基本的な信号処理についても学ぶ。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 講義概要(ロボット工学の歴史と如何にしてロボット工学の概念に到達したか?)について説明する。					
2. 人工物であるロボットのセンサと自然物である人の五感について説明する。					
3. 機械的なセンサの基本的な原理とその信号処理の方法について説明する。					
4. ロボットのアクチュエータ(電気・油圧・空気式)について説明する。					
5. アクチュエータの動作原理とヒューマノイドロボットについて説明する。					
6. ロボット制御と知能化について説明する。					
7. 未来のロボットと我々の生活について説明する。					
8. 総合演習を行う。					
<b>【テキスト】</b> 適宜、資料を配付するものとし、教科書は使用しない。					
<b>【参考図書】</b> 有本卓編著/「ロボティクス概論」/コロナ社、井上猛雄著/「キカイはどこまで人の代わりができるか? 職人ロボットから医療ロボットまで~人の暮らしを変えたキカイたち」/ソフトバンククリエイティブ、中川栄一・伊藤雅則共著/「ロボット工学概論」/成山堂書店、熊本水頼編著/「ヒューマノイド工学」/東京電機大学出版局					
<b>【成績評価の方法】</b> 総合演習50%と提出課題30%および演習課題20%により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。 総合演習50%:到達目標①~⑤を確認、提出課題30%(宿題を含む):到達目標①~③を確認、演習課題20%(達成目標⑥を確認)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。					

対面授業		05015		
発酵と食品科学		三井 亮司		
Fermentation and Food Science				
履修年次:2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
<p>本講義では食品の3つの機能、一～三次機能とされるこれらの食品機能性について学ぶ。また近年の発酵食品ブームやプレバイオティクス、プロバイオティクスといった微生物が関与する食品加工や食品成分について解説する。食品や食事の意味を生化学、および栄養学の観点から見つめ、生命を維持し、健康に生活するために必要な成分、またその生理学的意義について学ぶ。また、発酵食品をはじめとする機能性食品についても学ぶ。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1. 食品の機能性(一～三次機能)と目的に応じた食品の分類群について解説する。	9. アミノ酸・タンパク質と深く関連した発酵食品:醤油・味噌・納豆・チーズなどの製法と、関与する微生物について解説する。			
2. 食品成分の構成と一次機能について解説する。	10. 食品に含まれる脂質について解説する。			
3. 食品と水、水分活性と微生物の生育と食品の保存性について解説する。	11. 食品に含まれる微量成分:ビタミン、ミネラル、色素について解説する。			
4. 食品に含まれる炭水化物(デンプン・糖質・食物繊維)について解説する。	12. 食品に含まれる微量成分:味覚物質と食品の官能評価について解説する。			
5. デンプンの加工技術と麹などの微生物と微生物酵素、これらの加工による製品として機能性糖について解説する。	13. 食品の安全性について解説する(自然毒、食品添加物、食中毒など)。			
6. 炭水化物に深く関係する発酵食品:人類とアルコール発酵の歴史的な関わりについて解説する。	14. 食品の三次機能:保健機能について解説する。機能性成分としての微生物や微生物生産物について解説する。			
7. アルコール飲料の分類:アルコール発酵を利用して製造される酒類の分類と製造について解説する。	15. 食品の三次機能:特定保健用食品(トクホ)、機能性表示食品など現在のトピックについて解説する。			
8. 食品に含まれるアミノ酸・タンパク質について解説する。	16. 期末試験を実施する。			
<b>【テキスト】</b>				
わかりやすい食品化学/吉田勉監修/三共出版/ISBN-10 : 4782707827				
<b>【参考図書】</b>				
微生物学/青木健次/化学同人/ISBN:9784759811049				
<b>【成績評価の方法】</b>				
mylog コース復習課題と期末試験(達成目標①～④を評価)で評価する。総計点の60%以上を合格とする。				

対面授業				05016	
エコ・ツーリズム技法			能美 洋介 他		
Ecotourism Field Practice					
履修年次: 1~4 年次		2 単位	夏季集中	1 コマ	
授業形態	実験実習				
授業内容	<p>・本実習は、屋久島において、夏休み(9月初旬)に4泊5日の日程で合宿形式で実施する。</p> <p>・野外実習は、屋久島野外活動総合センター所属のエコツアーガイドを現地講師(本学非常勤講師)として実施する。</p> <p>・定員5~6名ずつの次の4コースに分けて実施する予定である。</p> <p>・地質・地形(沢登りによるジオツアー)、海洋生物(サンゴ調査)、野生動物観察(サルとシカの生態)、屋久島の自然観察(エコツアー)の4コースを予定している。</p> <p>・なお、実習前(5月~7月)に、2回の事前指導をおこない、実習後(秋学期)に事後指導となる報告会を開催する。</p>				
準備学習	実習を安全に実施するために、事前指導(5月から7月の土曜日)を行うので、必ず参加し、その都度、指示された準備学習を行うこと。				
講義目的	世界自然遺産の島、屋久島において、自然の仕組みとエコツーリズムの在り方、およびフィールドワークにおける基礎技法を学び、自然の姿をエコツアーガイドとして紹介するための基本技法を習得することを目的とする実習です。				
達成目標	<p>(1) エコツアーおよびフィールドワークに必要な野外活動技術の基礎を習得し、フィールドワークにおいて実践することができる。</p> <p>(2) 自然の仕組みを理解するとともにその解説手法を習得し、エコツアー等において解説することができる。</p> <p>(3) 自然保護に留意したエコツアーのあるべき姿を習得し、エコツアーを実践することができる。</p>				
キーワード	エコツアー、フィールドワーク、屋久島、自然保護				
成績評価	実習成果を報告するレポートにより達成目標(1)と(2)の達成度を評価する(50%)。実習成果報告会で口頭発表によるプレゼンテーションを行い、達成目標(2)と(3)の達成度を評価する(50%)。以上の総計の60%以上を合格とする。				
関連科目	「植物系統分類学」などの動植物や生態に関する科目、「地球科学概論Ⅰ」などの地質・地形・気象に関する講義に関連しています。				
テキスト	使用しない。適宜プリント資料を配布する。				
参考図書	<p>・山の自然学／小泉武栄／岩波新書</p> <p>・山が楽しくなる地形と地学／広島三郎／ヤマケイ山岳選書山と溪谷社</p> <p>・地図の読み方／平塚晶人／BE-PAL BOOKS, 小学館</p>				
連絡先	能美 洋介 D4号館3階【能美研究室】 y_noumi@ous.ac.jp 研究室電話番号 086(256)9605				
注意・備考	<p>・受講希望者は、履修届提出前に、担当者に受講希望の事前連絡を行うこと。</p> <p>・選択コースは面談の上決定する。</p> <p>・事前連絡・面談が無い場合は受講を認めない。</p> <p>・事前指導に参加できない場合は受講を認めない。</p> <p>・また希望者多数の場合は抽選などを行うことがある。</p> <p>・参加経費(滞在費、往復交通費、実習用具費など)は自己負担です。また、現地集合・現地解散です。</p> <p>・事前・事後の連絡はSNS、電子メールなどで行う。</p>				

対面授業				05017	
現代日本語の多様性と運用			ダッタ シヤミ		
Diversity and Performance of Modern Japanese Language					
履修年次:2~4 年次	1 単位	春	1 コマ		
<p>【授業の目的】</p> <p>日本文化や日本事情に照らし合わせて、現代の日本語の多様性と運用を様々な探究活動通じて紹介と分析していく。現代の日本語がなぜこれほど多様か？この問いも追究する。日本語の多様性と日本教育や Japan Studies(日本学)、つまり日本の伝統文化や現代文化、各地域の特徴の関連をリサーチプレゼンテーションする。</p> <p>* 原則対面実施する。</p> <p>* <b>Student Co-ownership of Inquiry Based Learning</b> による interactive learning 授業のため、欠席が多い場合は後から資料のみ見てカバーするのが難しい授業である。</p>					
<p>【授業内容】</p> <p>1. 「ネット日本語・新語・造語」Ice-Breaking activity をし、その後オリエンテーションとして授業の進め方、授業内容、目的、成績評価の方針について説明する。授業受講者全員の言語背景をシェアする。</p> <p>2. 「やさしい日本語」について知る。</p> <p>3. 「やさしい日本語」について理解を深める。</p> <p>4. 「若者ことば、敬語、仕事ことば」をキーワードに現代日本語の多様性と運用を探究する方法を紹介する。その際指定地域からグループごとにリサーチプレゼンテーション対象地域や対象の日本語の運用を決める。</p> <p>5. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを行う準備をする。</p> <p>6. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。</p> <p>7. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。Constructive criticism を受ける。</p> <p>8. Constructive criticism を踏まえて、リサーチプレゼンテーションを振り返り、プレゼンテーション資料を提出する。これ 8 回授業につきこれが最終回である。</p>					
<p>【テキスト】</p> <p>担当者開発のオンラインリソースやその他のオンラインリソースをその都度紹介する。</p>					
<p>【参考図書】</p> <p>授業で紹介する。</p>					
<p>【成績評価の方法】</p> <p>リサーチプレゼンテーション50%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、課題30%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、授業への参加20%(達成目標 1), 2), 3)を確認)により評価し、総計 60%以上を合格とする。</p>					



対面授業			05018	
商学基礎		大藪 亮		
Fundamentals of Distribution and Commerce				
履修年次:1~4 年次	2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
現代流通ビジネスの実態と日本の流通システムの変化をとりあげる。小売業態の進化と卸売商業の役割、メーカーの流通政策を説明する。また、情報化、グローバル化の中での流通の変化についても講義する。具体的には、生産と消費を結ぶ流通は、どのような機能と役割を担っているのか、小売業、卸売業、メーカーなどの流通主体ごとに検討する。さらに、それらの全体としての流通システムについて考える。また近年急速に進行している国際化と情報化の中での流通変化についても考える。				
<b>【授業内容】</b>				
1. 授業のオリエンテーションとして、授業の進め方等について確認する。さらに、流通と私たちの生活との関係についての基本的な考え方について学習する。	9. 通信販売と流通について学習する。			
2. 流通の機能やその役割について学習する。	10. 中小商業と流通について学習する。			
3. 小売業とは何か、小売業の存在意義について学習する。	11. 大規模商業と流通について学習する。			
4. 小売業の役割とその種類について学習する。	12. 地域・街づくりと流通について学習する。			
5. 食品スーパーとコンビニエンスストアの生成と発展について学習する。	13. 国際化の進展と流通について学習する。			
6. 卸売業の役割と諸形態について学習する。	14. 情報化の進展と流通について学習する。			
7. マーケティングチャネル政策と流通構造について学習する。	15. 流通における物流の役割やロジスティクスの概念について学習する。続いて第 9 回から第 15 回までの講義内容の確認テストおよび、そのテストの解説をフィードバックする。			
8. 流通の組織化について学習する。続いて第 1 回から第 8 回までの講義内容の確認テストおよび、そのテストの解説をフィードバックする。				
<b>【テキスト】</b>				
ベーシック流通論／井上崇通、村松潤一編／同文館出版, ISBN 4495647512				
<b>【参考図書】</b>				
必要に応じて指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
授業時間内の試験(第 8 回目に実施する確認テスト 50%(達成目標 1)および 2)を確認)と第 15 回目に実施する確認テスト 50%(達成目標 1)および 2)を確認)により評価し、総計で 60%以上を合格とする。				

対面授業				05019	
マナーマイスター講座初級			重松 利信 他		
Beginner Course in Manner Meister					
履修年次:1~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
【授業の目的】					
日本のしきたりや文化を学び、正しい礼儀・作法や美しい言葉・敬語をマスターすることは、対人関係や社会生活を円滑にし、自分自身の品格向上につながる。本講義は NPO 法人伝統和文化マナーマイスター協会の認定講師資格に則り、日本の伝統文化についての正しい知識を理解し、実技、態度を習得し、社会生活において体現でき、実践できるようになることを目的とする。本講義では、日本の伝統や文化に立脚したマナーの精神を習得し、他者に貢献する力の育成や傾聴力、コミュニケーション力などの汎用的な力の向上も目指す。					
【授業内容】					
1. 講座の目的や礼儀作法の歴史について解説する。第1章 日本の礼儀作法の意義。礼儀作法とエチケット、マナー/礼儀正しさは信頼の基本		9. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本② 企業訪問/名刺の作法/紹介の手順			
2. 第2章 服装のマナーと和装の基本 TPO に合わせた服装の心得。第3章 身だしなみの基本 ビジネスシーンでの身だしなみ		10. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本③ 来客接待/席次を知る/お付き合いの作法。 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本④ 電話対応のマナー/E-mail			
3. 第4章 心を込めた挨拶。様々な場面での挨拶/相手の心に響く挨拶の大切、紹介の順序		11. 第11章 個人宅訪問の心得とおもてなし (洋室)・和室の席次、個人宅訪問の心得			
4. 第5章 日本の美しい所作と姿勢。美しい所作の基本は正しい姿勢。正しい姿勢。第6章 お辞儀の大切さ立礼の種類と作法/座礼の種類と作法		12. 第12章 手紙の形式と ② 封書とはがきの使い分け/日本の手紙の構成、はがきの書き方/ビジネスレター			
5. 第7章 美しい立ち居振る舞い。美しい歩き方とマナー、椅子の座り方と扱い。正しいドアの開け方と入退室。更に、これまで学んだことについて、小テストを行う		13. 第13章 洋食の作法、和食の作法① 和食の特徴、和食の作法、お箸の文化/器の扱い方/懐紙の利用法。第13章 和食の作法② 日本の食文化に親しむ洋食の作法 /カトラリーの使い方			
6. 第8章 コミュニケーション力を高める。コミュニケーションの基本、話し上手はうなずき上手。心を込めた伝え方<会話力>		14. 第14章 日本文化の心① 神道と神社、仏教と寺院、ハレ・ケ・ケガレ、拝礼の仕方、人生の節目、通過儀礼、歳時記、年中行事 1~12 月、結婚 葬式のマナー			
7. 第9章 社会人としての言葉遣い。敬語を使う相手/敬語の3つの種類 クッション(前置き)言葉		15. 国際社会でのマナー 海外の挨拶/対人距離、国際社交儀礼、国旗掲揚/プロトコール			
8. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本① 学生と社会人の違い。仕事の基本<報告 連絡 相談>指示の受け方とポイント<5W3H>		期末試験を実施する			
【テキスト】					
「知っておくべき暮らしの中の礼儀作法 初級教本」(協会指定)定価+800 円(学割)※教科書の購入は授業内で指示するので、それまでは購入しないこと。					
【参考図書】					
プリント教材:適宜配布					
【成績評価の方法】					
講義内で実施する実技と小テスト・期末試験で、総合的に評価し、総計で 60 点以上を合格とする。それぞれの割合については、授業内で詳説する。					

対面授業			05020		
Presentation			前川 洋子		
Presentation in English					
履修年次:2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> プレゼンテーションやディスカッションを中心とした活動を通して、特に Speaking に関する学術的な英語表現力を養成する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 授業の進め方についてオリエンテーションを行い、テキスト pp.6-12 のイントロダクションを確認しながら、プレゼンテーションの要素について学ぶ。			9. Unit 7 Pronunciation Focus について学び、英語の発音の練習を行う。		
2. Unit 1 Presentaion structure について学び、プレゼンテーションの内容について検討する。			10. Unit 8 Telling Delivery について学び、リズムや流れを意識した話し方を練習する。		
3. Unit 2 Infromative-style presentation について学び、informative-style で必要な情報を選択する。			11. Unit 9 Non-verbal communication について学び、発表時の姿勢やジェスチャーなどを練習する。		
4. Unit 3 Persuasive-style presentation について学び、必要な情報を調べる。			12. 今までの準備を踏まえて Demonstration Speech を作成し、クラス内で発表を行う。終了後は周りのコメントや質問を参考に振り返りを行う。		
5. Unit1-3 の内容を意識しながら、プレゼンテーションの台本を作成し、発表を行う。終了後は周りのコメントや質問を参考に振り返りを行う。			13. Unit 10 Q&A sesseion strategies について学び、質問への答え方を練習する。		
6. Unit 4 Making Effective Slides について学び、発表用のスライドデザインを考える。			14. Unit11 Rehearsal and practice について学び、最終発表に向けた練習を行う。		
7. Unit 5Visualizing Textural Information について学び、情報の見せ方を工夫してスライドを編集する。			15. 最終プレゼンテーションとして、4-5 分間の正式な場を想定したプレゼンテーションを行う。スーツを着用し、今まで学んだ内容を意識した発表を行い、終了後は振り返りを行う。		
8. Unit 6 Visualizing Quantitative Data について学び、情報に応じたグラフや図を作成する。					
<b>【テキスト】</b> Power Presentation (New Edition)/ JACET 関西支部教材開発研究会 / 三修社 / ISBN978-4-384-33532-3					
<b>【参考図書】</b> 講義の中で適宜指示する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 全 3 回のプレゼンテーション40%(達成目標①)、台本30%(達成目標①②)、クラスワーク30%(達成目標②)により成績を評価し、総計で60点以上を合格とする。					

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山理科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号	性別	生年 月日	西暦		年		
			男・女	昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 —  Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日: 春学期: 4月3日(水)まで 秋学期: 9月19日(木)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
05001	データの数理Ⅱ	専門	大江 貴司	2	秋	3~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05002	鉱物科学	専門	新原 隆史	2	春	2~4	定員 10名	火 13:15~14:45		
05003	量子力学の基礎	専門	金子 敏明	2	秋	2~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05004	安全化学	専門	岩永 哲夫	2	春	3~4	定員 10名	水 9:10~10:40		
05005	微生物学	専門	水野 信哉	2	春	2~4	定員 10名	水 9:10~10:40		
05006	再生医療移植学	専門	片岡 健	1	秋	2~4	定員 10名	火 10:55~12:25		
05007	分子遺伝学Ⅰ	専門	池田 正五	2	春	2~4	定員 10名	木 9:10~10:40		
05008	機械製図Ⅱ	専門	田中 雅次	2	秋	1~4	定員 10名	月 13:15~16:30		
05009	センサ工学	専門	河村 実生	2	春	3~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05010	画像処理とCG	専門	島田 英之	2	秋	2~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05011	ナノサイエンス	専門	竹崎 誠	2	秋	3~4	定員 10名	木 13:15~14:45		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
05012	エコロジカルデザイン	専門	増田 俊哉 他	2	秋	3~4	定員 10 名	木 10:55~12:25		
05013	医用工学概論	専門	松宮 潔	2	春	1~4	定員 10 名	金 13:15~14:45		
05014	ロボット工学概論	専門	藤本 真作	1	春	1~4	定員 10 名	木 9:10~10:40		
05015	発酵と食品科学	専門	三井 亮司	2	秋	2~4	定員 10 名	火 13:15~14:45		
05016	エコ・ツーリズム技法	専門	能美 洋介 他	2	通年	1~4	若干名	夏季集中		
05017	現代日本語の多様性と運用	専門	ダッタ シヤミ	1	春	2~4	定員 10 名	水 9:10~10:40		
05018	商学基礎	専門	大藪 亮	2	春	1~4	定員 10 名	月 15:00~16:30		
05019	マナーマイスター講座初級	専門	重松 利信 他	2	秋	1~4	定員 10 名	金 13:15~14:45		
05020	Presentation	教養	前川 洋子	2	秋	2~4	定員 10 名	木 15:00~16:30		

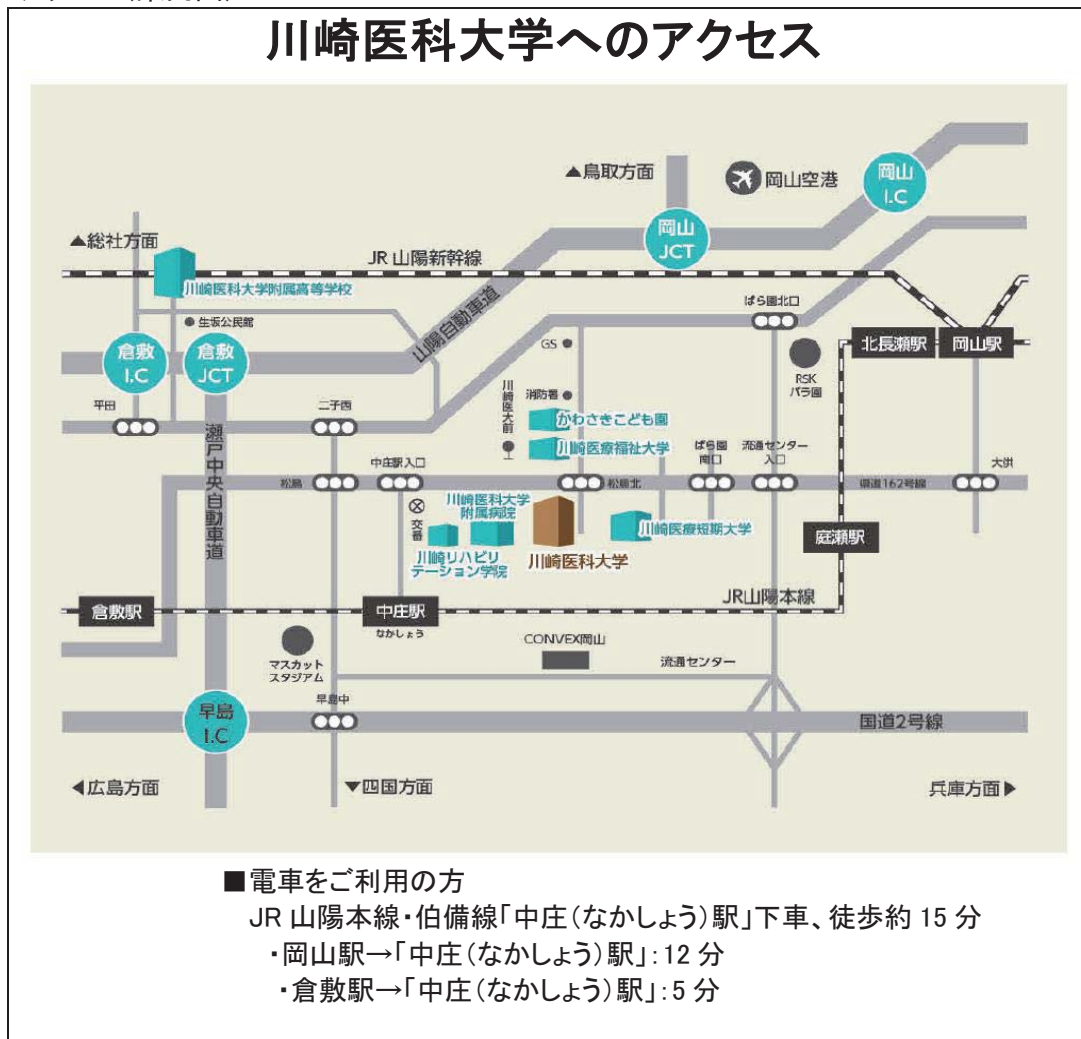
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用 (単位互換履修科目履修願貼付)	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (6)川崎医科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1 学期	2024 年 4 月 18 日	～	2024 年 6 月 25 日
	2 学期		～	
	3 学期		～	
試験期間	1 学期	2024 年 7 月 9 日	～	2024 年 7 月 16 日
	2 学期		～	
	3 学期		～	
授業時間	1 限	8:45	～	9:45
	2 限	10:00	～	11:00
	3 限	11:15	～	12:15
	4 限	13:00	～	14:00
	5 限	14:15	～	15:15
	6 限	15:30	～	16:30

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

川崎医科大学 事務部教務課	
所在地:	倉敷市松島 577 川崎医科大学 校舎棟 1 階
電話:	086-464-1012

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

募集要項の「3. 出願方法について」に記載のとおり。※土日は除きます。

・ 履修手続

以下の印刷物を配付(所属大学へ郵送)します。

- ①学習の手引き (教務課)
- ②大学案内 (教務課)
- ③学生証(単位互換履修生証) (学生課)

・ 施設利用

川崎医科大学在学生と同様の扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://m.kawasaki-m.ac.jp/outline/curriculum.php>

・対面授業科目

対面授業				06001
生命科学 I			西松 伸一郎 他	
Life Sciences I				
履修年次 1	2 単位	1 学期	32 コマ	若干名
<p><b>【目的】</b>          生命の基本単位である細胞の構造と機能、セントラルドグマの仕組み、生体の恒常性維持と生体防御の仕組みについて学び、生命現象・生命活動を分子レベル、細胞レベル、個体レベルで理解することを目的とする。</p>				
<p><b>【授業到達目標】</b>          生命現象・生命活動を分子レベル、細胞レベル、個体レベルから説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命の歴史、生物の進化について説明できる。</li> <li>2. 生物体のつくりと「階層性」について説明できる。</li> <li>3. 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。</li> <li>4. 細胞の基本構造と、細胞小器官それぞれの構造とはたらきを説明できる。</li> <li>5. 細胞骨格の種類と、それぞれの構造とはたらきを説明できる。</li> <li>6. セントラルドグマについて説明できる。</li> <li>7. DNA の複製について説明できる。</li> <li>8. 遺伝子からタンパク質が作られる仕組みを説明できる。</li> <li>9. 細胞周期について説明できる。</li> <li>10. 体細胞分裂の過程を説明できる。</li> <li>11. 減数分裂の過程を説明できる。</li> <li>12. 遺伝の仕組みを減数分裂と関連づけて説明できる。</li> <li>13. 遺伝型と表現型の関係について説明できる。</li> <li>14. ハーディ・ワインベルグの法則について説明できる。</li> <li>15. 生態系における個体群の関係、食物連鎖について説明できる。</li> <li>16. 栄養素、エネルギーと物質循環について説明できる。</li> <li>17. 細胞内の代謝と細胞呼吸を説明できる。</li> <li>18. 栄養と代謝、代謝異常症について説明できる。</li> <li>19. 精子形成、卵形成の過程を減数分裂と関連づけて説明できる。</li> <li>20. 受精の過程を説明できる。</li> <li>21. 代表的な動物の初期発生の過程を説明できる。</li> <li>22. 動物の器官発生について、器官と由来する胚葉を関連づけて説明できる。</li> <li>23. 動物の器官系の系統発生について説明できる。</li> <li>24. 細胞接着装置について説明できる。</li> <li>25. 神経細胞の興奮のメカニズムと、興奮の伝達の仕組みについて説明できる。</li> <li>26. ホルモンが作用する仕組みを、ホルモンの化学的性状と関連づけて説明できる。</li> <li>27. 各内分泌腺から分泌されるホルモンの主な作用を概説できる。</li> <li>28. フィードバック制御について説明できる。</li> <li>29. 体温を維持する熱源によって動物を分類し、体温調節の仕組みを説明できる。</li> <li>30. 血糖調節の仕組みを説明できる。</li> <li>31. 浸透圧調節の仕組みを動物の生息環境と関連づけて説明できる。</li> <li>32. 生体機能のリズム性変化を概日時計と関連づけて説明できる。</li> <li>33. 免疫にかかわる細胞を列挙し、それらの相互関係を説明できる。</li> <li>34. 膜タンパク質が神経系、内分泌系、免疫系においてはたす役割について説明できる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b></p>				



1	2024/4/18(木)3 時限	生命とは、生物の階層性
2	2024/4/22(月)1 時限	細胞の基本構造(1)細胞膜と核
3	2024/4/22(月)2 時限	細胞の基本構造(2)細胞小器官
4	2024/4/26(金)1 時限	細胞の基本構造(3)細胞骨格
5	2024/4/26(金)2 時限	遺伝情報の流れ (1)複製・転写
6	2024/5/08(水)3 時限	遺伝情報の流れ (2)翻訳
7	2024/5/13(月)3 時限	細胞周期と細胞分裂
8	2024/5/13(月)4 時限	体細胞分裂と減数分裂
9	2024/5/14(火)1 時限	遺伝の法則と遺伝的多様性
10	2024/5/16(木)4 時限	遺伝子とゲノムの進化
11	2024/5/16(木)5 時限	生物の進化と多様性
12	2024/5/20(月)3 時限	生物圏と生態系:食物連鎖
13	2024/5/21(火)1 時限	生物圏と生態系:物質循環とエネルギー循環
14	2024/5/21(火)2 時限	代謝と呼吸:生体エネルギーの獲得
15	2024/5/22(水)3 時限	栄養・代謝の異常と病態
16	2024/5/27(月)1 時限	中間試験
17	2024/5/27(月)2 時限	中間試験
18	2024/5/27(月)3 時限	中間試験 解説
19	2024/5/30(木)3 時限	動物の発生(1)受精
20	2024/5/31(金)1 時限	動物の発生(2)初期発生
21	2024/5/31(金)2 時限	動物の発生(3)原腸形成と胚葉分化
22	2024/6/04(火)4 時限	動物の発生(4)細胞接着
23	2024/6/04(火)5 時限	内部環境の調節(1)神経系:神経細胞の興奮
24	2024/6/11(火)4 時限	内部環境の調節(2)神経系:神経細胞間の情報伝達
25	2024/6/11(火)5 時限	内部環境の調節(3)内分泌系:内分泌腺とホルモン
26	2024/6/13(木)2 時限	内部環境の調節(4)内分泌系:ホルモンの作用するしくみ
27	2024/6/13(木)3 時限	内部環境の調節(5)体温調節
28	2024/6/18(火)1 時限	内部環境の調節(6)血糖調節
29	2024/6/18(火)2 時限	内部環境の調節(7)体液と浸透圧調節
30	2024/6/19(水)3 時限	内部環境の調節(8)体内時計とリズム障害
31	2024/6/19(水)4 時限	生体の防御(1)免疫と免疫担当細胞
32	2024/6/25(火)1 時限	生体の防御(2)体液性免疫と細胞性免疫
<b>【評価割合・基準・方法】</b>		
[期末試験]45%(学期末に行う筆記試験)		
[中間試験]45%(1 学期中に行う筆記試験)		
[出席状況(受講態度)]10%		
[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価		
<b>【教科書】</b>		
ISBN-9784758121088, 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学, 和田勝著 ; 高田耕司編集協力, 羊土社, 2020		
ISBN-9784524261994, Essential 細胞生物学(原著第 4 版), Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳, 南江堂, 2016		
<b>【参考書】</b>		
ISBN-9784410281488, 改訂版 視覚で捉えるフォトサイエンス生物図録, 嶋田正和, 坂井建雄, 園池公毅, 田村実, 中野賢太郎, 成川礼, 湯本貴和, 和田洋, 数研出版, 2024		
<b>【準備学習(予習・復習等)】</b>		

全講義の準備学修(復習を含む)を行ってください。予習では、毎回の授業ごとに 1 時間程度、教科書の該当箇所を読むことが必要です。復習では、教科書と配付プリントを併用して、それぞれの授業内容の重要箇所を 1 時間程度の時間をかけて確認、理解することが必要です。

**【講義についての注意事項】**

授業ではヒトを含む生物の細胞レベルから個体レベルの生命現象について概説します。自分の細胞の中、体の中で起こっている生命現象(生命活動)に興味と疑問をもってください。様々な生命現象に関する用語を個別的、断片的に暗記するのではなく、理解した用語を使って生命現象を説明できるよう、用語の関係性を考えながら理解してください。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

川崎医科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 — Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日: 前期: 4月3日(水)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
06001	生命科学 I	教養	西松伸一郎 他	2	第1 学期	1	若干名	曜日・時限は シラバス参照	<input type="checkbox"/>	

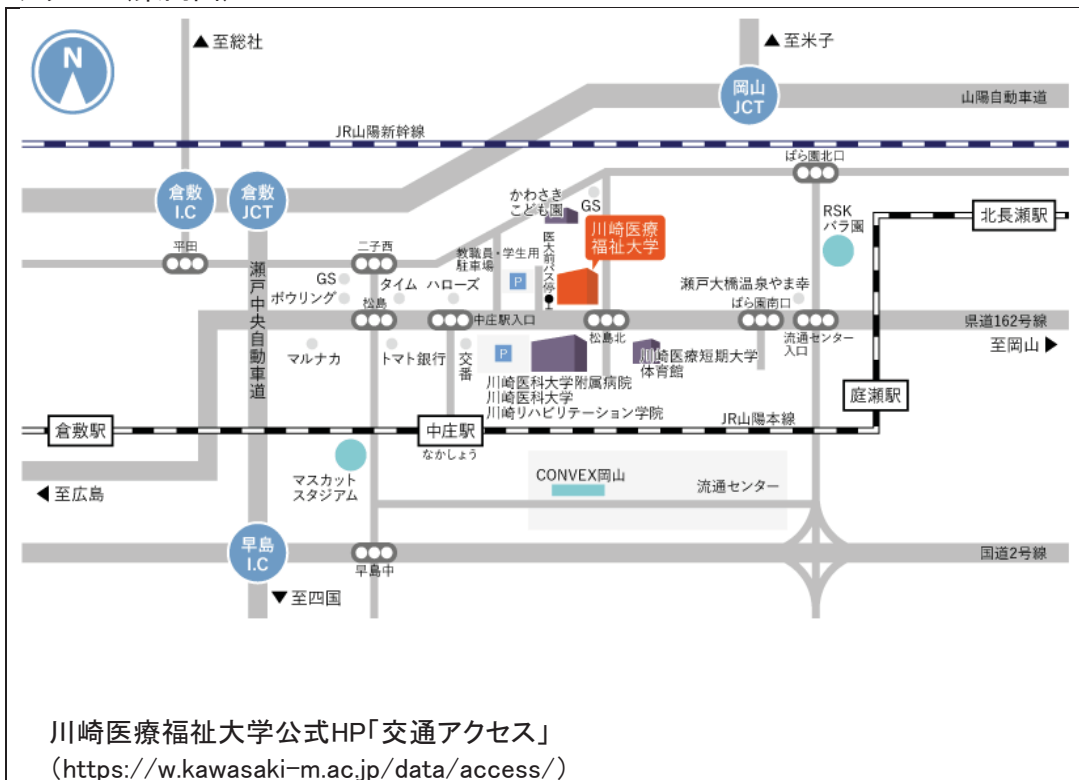
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (7)川崎医療福祉大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月8日	～	2024年7月26日
	後期	2024年9月26日	～	2025年1月30日
試験期間	前期	2024年7月29日	～	2024年8月9日
	後期	2025年2月3日	～	2025年2月17日
授業時間	1限	8:45	～	10:15
	2限	10:25	～	11:55
	3限	12:45	～	14:15
	4限	14:25	～	15:55
	5限	16:05	～	17:35

### ② アクセス(案内図)



### ③ 担当窓口

事務部 教務課
所在地: 〒701-0193 倉敷市松島 288 番地 本館棟 2 階
電話: 086-464-1021(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・履修申込期限

本学では、以下の期限まで申し込みを受け付けます。  
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
前期:2024年3月18日(月)まで  
後期:2024年9月3日(火)まで

##### ・履修手続

所属大学にて履修手続を行った後、初回授業の当日に、名札・学生証等を配付しますので、教務課窓口までお越しください。

##### ・施設利用

- ・本学の在学生と同じ扱いとします。図書館・学食の利用が可能です。
- ・駐車場の利用はできませんが、大学所定の駐輪場の利用は可能です。
- ・図書館の利用方法については下記 HP をご覧ください。

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/library/>

##### ・特記事項

校舎建物内は土足厳禁となっておりますので、受講の際は 1 階防災センターにある来客用下足箱にてスリッパへ履き替えをお願いします。  
新型コロナウイルス感染症の状況により、対面授業科目でも一部遠隔授業となる場合がございます。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/s10>

・対面授業科目

対面授業			07001	
健康科学論			矢野 博己	
Health Sciences				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
<b>【授業の目的】</b> 基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動・栄養・休養)について理解を深める。生涯にわたって健康づくりを考えられるようになることを目指す。				
<b>【授業内容】</b> 1. 健康づくりの三要素 2. 生活習慣と寿命 3. 健康観と日本文化 4. 誰のための健康か？ 5. 健康づくりのための運動とは？ 6. 健康づくりと食生活観 7. 供給と消費のエネルギーバランス 8. 疲労と疲労感 9. 積極的休養法 10. ストレス解消としての休養(リフレッシュメント、リラックス) 11. 生体防御(防衛体力)と健康 12. ヘルスプロモーションとは？ 13. 科学技術と健康 14. Aさんの健康づくりプロジェクト(基礎編) 15. Aさんの健康づくりプロジェクト(応用編)				
<b>【テキスト】</b> 上田伸男・矢野博己編『健康づくりの新・運動生理学』(アイ・ケイコーポレーション)(2021)				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 50%(健康づくりプログラムを具体的に作成できているかを評価する。) [受講態度・その他] 50%(授業中の質問に対する、積極的な反応を評価する。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。 [備考] 受講態度とレポートで評価する。受講態度で50点、レポートをその内容によって50点満点で評価する。レポート課題についてはあらかじめ授業の中で説明する。				

対面授業			07002	
自閉症の理解と支援			諏訪 利明 他	
Understanding and Supporting Autism				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
<p><b>【授業の目的】</b>  授業では、自閉症の理解について、自閉症の人たちがどのような体験をしているか、自閉症の視点に立って学ぶことができることを目指します。そのために、講義に加えて、自らが自閉症支援のために実施される内容を経験することによって、より深く自閉症支援について学ぶ機会も用意しました。こうした体験を通して、自閉症の人たちがどのようなところでつまずきやすいのか、そのための具体的な支援としてはどのようなものを準備すればいいのか、イメージできるようになることを目指します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自閉症をめぐる Q&amp;A</li> <li>2. 自閉症の特性と学習スタイル</li> <li>3. 自閉症の学習スタイルに基づく支援①ースケジュールとワークシステム</li> <li>4. 自閉症の学習スタイルに基づく支援②ーマテリアルストラクチャーと物理的整理統合</li> <li>5. 自閉症を知ろうーAQ テスト</li> <li>6. 高機能自閉症の人たちの世界ー映画「シンプルシモン」の世界から</li> <li>7. 適切な目標を立てて行動するにはーT-STEP プログラム</li> <li>8. 適切なソーシャルスキルと感情調整の仕方を学ぼう</li> <li>9. 自閉症の人たちの世界を学ぶーDVD で紹介されている自閉症の人たちの世界</li> <li>10. 幼児期の支援ー療育とは何か</li> <li>11. 学齢期の支援ー仲間を見つける</li> <li>12. 就労支援を考える</li> <li>13. 成人期の支援ー充実した人生にするためには</li> <li>14. 家族を支援するー専門家との協働者としての家族</li> <li>15. ライフステージに応じた自閉症支援</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  授業ごとに配布資料を作成します。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [定期試験] 60%(マークシートによる試験を実施する)  [受講態度・その他] 40%(毎回の出席カードおよび感想が 20%、そして振り返りシート等を用いた自らの学びについてのリアクションペーパーが 20%)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p>				

対面授業			07003	
生命科学			竹内 雅貴	
Life Science				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
<p><b>【授業の目的】</b>  医療・福祉に携わる職種を志す学生にとって、医療の根幹を成す生物学的な知識は必要不可欠である。その一方で、基礎的な生物学は応用的／実用的な医学・薬学・工学などと学問としてのスタンスが異なる。本講義では、あえて純粋な基礎生物学の視点から、生命についての客観的な知識を習得する事を目標とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス～生物とは、ヒトとは～</li> <li>2. 生物の特徴と多様性</li> <li>3. 遺伝情報の複製</li> <li>4. 遺伝子の発現</li> <li>5. 遺伝子発現の調節</li> <li>6. [1]～[5]の授業の振り返り</li> <li>7. 細胞の膜構造と細胞小器官</li> <li>8. 細胞骨格</li> <li>9. 代謝・生体エネルギー</li> <li>10. 細胞周期</li> <li>11. シグナル伝達</li> <li>12. 生殖と減数分裂</li> <li>13. 個体発生と細胞分化</li> <li>14. 系統発生と生物進化</li> <li>15. 生物としてのヒトとは</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  東京大学生命科学教科書編集委員会編『生命科学』(羊土社)(2009)  その他のテキスト:適宜、資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳『細胞の分子生物学』(ニュートンプレス)(2017)  Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳『Essential 細胞生物学』(南江堂)(2016)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [レポート] 40%(講義の中から各自が興味を持った内容について、自らの疑問を調べ、解き明かす形式でのレポートを課す。)  [小テスト・中間テスト] 20%(遺伝子発現の調節までについて、記述式のテストを行う。)  [受講態度・その他] 40%(毎回の講義において、理解できた事／疑問点をセットで提出。出欠確認も兼ねる。)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。  [備考] 授業中の積極的な質問や発言を歓迎し、評価する。(チャットなど)</p>				



対面授業				07004	
健康と音楽			原山 秋 他		
Health and Music					
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名	
<b>【授業の目的】</b> 医療福祉領域での音楽活動について、既成の枠に捕らわれず柔軟な発想力で音楽・音をとらえることと、音楽・音の持つ効果を体験を通して実感することを目指す。					
<b>【授業内容】</b> 1. これまでの音楽療法 2. 健康と音楽の関係をめぐってー「ミュージッキング」から考えるー 3. こころの病と音楽活動 4. 高齢者と音楽活動 5. 音楽活動で必要なちょっとした(でも重要な)音楽技術 6. 音楽で育つー障がい児と音楽あそびー 7. あなたにもできる！音楽活動のらくらく評価 8. 障害と音楽活動 9. コミュニティーと音楽活動 10. 日本の歌から考える 音楽の力・音楽の使い方 11. ミュージシャンの音楽問題 12. 生きるよろこびー緩和ケアと音楽活動ー 13. 失語症・失音楽症と音楽活動 14. 障害者への音楽活動ー音楽を通じての社会参加ー 15. これからの音楽活動					
<b>【テキスト】</b> 田中 順子, 岸本 寿男, 若尾 裕他『臨床が変わる！ イラストでわかる 目からウロコの音楽活動』(三輪書店)(2014)					
<b>【参考図書】</b> なし					
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 100%(毎回のレポート(リアクションペーパーと授業理解度アンケート)の提出をもって出席と見なす。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。 [備考] 指定時間よりレポート提出が遅れた場合は、原則として欠席と見なす。レポートの内容が著しく劣る場合は減点する。出席点で総合評価する。					

対面授業			07005	
ヒューマンセクシャリティー論			谷野 宏美 他	
Human Sexuality				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
<b>【授業の目的】</b> 性と生殖について医学的/科学的観点から捉えるとともに、「性」を通して見える世界に多方面からアプローチし、実社会の動向を踏まえてジェンダー、セクシュアリティに関わる課題の解決方法について考察する。				
<b>【授業内容】</b> 1. ガイダンス SDGs、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシュアル・ライツ 2. 文化・社会とジェンダー・セクシュアリティ 3. 女性の身体・性 4. 男性の身体・性 5. 妊娠・出産・育児 6. 性感染症の現状と予防対策 7. 日本における性教育の現状と課題 8. 性の多様性と性別違和、その対応と現状 9. 性的虐待、性暴力、性犯罪の現状と対応 10. 生命倫理について考える 11. 不妊と生殖補助医療 12. 増え続ける HIV 感染症を考える 13. 更年期・老年期に起こりやすい健康問題—排尿機能障害(尿失禁)と骨盤底— 14. 月経と関連する疾患について 15. ワーク・ライフバランス、まとめ				
<b>【テキスト】</b> なし				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 60%(レポートの内容) [プレゼンテーション] 10%(質疑応答、態度など) [受講態度・その他] 30%(リアクション・ペーパーの記述内容) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

川崎医療福祉大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真 貼付
----------

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等								
学部・学科・学年	学部			学科			年	
学生番号		性別 男・女	生年 月日	西暦		年		
				昭和・平成	年	月	日	
現住所	〒 — — — — — Tel ( ) — — — — —							

- \* 履修受付締切日: 前期: 3月18日(月)まで 後期: 9月3日(火)まで
- \* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
07001	健康科学論	教養	矢野 博己	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07002	自閉症の理解と支援	教養	諏訪 利明 他	2	春学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07003	生命科学	教養	竹内 雅貴	2	春学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07004	健康と音楽	教養	原山 秋 他	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07005	ヒューマンセクシャリティ論	教養	谷野 宏美 他	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	

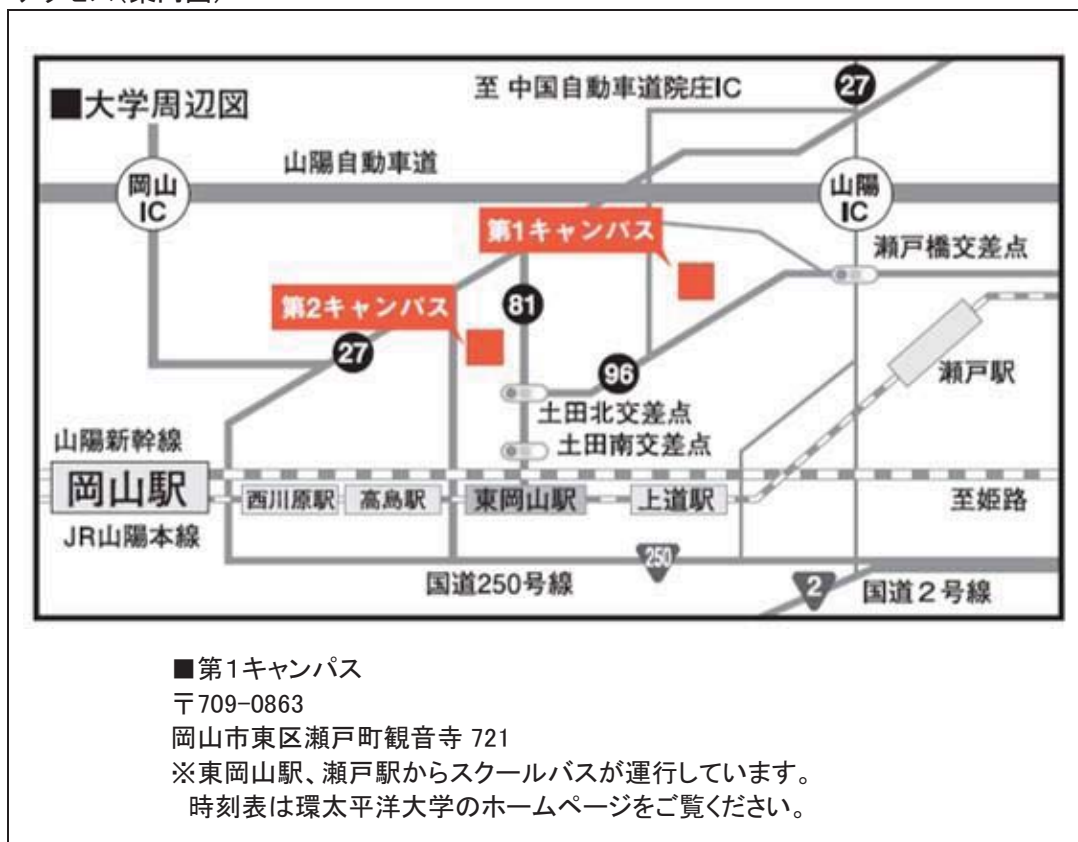
写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用 (単位互換履修科目履修願貼付)	計
	1枚	1枚	2枚

## (8) 環太平洋大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月8日	～	2024年7月29日
	後期	2024年9月23日	～	2025年1月23日
試験期間	前期	2024年7月30日	～	2024年8月2日
	後期	2025年1月27日	～	2025年1月31日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:35	～	18:05

### ② アクセス(案内図)



### ③ 担当窓口

教務課
所在地: 岡山市東区瀬戸町観音寺 721 ディスカバリー1階
電話: 086-201-3151

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・履修申込期限

本学では、以下のとおり受け付けます。  
後期:9月18日(水)まで

・ 履修手続

履修を許可された学生は、受入大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。

・ 施設利用

1. 環太平洋大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下を配付します。
  - ① 学生証(単位互換履修生) (学生支援センター)
3. 図書館・学食等の利用が可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://ipu-japan.ac.jp/syllabus/consortium>

対面授業				08001																																													
スポーツ栄養学			保科 圭汰																																														
Sports Nutrition																																																	
履修年次:2~4年	2単位	後期	1コマ	定員:若干名																																													
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>競技者にとって良好なコンディションを維持し、競技力を向上させるためには栄養、運動ならびに休養のバランスが保たれていなければならない。このうち栄養はトレーニングの効果や競技成績に影響を及ぼす大変重要なものである。からだ作り・コンディション維持にかかわる栄養補給方法を科学的根拠に基づいた理論から学ぶことを目的とする。</p> <p>本講義では、からだ作り・コンディション維持に関連する栄養補給のために必要な栄養素の種類、量、摂取タイミングを知る。また、競技特性や期分け、環境、ライフステージに合わせた適切な食事摂取を理解し実践できることを目標とする。</p>																																																	
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>スポーツ栄養学の概念</td> <td>スポーツ栄養学の概念、栄養学の基礎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>食事摂取の基本</td> <td>競技者における食事の基本形</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>トレーニングとエネルギー消費量</td> <td>身体活動や競技特性の違いによるエネルギー消費量</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>スポーツ競技者の身体組成と貯蔵エネルギー</td> <td>身体組成の測定方法、競技別の身体特性</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>エネルギー補給</td> <td>体内におけるエネルギー代謝過程</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>炭水化物摂取</td> <td>グリコーゲンの貯蔵および回復のための糖質摂取</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>たんぱく質摂取</td> <td>からだ作りのためのたんぱく質摂取および増量</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>水分補給</td> <td>熱中症予防と運動時に必要な水分補給</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>女性アスリートと食事</td> <td>女性アスリートの三主徴、貧血予防と食事</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>カルシウム摂取</td> <td>骨づくりのためのカルシウム摂取</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ビタミン摂取</td> <td>コンディション維持のためのビタミン摂取</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>期分けによる栄養補給方法①(準備期)</td> <td>外食、生活環境と食事、体重管理と食事</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>期分けによる栄養補給方法②(試合期)</td> <td>体調への配慮、補食の摂取</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>サプリメント</td> <td>正しいサプリメントの使用法およびドーピング</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>本講義の復習</td> </tr> </table>					1	スポーツ栄養学の概念	スポーツ栄養学の概念、栄養学の基礎	2	食事摂取の基本	競技者における食事の基本形	3	トレーニングとエネルギー消費量	身体活動や競技特性の違いによるエネルギー消費量	4	スポーツ競技者の身体組成と貯蔵エネルギー	身体組成の測定方法、競技別の身体特性	5	エネルギー補給	体内におけるエネルギー代謝過程	6	炭水化物摂取	グリコーゲンの貯蔵および回復のための糖質摂取	7	たんぱく質摂取	からだ作りのためのたんぱく質摂取および増量	8	水分補給	熱中症予防と運動時に必要な水分補給	9	女性アスリートと食事	女性アスリートの三主徴、貧血予防と食事	10	カルシウム摂取	骨づくりのためのカルシウム摂取	11	ビタミン摂取	コンディション維持のためのビタミン摂取	12	期分けによる栄養補給方法①(準備期)	外食、生活環境と食事、体重管理と食事	13	期分けによる栄養補給方法②(試合期)	体調への配慮、補食の摂取	14	サプリメント	正しいサプリメントの使用法およびドーピング	15	まとめ	本講義の復習
1	スポーツ栄養学の概念	スポーツ栄養学の概念、栄養学の基礎																																															
2	食事摂取の基本	競技者における食事の基本形																																															
3	トレーニングとエネルギー消費量	身体活動や競技特性の違いによるエネルギー消費量																																															
4	スポーツ競技者の身体組成と貯蔵エネルギー	身体組成の測定方法、競技別の身体特性																																															
5	エネルギー補給	体内におけるエネルギー代謝過程																																															
6	炭水化物摂取	グリコーゲンの貯蔵および回復のための糖質摂取																																															
7	たんぱく質摂取	からだ作りのためのたんぱく質摂取および増量																																															
8	水分補給	熱中症予防と運動時に必要な水分補給																																															
9	女性アスリートと食事	女性アスリートの三主徴、貧血予防と食事																																															
10	カルシウム摂取	骨づくりのためのカルシウム摂取																																															
11	ビタミン摂取	コンディション維持のためのビタミン摂取																																															
12	期分けによる栄養補給方法①(準備期)	外食、生活環境と食事、体重管理と食事																																															
13	期分けによる栄養補給方法②(試合期)	体調への配慮、補食の摂取																																															
14	サプリメント	正しいサプリメントの使用法およびドーピング																																															
15	まとめ	本講義の復習																																															
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>なし</p>																																																	
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>著者:清野隼(2018) 書名:パフォーマンスを高めるためのアスリートの栄養学 出版社:ナツメ社  著者:鈴木志保子(2018) 書名:理論と実践 スポーツ栄養学 出版社:日本文芸社  著者:高田和子(2020) 書名:エッセンシャル スポーツ栄養学 出版社:杏林舎</p>																																																	
<p><b>【講義会場等】</b></p>																																																	
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>受講態度・学習意欲・課題 30%、定期試験 70%</p>																																																	

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

環太平洋大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真 貼付／要 (身分証明書用)
------------------------

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月 日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 -  Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：【先着順】後期：9月18日(水)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
----	------	----	------	----	-----	------	----	-------	------	----

対面授業科目

08001	スポーツ栄養学	専門	保科 圭汰	2	後期	2~4	定員：若干名	月	10:45~12:15		
-------	---------	----	-------	---	----	-----	--------	---	-------------	--	--

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (9) 吉備国際大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	春学期	2024年4月5日	～	2024年7月26日
	秋学期	2024年10月2日	～	2025年1月30日
試験期間	春学期	2024年7月29日	～	2024年8月10日
	秋学期	2025年1月31日	～	2025年2月14日
授業時間	1限	9:30	～	11:00
	2限	11:10	～	12:40
	3限	13:30	～	15:00
	4限	15:10	～	16:40
	5限	16:50	～	18:20

### ② アクセス(案内図)

【公共交通機関】

吉備国際大学 高梁キャンパス  
 JR 伯備線 備中高梁駅 下車  
 備中高梁駅から 徒歩 20分 バス 6分

吉備国際大学 岡山キャンパス  
 JR 瀬戸大橋線 大元駅 下車  
 大元駅から 徒歩10分



③ 担当窓口

スチューデントサポートセンター 教務部 教務課	
所在地:	岡山県高梁市伊賀町8 3号館1階 事務室内
電話:	0866-22-7779

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。  
所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

初回授業で来学の際に印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明を行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課(3号館)窓口まで来てください。

・ 施設利用

図書館については、受講生所属大学の学生証をカウンターに提示し、その場で登録手続きした後、利用できます。

・対面授業科目

対面授業			09001	
授業科目名：社会学			担当教員氏名：赤坂 真人	
Sociology				
履修年次：1～4	2単位	秋学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻、AIの進化と社会変動などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学とは何か</li> <li>2. 他の社会科学・人間科学との違い</li> <li>3. 社会学は何の役に立つのか</li> <li>4. 世界の人口動向</li> <li>5. 日本の人口問題：少子高齢化</li> <li>6. 家族とは何か</li> <li>7. 急速に変容する現代家族</li> <li>8. 現代家族の諸問題</li> <li>9. 教育が個人と社会に果たす役割</li> <li>10. 教育の諸問題：いじめ・ひきこもり</li> <li>11. 教育の諸問題：教員の多忙化と燃え尽き</li> <li>12. 産業と労働：伝統的な分類と産業形態</li> <li>13. 知識・情報産業社会からIT社会へ</li> <li>14. AIの進化と産業・労働の変容</li> <li>15. 日本経済の長期的衰退と将来設計</li> <li>16. 定期試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  『基礎社会学』赤坂真人 ふくろう出版(西日本事業出版)  ISBN:978-4861864278</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  『社会学』長谷川公一(他)編(有斐閣) ISBN:978-4641-053892</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト(40%)・定期試験(60%)によって評価する。小テストや小論文は採点し、コメントを加えて返却するので必ず復習すること。</p>				

対面授業			09002	
授業科目名：生涯スポーツ論			担当教員氏名：羽野 真哉	
CAREER SPORTS TRAINING 1				
履修年次：1～4	2単位	秋学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」のもつ意味が多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。</p> <p>具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。</p> <p>これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通じたスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 生涯スポーツ</li> <li>3. 発育・発達</li> <li>4. 発育・発達とスポーツ</li> <li>5. 健康寿命・フレイル</li> <li>6. 健康とは</li> <li>7. 休養とは</li> <li>8. 睡眠とは</li> <li>9. 体力とは</li> <li>10. 体内時計</li> <li>11. ストレスとスポーツ</li> <li>12. 健康と飲酒</li> <li>13. トレーニングとは</li> <li>14. 教育とスポーツ</li> <li>15. 競技スポーツと生涯スポーツ</li> <li>16. 試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>生涯スポーツの理論と実際 日下裕弘(著)、加納弘二(著) 大修館書店</p> <p>ISBN 978-4469266986</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>生涯スポーツ実践論 野川春夫(著)、川西 正志(著) 市村出版 ISBN978-4902109290</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を 50%とし、レポートの記述内容 30%、授業での積極的発言など授業態度を 20%とする。</p>				

対面授業				09003	
授業科目名：健康支援と社会保障制度			担当教員氏名：本郷 貴士		
Theory of Administration for Health and Social Welfare					
履修年次：2	1単位	春学期	1コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>  人の生命に関わるすべての職種は保健医療福祉の各法に準拠した実践活動を基盤とする。社会情勢の変化や背景に応じ、様々な制度改革と新たな法の整備がなされている。また、地域看護や公衆衛生看護活動は、関係機関と協働した支援や健康政策への企画立案の能力が求められることから、広範囲な見識が必要となる。そこで、わが国における医療・高齢者・精神保健・母子保健の関係法規や地域保健法を中心とした法律・制度・政策の動向を学習する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護職の根拠法：保健師看護師助産師法</li> <li>2. 保健医療福祉行政が目指す健康支援</li> <li>3-4 社会保障制度 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)概念・目的・機能・体系</li> <li>(2)内容、社会保障給付費</li> </ol> </li> <li>5-7 医療保障制度 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)構造と体系</li> <li>(2)健康保険と国民健康保険</li> <li>(3)高齢者医療制度、公費負担医療、国民医療費、保険診療のしくみ</li> </ol> </li> <li>8-11 介護保険制度 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)介護保険制の趣旨・概要</li> <li>(2)地域包括ケアシステム</li> <li>(3)仕組みと給付</li> <li>(4)介護保険制度のサービス</li> </ol> </li> <li>12. 所得保障</li> <li>13. 公的扶助</li> <li>14. 社会福祉制度</li> <li>15. 雇用保険と労災保険</li> <li>16. 筆記試験</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度3 医学書院  公衆衛生がみえる (medic media)</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  国民衛生の動向 (厚生労働統計協会)  国民福祉と介護の動向、看護法令要覧</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  最終試験以前の講義出席が2/3以上であることを基礎条件とする。  評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義の区切りで復習を中心としたレポート提出を4回行い、20%で評価する。また、小テストを2回行い、20%で評価する。</li> <li>2. 最終試験は60%で評価する。</li> <li>3. 総合評価点をもって、学則における「学習の評価」とする。</li> </ol> <p>実施した課題や演習は授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。</p>					

対面授業				09004
授業科目名 : リハビリテーション概論			担当教員氏名 : 河村 顕治	
Introduction to Rehabilitation				
履修年次:1~4	1単位	春学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成 12 年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。障害者スポーツの意義についても講義を行う。  リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーションとは</li> <li>2. 障害のとらえかた</li> <li>3. リハビリテーション医学の歴史</li> <li>4. リハビリテーション医学の実際</li> <li>5. 機能障害の評価(ROM)</li> <li>6. 機能障害の評価(MMT)</li> <li>7. 活動の評価(ADL)</li> <li>8. QOL の評価</li> <li>9. 理学療法</li> <li>10. 作業療法</li> <li>11. 言語聴覚療法</li> <li>12. 補装具、自助具</li> <li>13. 社会保障体制</li> <li>14. 公的介護保険制度と地域リハ</li> <li>15. スポーツとリハビリテーション</li> <li>16. 単位認定試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  リハビリテーション医学 第 1 版 羊土社 安保雅博／監, 渡邊 修, 松田雅弘／編  ISBN: 978-4-7581-0231-5</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  A 定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。</p>				

対面授業			09005	
授業科目名：作業療法概論			担当教員氏名：京極 真 他	
Introduction to Occupational Therapy				
履修年次：1～4	1単位	春学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。また、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p> <p>具体的には、作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、作業とは何か</li> <li>2. 作業療法の対象、Enabling occupation</li> <li>3. 身体障害領域の作業療法</li> <li>4. 精神障害領域の作業療法</li> <li>5. 高齢者・認知症の作業療法</li> <li>6. 作業療法の歴史(起源)</li> <li>7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト)</li> <li>8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル)</li> <li>9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM 他)</li> <li>10. 高次脳機能障害領域の作業療法</li> <li>11. 発達障害領域の作業療法</li> <li>12. 予防領域の作業療法</li> <li>13. 作業療法における研究の重要性</li> <li>14. 生活行為向上マネジメント</li> <li>15. 作業療法を取り巻く状況、まとめ</li> <li>16. 試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>作業療法学概論(標準作業療法学専門分野第3版)。二木淑子・能登真一編、医学書院、2016</p> <p>「作業」って何だろう～作業科学入門 第2版。吉川ひろみ著、医歯薬出版、2017</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野)。濱口豊太・他編、医学書院、2017</p> <p>作業療法士になろう！ 齋藤さわ子著、青弓社、2017</p> <p><b>【注意事項】</b>:テキストの指定頁を含め、必ず予習・復習をすること</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価</p>				

対面授業				09006	
授業科目名: 子どもの心理発達			担当教員氏名: 森井 康幸		
Psychological development in childhood					
履修年次: 1~4	2 単位	秋学期	1コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>  系統発生的な視点を取り入れながら、とくに子ども期に焦点を当てて、ヒト・人間の発達・発生をとらえることをテーマとし、動物としてのヒト発達の特殊性や共通性を知り、発達心理学の幅広い知識を習得するとともに、心理学的な考え方を理解することを到達目標とする。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 発達における生物学的基盤</li> <li>3. 胎児にできること</li> <li>4. 新生児の見る世界、聴く世界</li> <li>5. 発達初期の不思議</li> <li>6. 母子相互作用を促進する仕組み</li> <li>7. 愛着形成と親子関係</li> <li>8. 愛着関係に影響する要因</li> <li>9. 愛着剥奪の事例</li> <li>10. 幼児期の認知発達</li> <li>11. 遊びと認知発達</li> <li>12. 遊びと仲間関係</li> <li>13. ことばの前のことば</li> <li>14. ことばの発達</li> <li>15. まとめ</li> <li>16. 試験</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  乳幼児のこころ 遠藤・佐久間・徳田・野田 ISBN:978-4-641-12429-5 有斐閣</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  幼児心理学への招待(改訂版)内田伸子 ISBN:978-4781911823 サイエンス社</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  評価は小テスト(30%)、定期試験(70%)の結果に受講態度を勘案し総合的に評価する。小テストは採点后、フィードバックとして返却するので、定期試験に向けてしっかり見直しておくこと。</p>					

対面授業				09007	
授業科目名：美術史 A			担当教員氏名：前嶋 英輝		
Art History A					
履修年次：2～4	2単位	春学期	1コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>          具体的な美術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、日本美術を中心に概観する。また自分で選んだ美術作品について考えをまとめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。美術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を理解することが重要である。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アニメーションと北斎漫画</li> <li>2. 縄文・弥生・古墳時代</li> <li>3. 日本とシルクロードの美術</li> <li>4. 飛鳥と仏教美術</li> <li>5. 平安と絵巻物</li> <li>6. 鎌倉・室町と水墨画</li> <li>7. 安土桃山時代</li> <li>8. 江戸時代</li> <li>9. 浮世絵</li> <li>10. 美術史とマンガ</li> <li>11. 美術史とゲーム</li> <li>12. 美術史とイラスト</li> <li>13. 美術史とアニメーション</li> <li>14. 近代日本美術</li> <li>15. 現代美術</li> <li>16. 単位認定試験</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>          必要に応じプリントを配付する</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          概説日本美術史 町田甲一 吉川弘</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          テーマ「美術史とアニメーション文化の理解」について、知識および能力を計るために定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(40%)、プレゼンテーション能力を判定するための課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するための毎回の小レポート(30%)を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。</p>					



対面授業			09008	
授業科目名: ディスカッション英語			担当教員氏名: ジョン・フォーセット	
Discussion English				
履修年次: 2~4	2単位	秋学期	1コマ	
【授業の目的】 社会問題等の物事について意見交換と説明ができる英語表現力を身につける。				
【授業内容】 1. コース紹介など 2. ウINSTON・チャーチル 3. ミハエル・ゴルバチョフ 4. ロバート・キャパ 5. アンネ・フランク 6. ジークムント・フロイト 7. アルベルト・アインシュタイン 8. フランツ・カフカ 9. パブロ・ピカソ 10. ココ・シャネル 11. ジョン・レノン 12. チャールズ・チャプリン 13. J・K・ローリング 14. オードリー・ヘップバーン 15. プレゼン「私のアイコン」 16. 定期試験				
【テキスト】 European Icons Eric Gerwehr / Yugo Tada 山口書店 (ISBN978-4-8411-1464-5 C7082)				
【参考図書】 授業中に適宜資料を配付する。				
【成績評価の方法】 定期試験の成績(40%)、予習・レポート・プレゼン・授業姿勢(60%)				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

吉備国際大学学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：前期：4月8日(月)まで 後期：9月24日(火)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
09001	社会学	教養	赤坂 真人	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40		
09002	生涯スポーツ論	教養	羽野 真哉	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00		
09003	健康支援と社会保障制度	専門	本郷 貴士	1	春学期	2~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00		
09004	リハビリテーション概論	専門	河村 顕治	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	水 15:10~16:40		
09005	作業療法概論	専門	京極 真 他	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	金 13:30~15:00		
09006	子どもの心理発達	専門	森井 康幸	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 13:30~15:00		
09007	美術史 A	専門	前嶋 英輝	2	春学期	2~4	高梁キャンパス開講	金 11:10~12:40		
09008	ディスカッション英語	専門	ジョン・フォーセット	2	秋学期	2~4	岡山キャンパス開講	水 13:30~15:00		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (10) 倉敷芸術科学大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月10日	～	2024年8月6日
	後期	2024年9月25日	～	2025年2月4日
授業時間	1限	09:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:55	～	16:25
	5限	16:40	～	18:10

### ② アクセス(案内図)

#### 倉敷芸術科学大学へ

##### 【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

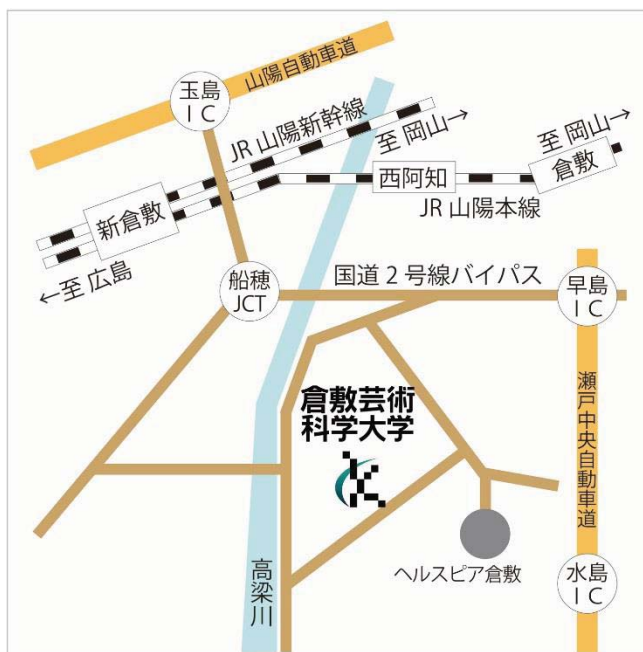
大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約20分です。

##### 【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約15分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<https://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

学務部教務課	
所在地:	本館(3号)2階
電話:	086-440-1117

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込を以下の期限まで受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
前期:3月29日(金)まで 後期:9月13日(金)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課(3号館2階)へ来てください。

集中講義を受講される場合は、9月25日~27日・9月30日~10月1日の間で教務課(3号館2階)へ来てください。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/>

・対面授業科目

対面授業(教養科目)			10001
倉敷まちづくり実践論			橋元 純也
Practice of Kurashiki Community Development			
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  倉敷市内(倉敷地域・水島地域・児島地域・玉島地域、および真備地区・船穂地区・庄地区・茶屋地区)を対象とする〈地域フィールドワーク〉実践や〈まちづくり提言〉作成を通じて、地域社会の自立した構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍・貢献するために必要となる実践的な意識・知識・能力を育成することを目的とする。  第1～3回で、本科目の地域連携科目としての位置づけや、倉敷のまちづくりについて確認したうえで、地域フィールドワークの方法をまなび、その計画を作成する。第4～6回で、みずからの計画に沿って、倉敷市内の地域・施設・行事などを対象として地域フィールドワークを実践する。第7～9回で、実践した地域フィールドワークの成果について、報告・共有をおこなう。第10～12回で、必要に応じて地域フィールドワーク実践・データ収集・文献研究を追加し、まちづくり提言を作成する。第13～15回で、作成したまちづくり提言の発表・共有をおこなったうえで、最終提出への準備をおこなう。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1.倉敷のまちづくりを理解したうえで〈地域フィールドワーク〉を主体的に計画できる。  2.計画に沿った〈地域フィールドワーク〉を積極的に実践できる。  3.実践した〈地域フィールドワーク〉の成果をふまえ、独自の〈まちづくり提言〉を作成できる。  4.明快なプレゼンテーション資料を作成して効果的に発表するとともに、他者の発表を適切に評価できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  〈地域フィールドワーク〉〈まちづくり提言〉について、計画・内容・発表資料の見直しを随時おこない、必要に応じて担当教員に相談し指導を受けること。</p> <p><b>【注意事項】</b>  10/5土・12/7土・1/25土にすべて参加し、その間におこなうフィールドワークについて説明をうけることが、単位修得の前提となるので、下記日程をよく確認したうえで履修登録すること。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  01.【10/5土3限目】科目概要ガイダンス / フィールドワークの説明  02.【10/5土4限目】〈地域フィールドワーク〉計画 下書き作成・相談  03.【10/5土5限目】〈地域フィールドワーク〉計画 再検討・修正・提出  04. 〈地域フィールドワーク〉の実践  05. データ収集・文献研究の実践  06. 〈地域フィールドワーク〉報告のプレゼン資料作成  07.【12/7土3限目】〈地域フィールドワーク〉報告・前半  08.【12/7土4限目】〈地域フィールドワーク〉報告・後半  09.【12/7土5限目】〈まちづくり提言〉作成相談と計画提出  10. 〈地域フィールドワーク〉実践  11. データ収集・文献研究の実践  12. 〈まちづくり提言〉のプレゼン資料作成  13.【1/25土3限目】〈まちづくり提言〉発表・前半  14.【1/25土4限目】〈まちづくり提言〉発表・後半  15.【1/25土5限目】〈まちづくり提言〉最終提出にむけて相談</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  指定教科書なし。毎回、資料を配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  なし。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b></p>			

取りくみと提出物の状況・内容を以下のように評価し、総合計 60 点以上を合格とする。

〈地域フィールドワーク〉計画の状況・内容(20%) : 到達目標 1 を評価

〈地域フィールドワーク〉報告の状況・内容(40%) : 到達目標 2・4 を評価

〈まちづくり提言〉の状況・内容(40%) : 到達目標 3・4 を評価

対面授業(芸術学部)			10002	
メディア・アート論			大森 隆	
Media Art				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  新しいメディア環境に対応した芸術表現として様々なメディア・アート作品を紹介し、テクノロジーとアートの関係を理解し、メディア・アートの本質を考察する。  メディア・アートとは、工学などの先端技術を取り入れたアートで、近年はコンピュータをはじめとするデジタルメディアの発展に伴い、インタラクティブアートが注目されている。</p> <p><b>【アクティブラーニング】</b>  各分野のメディア・アートについて調べ、プレゼンテーションによる発表を行う。</p> <p><b>【フィードバック】</b>  課題に対する講評等のフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 多様なメディア・アートを理解し説明できる。  2 テクノロジーとアートの関係を理解し説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>学習時間の目安：合計 60 時間  ・各分野のメディア・アートについて調べ理解を深める。  ・授業内で発表を行うために調査と準備を行う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディア・アートとは？</li> <li>2. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 最新)</li> <li>3. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 1-3 年前)</li> <li>4. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 昨年)</li> <li>5. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 2-4 年前)</li> <li>6. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 5-7 年前)</li> <li>7. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 8-10 年前)</li> <li>8. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 11 年以前)</li> <li>9. メディア・アート分野紹介(インタフェース・デバイス アート)</li> <li>10. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 最新)</li> <li>11. 受講者 発表(1)</li> <li>12. 受講者 発表(2)</li> <li>13. 受講者 発表(3)</li> <li>14. 受講者 発表(4)</li> <li>15. 受講者 発表(5)</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む態度・姿勢(40%)、発表内容(60%)に基づいて総合的に評価する。  到達目標1は授業に取り組む態度・姿勢から、到達目標2は発表内容により評価する。  総合計 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(芸術学部)				10003
絵画基礎Ⅲ				田丸 稔
Basic Painting Ⅲ				
履修年次2～4	2単位	前期	2コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          絵画表現の基礎的な理解を踏まえた上で、写真や映像、コンピューター、インターネットを活用した作品のプレゼンテーション等について実技を交えた考察を行う。          その上で、デジタルメディアを活用した絵画表現や展示等を行う。  <b>【アクティブラーニング】</b>自らの作品に関してプレゼンテーションを行う。  <b>【フィードバック】</b>作品に対する講評についてフィードバックを含めた指導を行う。  <b>【到達目標】</b>          1.リアルな展示空間とバーチャルな展示空間の両者における作品展示の差異を理解できる。          2.SNS を自作作品発表のプラットフォームとして効果的に活用することができる。          3.ネット上のコンテンツとしての絵画作品の意味を理解することができる。          4.自身の表現世界を深め、あるいは広げることができる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>学習時間の目安：合計 30 時間          ・写真、映像、インターネットなどの素材を活用して作家や作品について調べる。          ・インターネット上で最新の作家についての情報を得ることができる。          ・授業外でも各自の制作を行う。          ・模写制作終了後、研究内容に関するレポートを提出する。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1 回目：オリエンテーション(授業の目的と概要について) 2 回目：リアルとバーチャルいずれも想定した作品の構想1 3 回目：リアルとバーチャルいずれも想定した作品の構想2 4 回目：課題 1 絵画作品の制作 1 5 回目：課題 1 絵画作品の制作 2 6 回目：課題 1 絵画作品の制作 3 7 回目：課題2絵画作品の制作1 8 回目：課題2絵画作品の制作2 9 回目：課題2絵画作品の制作3 10 回目：課題3絵画作品の制作1 11 回目：課題3絵画作品の制作2 12 回目：課題3絵画作品の制作3 13 回目：課題4 SNS 上へのUPとサイト作成 14 回目：課題4 過去の作品も含めたサイト充実化 15 回目：課題4 各自サイトと作品のプレゼンテーションとまとめ				
<b>【テキスト】</b>				
適宜指示する。				
<b>【参考図書】</b>				
成羽美術館作品図録他、適宜提示する。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
SNS を活用したポートフォリオ作成65%(到達目標1、2、3、4の評価)、およびレポート提出 35%(到達目標1、2、3、4の評価)。				



対面授業(生命科学部)			10004	
水族飼育技術論			山野 ひとみ	
Breeding Technology of Aquatic Animals				
履修年次2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  水族の飼育は、生物の収集から輸送、収容、維持・管理までの一連の過程から成り、その過程で発生する社会的、生物学のおよび技術的な問題を解決することで成立する。授業では、水族飼育の基本的な流れを解説するとともに、飼育の過程で発生する様々な問題を取りあげ、その解決方法を紹介する。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 水族飼育の基礎から専門知識を身につけることができる。  2 各分類群の特徴を踏まえ、飼育過程における問題点およびその解決法を理解し説明できるようになる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計 60 時間  予習:LMS に提示する資料を読む(各回 2 時間)。  復習:課題レポートを毎回出題するため、授業内容を整理しておく(各回 2 時間)。</p> <p><b>【授業内容】</b>  1. 水族を飼育するために  2. 水族の収集と輸送  3. 飼育設備  4. 飼育水の浄化  5. 水族の飼育環境と病気  6. 水族の病気  7. 水族の餌料と栄養  8. 魚類の餌料と栄養  9. 無脊椎動物の餌料  10. 水族の繁殖  11. 水族の保存  12. 水族の保護  13. 水産養殖  14. 水産育種  15. 試験</p> <p><b>【テキスト】</b>  講義資料としてプリントを配布する。</p> <p><b>【参考図書】</b>  渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店) 日本動物園水族館協会編「新・飼育ハンドブック」1~4巻、間野伸宏・鈴木伸洋 共編著「水族育成学入門」(成山堂)、児玉 洋監修「魚病学」(緑書房)</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。  レポート 40%:到達目標 1 を評価  試験 60%:到達目標 1、2 を評価</p>				

対面授業(生命科学部)			10005	
生活習慣病予防			椎葉 大輔 他	
Prevention of Lifestyle-related Diseases				
履修年次2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  運動不足、栄養過剰、不規則な生活、ストレス増大などにより生活習慣病のリスクが増している。また、近年では生活習慣に起因する代謝異常が児童期から見られることから、生活習慣病予防に関する知見は幼児や児童を対象とする者にとっても重要な知識である。本授業では、生活習慣病の原因・治療法および運動処方や栄養摂取について学び、健康科学分野における専門的知識・技能を身につけ、適切な運動処方や食生活指導を実施できる人材の育成を目標としている。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 各疾患の基本メカニズムについて理解し説明できる。  2 各疾患を予防する上で生活習慣病として共通する部分と疾病別に分けて考えるべき部分を、運動と食事の知識に基づき系統立てて理解し説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計60時間  授業の理解度についてLMSで理解度確認チェック(小テスト)を行うので、授業で学んだ内容について復習すること(各4時間)。また予習については、各回講義終了時に指示する。</p> <p><b>【連絡事項】</b>15回目に期末試験を実施する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 メタボリックシンドロームについて(大川・椎葉)  第2回 肥満症(1)(椎葉・大川)  第3回 肥満症(2)(矢田貝・大川)  第4回 脂質異常症(高尿酸血症)(1)(椎葉・大川)  第5回 脂質異常症(高尿酸血症)(2)(矢田貝・大川)  第6回 糖尿病(1)(椎葉・大川)  第7回 糖尿病(2)(矢田貝・大川)  第8回 高血圧症(1)(椎葉・大川)  第9回 高血圧症(2)(矢田貝・大川)  第10回 虚血性心疾患とリハビリテーション(椎葉・大川)  第11回 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、運動誘発性喘息)(矢田貝・大川)  第12回 ロコモティブシンドローム(椎葉・大川)  第13回 がん(悪性新生物)(矢田貝・大川)  第14回 運動器退行性疾患(椎葉・大川)  第15回 軽度認知障害、認知症(大川)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない(スライドおよび配布資料をもとに授業を行う)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ6 健康づくりのための運動の科学」・鶴木 秀夫 編集・化学同人・ISBN:978-4759817102</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む姿勢 10%(到達目標1、2)、小テスト 20%(到達目標1、2)、期末試験 70%(到達目標1、2)で評価する。総合点60点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10006	
動物行動学			唐川 千秋	
Animal behavior and psychology				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると思うのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にはなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。  (2)動物の学習原理を理解する。  (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p><b>【授業外学習】</b></p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。  復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。  各章末の問題を解く。  指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは  予習:P.3-8  復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応  予習:P.8-14  復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動  予習:P.17-26  復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動、母性行動  予習:P.29-39  復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動  予習:P.40-45  復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動  予習:P.46-54  復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ  予習:P.57-70  復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達  予習:P.73-78  復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達  予習:P.79-82  復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p><b>【課題1】</b>2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p>				

第 10 回 動物の学習原理(1)条件づけ

予習:P83-87

復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。

第 11 回 動物の学習原理(2)学習理論の展開

予習:P.88-93

復習:条件づけ理論の展開について理解する。

【課題 2】10-11 回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。

第 12 回 問題行動(1)問題行動と行動診療

予習:P.101-108

復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。

第 13 回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.109-130

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

第 14 回 問題行動(3)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.131-154

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

【課題 3】12-14 回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。

第 15 回 問題行動の予防

予習:P.154-176

復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。

【テキスト】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

ISBN:978-4-86671-160-7

【参考図書】

日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社 ISBN: 9784774172583

藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2

高木佐保 2021 知りたい! ネコごころ 岩波書店 ISBN:978-4-00-029692-2

【成績評価の方法】

課題 3 編 30%(課題 1 は到達目標 1、課題 2 は到達目標 2、課題 3 は到達目標 3 に対応する)、定期試験 70%(到達目標 1・2・3)の重みで評価する。総合計 60 点以上を合格とする。期末試験を受験していない場合は評価対象としない。

対面授業(生命科学部)				10007
医学概論				藤本 一満 他
The introduction to medical science				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          医学・医療・臨床検査・臨床検査技師の入門科目として、歴史から最新情報を講義する。本講義で医学の大切さ、医療の仕組み、臨床検査の重要性、臨床検査技師の業務内容の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1.医療における臨床検査技師の役割、業務内容、職場を説明できる。          2.人体の構造および癌について説明できる。          3.DNA、RNA、遺伝子について説明できる。          4.免疫および感染症について説明できる。          5.血球・免疫・凝固について説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>          学習時間の目安:復習を中心に合計 60 時間程度          ・講義内容は最新情報や時事問題についても取り上げるため、講義内容をよく聞き、復習を心掛ける。          ・講義内容の関連事項について自ら調べて、知識や理解を広げておく。          ・医療に関する新聞記事、ニュースに関心をもち、現代の医療状況、方向性、問題点を知る。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査技師とは(藤本)</li> <li>2. 医学検査・臨床検査のあゆみ(藤本)</li> <li>3. 病院と病気(藤本)</li> <li>4. 人体臓器の位置と大きさについて(野島)</li> <li>5. 人体臓器の働きと機能について(野島)</li> <li>6. 癌とは(野島)</li> <li>7. DNAとは、RNAとは(高木)</li> <li>8. 人類の進化と遺伝子(高木)</li> <li>9. ゲノム編集と治療(高木)</li> <li>10. 免疫学概論(山崎)</li> <li>11. 感染症学総論①(山崎)</li> <li>12. 感染症学総論②(山崎)</li> <li>13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部)</li> <li>14. 血栓止血の不思議について(渡部)</li> <li>15. 期末試験、授業総括(渡部)</li> <li>16. 予備日(藤本)</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> 配布プリント				
<p><b>【参考図書】</b>          特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          到達目標 1~5 に関して、期末試験(100%)で評価する。総合点 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10008	
基礎生理検査学			泉 礼司	
Basic Physiological Examination				
履修年次1～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 臨床生理学を学ぶために、人体の構造と機能の基本的知識を系統的に身につけ、生理学的検査の基礎を習得することを目的とする。ヒトの身体の臓器・器官・細胞が互いに関連しあって成り立っていることを理解し、人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を習得する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 1. 人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を理解し、説明することができる。</p> <p><b>【授業外学習】</b> 学習時間の目安:合計60時間 教科書と配布資料にて復習を行う。</p> <p><b>【注意事項】</b> ・医療現場における生理検査の習得に繋がる基礎内容知識となる。 ・講義中の録音、録画、撮影は、他の受講者の妨げにならない場合を許可するが、他者への再配布(ネット上へのアップロードを含む)は禁止する。 ・授業での資料配布や質問等、LMSを活用する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生理学的検査の目的</li> <li>2. 生理学的検査における臨床検査技師の役割</li> <li>3. 生理学的検査を行う上での注意事項</li> <li>4. 生理学的検査を行う上での患者の心理と対応</li> <li>5. 生理学的検査の医療現場(外来・病棟・手術室など)における多様なニーズ</li> <li>6. 医用機器の構造と取り扱い</li> <li>7. 生理学的検査における安全対策</li> <li>8. 生理学的検査における感染対策</li> <li>9. 患者急変時の対応(負荷試験時など)</li> <li>10. 患者急変時の対応(心肺蘇生法など)</li> <li>11. 手術室などでの生体情報モニタリングについて</li> <li>12. 循環呼吸生理学検査の基礎</li> <li>13. 神経生理学検査の基礎</li> <li>14. 超音波検査の基礎</li> <li>15. 期末試験、まとめ</li> <li>16. 試験解説</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 生理学(コメディカル専門基礎科目シリーズ)理工出版 ボロン ブールペーパー 生理学 西村書店 標準生理学 医学書院 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 到達目標1について期末試験で評価する。総合60点以上を合格とする。</p>				

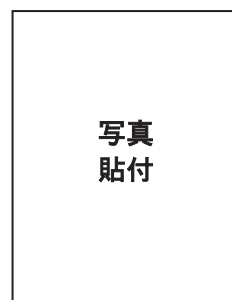
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

倉敷芸術科学大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭 和	平 成	年 月 日
現住所	〒				
	Tel ( )				

\* 履修受付締切日：前期：3月29日(金)まで 後期：9月13日(金)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
10001	倉敷まちづくり実践論	教養	橋元 純也	2	後期	1~4	定員 10名	集中 土 13:10~18:10		
10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	前期	1~4	定員 10名	木 13:10~14:40		
10003	絵画基礎Ⅲ	専門	田丸 稔	2	前期	2~4	定員 10名	木 14:55~18:10		
10004	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2~4	定員 10名	火 10:50~12:20		
10005	生活習慣病予防	専門	椎葉 大輔 他	2	前期	3~4	定員 5名	水 14:55~16:25		
10006	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10名	木 09:10~10:40		
10007	医学概論	専門	藤本 一満 他	2	前期	1~4	定員 10名	火 10:50~12:20		
10008	基礎生理検査学	専門	泉 礼司	2	後期	1~4	定員 10名	木 09:10~10:40		

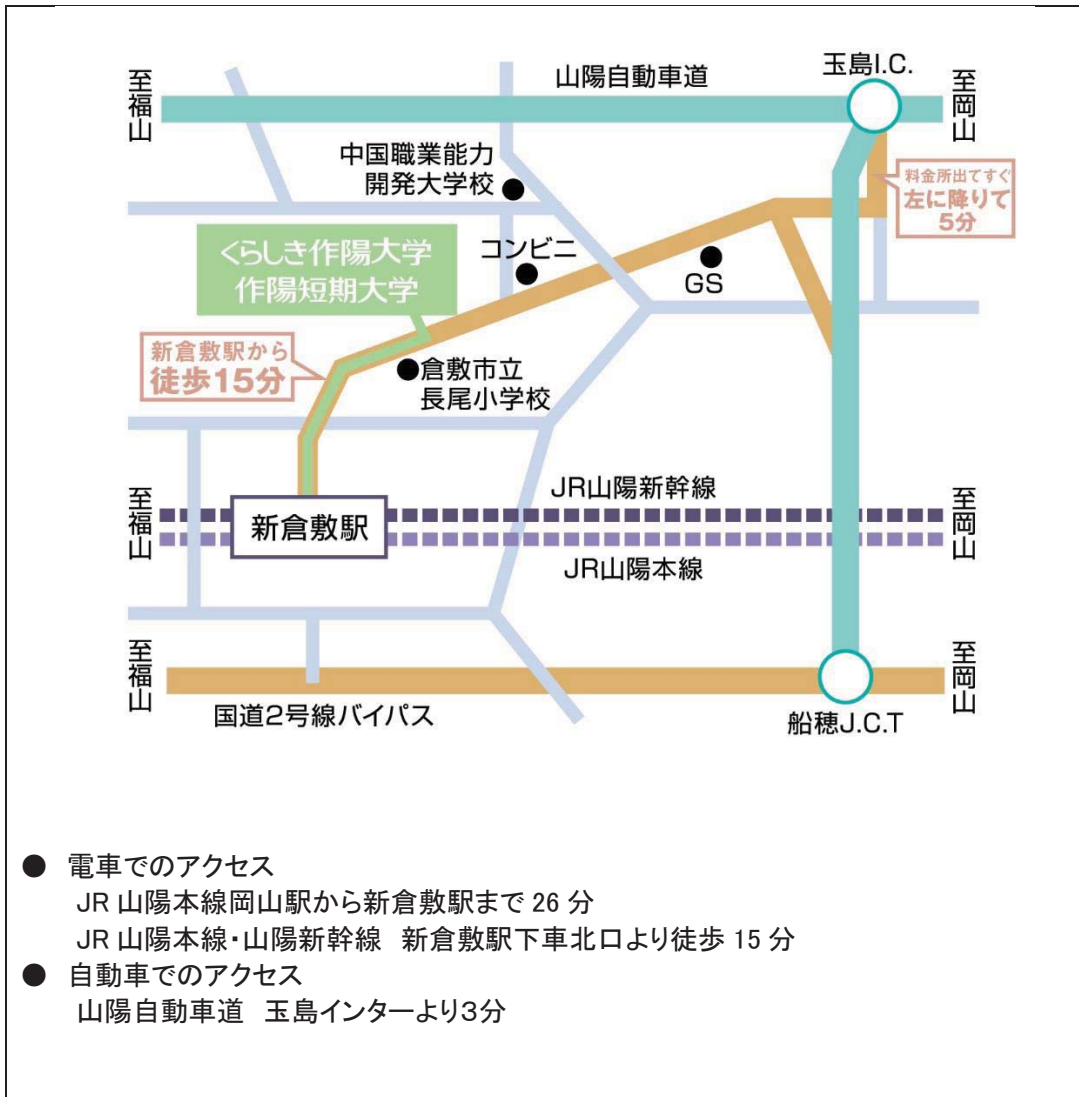
写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚

## (11)くらしき作陽大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月8日	～	2024年7月29日
	後期	2024年9月20日	～	2025年1月20日
試験期間	前期	2024年7月30日	～	2024年8月2日
	後期	2025年1月21日	～	2025年1月24日
授業時間	1限	9:30	～	11:00
	2限	11:10	～	12:40
	3限	13:25	～	14:55
	4限	15:05	～	16:35
	5限	16:45	～	18:15

### ② アクセス(案内図)





③ 担当窓口

教育企画部教育支援室	
所在地:	倉敷市玉島長尾 3515
電話:	086-523-0827

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:3月27日(水)まで、後期:9月5日(木)までとします。

・ 履修手続

所属大学の窓口に所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。  
対面授業履修者は初回授業受講時に、1号館1階事務局教育支援室窓口を訪ねてください。

・ 施設利用

本学学生と同様に図書館・食堂等の施設が利用できます。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://www.ksu.ac.jp/>  
<http://unipaweb.ksu.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

・対面授業科目

対面授業				11001
ロシア語 I			A. オランスカヤ	
Russian Language I				
履修年次1～4	1単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 入門、基礎レベルにおける活用、ロシア語能力検定、ロシア語検定の資格取得をめざす				
<b>【授業内容】</b> 1 挨拶、自己紹介の仕方 2 あなたは誰？これは何？返答の仕方 3 公式な場での挨拶 4 職業、専門、名刺交換 5 物語作文 6 構文：持っている(テーマ：私のもの) 7 アドレス交換の仕方 8 動詞：する、見る、読む、聞く 9 テーマ：趣味 10 テーマ：家、部屋、家具 11 テーマ：私の楽器 12 テーマ：民族料理、飲み物 13 テーマ：スタイル、流行、ドレスコード 14 テーマ：交通、動詞：定動詞／不定動詞 15 テーマ：祝日				
<b>【テキスト】</b> 適宜紹介する				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業態度(60%)、試験(40%)				

対面授業				11002
食統計学			松本 隆行	
Statistics for Food Science				
履修年次2~4	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計処理の重要性について理解する。</li> <li>・母集団と標本の意味を理解する。</li> <li>・基本統計量や分布について理解する。</li> <li>・データを適切に処理し、データの特性を数値、グラフで表現できるようになる。</li> <li>・数値やグラフから、データの特性を知ることができるようになる。</li> <li>・統計学検定により客観的判断ができるようになる。</li> </ul>				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 全体の授業計画および受講の心構えと授業の進め方などを説明する。</li> <li>2. 統計学の目的 具体的事例を通して、統計学の目的、重要性、汎用性について学ぶ。</li> <li>3. データの取り扱い データの種類とその特徴、取り扱いの違いについて理解する。</li> <li>4. データを記述する(1): データの特性量 データの特性を知る上で重要となる数値、基本統計量について理解する。</li> <li>5. データを記述する(2): データの視覚表現 データは、その特徴により、どのような種類に分類されるのかを理解し、適切なグラフ表現、あるいは、グラフの読み取りについて学ぶ。</li> <li>6. 分布の読み取りと比較 データの特性を知る上で重要となる分布の図式表現とその読み取りについて学ぶ。</li> <li>7. 頻度と確率 統計の基礎となる、確率について理解し、様々な確率分布を学ぶ。</li> <li>8. 母集団と標本 統計学の基礎となる母集団と標本の関係、および、標本抽出における注意について学ぶ。</li> <li>9. 標本から全体像を推測する(1) 標本から母数を推定するための基本的考え方について学ぶ。</li> <li>10. 標本から全体像を推測する(2) 確率分布を通して、事象の起こりやすさと、真偽の判定に関わる統計的仮設検定の基本的な考え方を理解する。</li> <li>11. 統計学的仮設検定(1) 標本から平均を検査する方法(t 検定)について学ぶ。</li> <li>12. 統計学的仮設検定(2) 分散分析(一元配置)について学ぶ。</li> <li>13. 統計学的仮設検定(3) <math>\chi</math> (カイ) 二乗検定等について学ぶ。</li> <li>14. 関係性の分析(1) 複数のデータ間の関係を調べる方法(相関分析)について学ぶ。</li> <li>15. 関係性の分析(2) データ間に潜む関係について探る方法(回帰分析)について学ぶ。</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> 武藤志真子 編著:『管理栄養士・栄養士のための統計処理入門』建帛社。				
<b>【参考図書】</b> 適宜提示する				
<b>【成績評価の方法】</b> 課題レポート 30%、課題への取り組み、姿勢 10%、小テスト 60%				
<b>【備考】</b> パソコン(Microsoft Excel 2010 以上インストール済み)を使用しますので持参して下さい。				

対面授業				11003
発達障害児教育総論			東川 博昭、他	
Introduction of Education for Children with Developmental Disabilities				
履修年次 1～4	2 単位	後期	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 発達障害(自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害等)の理解と支援のあり方について詳説する。特別支援学校教諭としての基礎知識とともに、特別支援学級や通常学級の担当教諭として発達障害の子ども達への理解と支援について学ぶ授業である				
<b>【授業内容】</b> 1 「発達障害児教育総論」の概要 2 自閉症(1)その歴史的理解と定義 3 自閉症(2)知的発達・言語発達 4 自閉症(3)社会性の障害 5 自閉症(4)コミュニケーションの障害、想像力の障害 6 自閉症(5)教育現場における支援、小テスト 7 学習障害(1)その歴史的理解と定義 8 学習障害(2)中心障害 9 学習障害(3)中心障害と併存障害 10 学習障害(4)教育現場における支援、小テスト 11 注意欠陥多動性障害(1)その歴史的理解と定義 12 注意欠陥多動性障害(2)注意欠陥障害 13 注意欠陥多動性障害(3)衝動性と多動性 14 学習障害(4)教育現場における支援、小テスト 15 まとめ				
<b>【テキスト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領』,海文堂出版</li> <li>・ 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)』,開隆堂出版</li> <li>・ 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』,開隆堂出版</li> <li>・ 『よくわかる発達障害[第2版]』,ミネルヴァ書房</li> <li>・ 『気になる子どもの支援ハンドブック～マルチアレンジングサポートのすすめ～』,社会福祉法人全国心身障害児福祉財団</li> <li>・ 別途資料を配布する。</li> </ul>				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末テスト(80%)、レポート(10%)、授業への参加度(10%)				

対面授業				11004
吹奏楽の歴史と魅力			長瀬 敏和、菅付 章宏	
The history and charm of brass bands				
履修年次 2～4	2 単位	前期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  吹奏楽活動の実際を、視聴覚機器等を通して紹介し、芸術的価値及び教育的価値を学ぶ。また、吹奏楽の編成楽器を個別に聴いたり演奏したりするなど体験的に学ぶ。さらに、吹奏楽の歴史にも触れ、吹奏楽の基礎を多角的に学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 私と吹奏楽(または音楽)個人の吹奏楽(音楽)との出会いを発表  2 吹奏楽の歴史と現在  3 マーチの魅力  4 吹奏楽の魅力  5 楽器の知識(木管)  6 楽器の知識(金管)  7 楽器の知識(打楽器)  8 移調楽器の取り扱い—基礎  9 移調楽器の取り扱い—応用  10 吹奏楽、アンサンブル編曲法—基礎編  11 吹奏楽、アンサンブル編曲法—応用編  12 演奏会企画の立て方、選曲について  13 合奏教本の選び方と使用方法  14 指揮法の基礎  15 総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  プリント(授業で提供する)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  (1)レポート(30%)(2)小テスト(30%)(3)授業への参加度・発言の積極性(40%)</p>				

対面授業				11005	
吹奏楽I			長瀬 敏和、他		
Brass bands I					
履修年次 1~4	2 単位	前期	2 コマ		
<p><b>【授業の目的】</b> 吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業実施のための環境整備</li> <li>2 世界のマーチ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>3 世界のマーチ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>4 世界のマーチ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>5 世界のマーチ(まとめ)、研究発表会の企画・立案</li> <li>6 マスターピース～ヨーロッパ楽曲の全体像を把握</li> <li>7 マスターピース～ヨーロッパ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>8 マスターピース～ヨーロッパ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>9 マスターピース～ヨーロッパ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>10 マスターピース～ヨーロッパ(まとめ)2. 研究発表会の演奏曲決定</li> <li>11 マスターピース～アメリカ楽曲の全体像を把握</li> <li>12 マスターピース～アメリカ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>13 マスターピース～アメリカ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>14 マスターピース～アメリカ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>15 マスターピース～アメリカ(まとめ)2. 研究発表会へ向けてのスケジュール決定</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b> 必要な時に担当者より指示、配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p>					

対面授業				11006
吹奏楽Ⅱ			長瀬 敏和、他	
Brass bands Ⅱ				
履修年次 1～4	2 単位	後期	2 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 1 ガイダンス、研究発表会マネジメントの確認、研究発表会プログラムの練習楽曲の全体像を把握 2 研究発表会プログラムの練習(基礎)楽曲分析、演奏スタイルの理解 3 研究発表会プログラムの練習(基礎)木管、金管打楽器、分奏 4 研究発表会プログラムの練習(応用)楽曲分析に基づく表現の研究 5 研究発表会プログラムの練習(応用)木管、金管打楽器、分奏 6 研究発表会プログラムの練習(発展)表現の可能性を探求 7 研究発表会プログラムの練習(発展)木管、金管打楽器、分奏 8 研究発表会プログラムの強化練習(定着)前半プログラム、合奏 9 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏 10 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏 11 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、分奏 12 研究発表会プログラムの強化練習(定着)全体プログラム、合奏および分奏 13 研究発表会プログラムの強化練習(定着)ランスルー、確認・修正 14 研究発表会(実践) 15 1年間の振り返り(まとめ)</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 必要な時に担当者より指示、配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p>				

対面授業				11007
和声学I			米倉 由起	
Harmony I				
履修年次 1~4	1 単位	前期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  「和声」は西洋音楽を理解する上で欠くことができない基礎知識です。演奏する上でも、作品を分析する上でも、曲を書く上でも、まずはじめに学習する領域といていいでしょう。「和声学 I」では基本となる主和音、下属和音、属和音、II の和音、VI の和音の配置や連結に際しての様々な約束事を四声体の実習を通じて学習します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容のガイダンスと和声学の予備知識の解説</li> <li>2 密集配分</li> <li>3 開離配分</li> <li>4 基本形連結</li> <li>5 共通音のない場合の連結</li> <li>6 II~V</li> <li>7 V~VI</li> <li>8 禁則①</li> <li>9 禁則②</li> <li>10 Cdur 以外の課題</li> <li>11 Cdur 以外の課題</li> <li>12 第1転回形</li> <li>13 第1転回形</li> <li>14 既習範囲のまとめ</li> <li>15 既習範囲のまとめ</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  和声 理論と実習 I 音楽の友社</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  提出課題(20%)試験(80%)</p>				



\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

くらしき作陽大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月 日	西暦 年		
			昭和・平成		年 月 日
現住所	〒		—		Tel ( ) —

\* 履修受付締切日：前期は3月27日(水)まで 後期は9月5日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
11001	ロシア語 I	教養	A.オランスカヤ	1	前期	1~4	曜日・時間については変更する場合がありますので、事前に開講大学までお問い合わせください。	水 11:10~12:40		
11002	食統計学	教養	松本 隆行	2	前期	2~4		木 9:30~11:00		
11003	発達障害児教育総論	専門	東川 博昭 他	2	後期	1~4		木 15:05~16:35		
11004	吹奏楽の歴史と魅力	専門	長瀬 敏和、 菅付 章宏	2	前期	2~4		月 9:30~11:00		
11005	吹奏楽I	専門	長瀬 敏和 他	2	前期	1~4		木 15:05~18:15		
11006	吹奏楽 II	専門	長瀬 敏和 他	2	後期	1~4		木 15:05~18:15		
11007	和声学I	専門	米倉 由起	1	前期	1~4		月 13:25~14:55		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (12) 山陽学園大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年 4月 8日	～	2024年 9月 20日
	後期	2024年 9月 24日	～	2025年 3月 31日
試験期間	前期	2024年 7月 29日	～	2024年 8月 2日
	後期	2025年 1月 28日	～	2025年 2月 3日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1



**直行バス**

JR岡山駅前 ①番のりば → 約20分 → 大学構内  
 始業時と終業時に直行バスを運行しています

**路線バス**

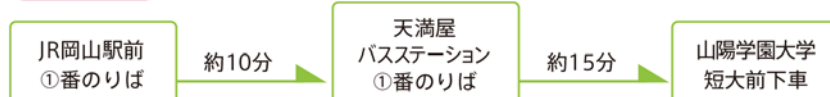
JR岡山駅前 ①番のりば → 約10分 → 天満屋バスステーション ①番のりば → 約15分 → 山陽学園大学 短大前下車

日中は10分おきに運行。岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車。  
 ■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き  
 ※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

#### 直行バス



#### 路線バス



路線バスは、日中15～20分おきに運行しています。

岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車ください。

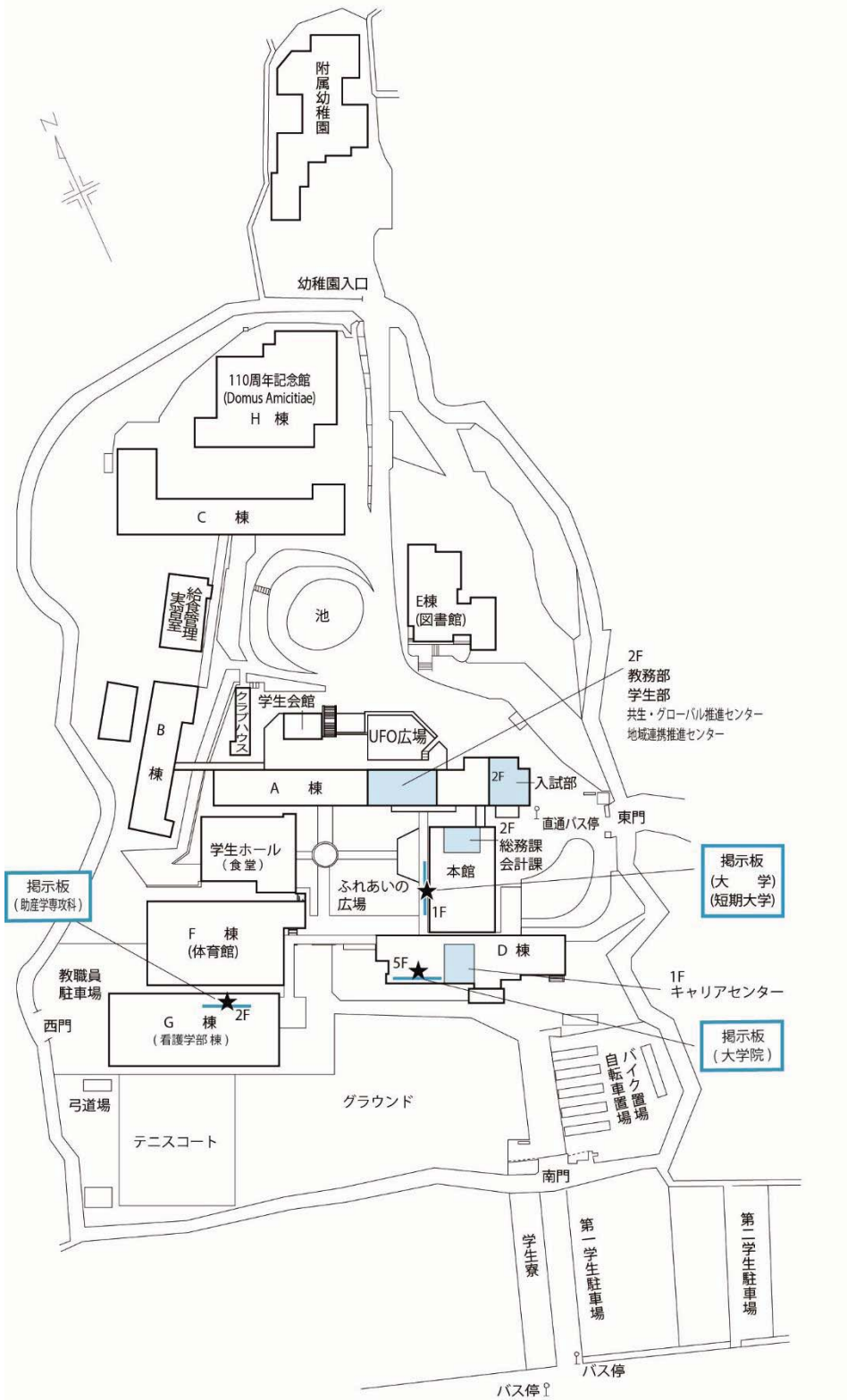
■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き

※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

③ 担当窓口

教務部教務課

所在地: A棟2階事務室



電話:

086-272-6254(代表), 086-901-0503(教務部直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

「出願方法について」の申込受付期間に記載のとおり

・履修手続

【対面授業科目を履修する方】

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。教務部窓口まで受け取りに来てください。書類の受け渡し、講義室の場所等の説明を行うため、初回は時間に余裕を持ってきてください。

- ①履修ガイド(抜粋)
- ②授業時間割表
- ③単位互換履修生証
- ④図書館利用案内
- ⑤駐車許可証(必要な方のみ)

・施設利用

【対面授業科目を履修する方】

山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。利用方法については窓口・受付等でお尋ねください。

・特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.sguc.ac.jp/student/syllabus/>

・対面授業科

対面授業			12001	
授業科目名:日中関係史			担当教員氏名:班 偉	
History of Japan—China Relations				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>日中関係は近年、尖閣諸島領有権などの問題を巡って悪化と好転を繰り返してきた。この講義では、様々な日中外交問題を取り上げて解説し、それぞれの背景・経緯・双方の言い分・交渉の過程などを解説しながら、日本国家の対中戦略並びに安全保障政策などについて分析する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回:日中外交の現状と問題点          第2回:国交正常化への道程          第3回:平和友好条約の締結          第4回:冷戦終結と両国関係の悪化          第5回:歴史認識を巡る三つ巴の闘い          第6回:靖国神社参拝を巡る対立          第7回:歴史教科書検定の問題          第8回:尖閣諸島の領有権を巡る衝突          第9回:東シナ海ガス田開発の問題          第10回:「有終の美」を飾る円借款          第11回:国連安保理常任理事国入りの問題          第12回:日米中の新三国志          第13回:ロシアとの三角関係          第14回:朝鮮半島を巡る駆け引き          第15回:アジア外交で綱引きを</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>高原明生 等編『日中関係史 1972－2012 政治』東京大学出版会 2012 年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>期末試験80%、出席点20%。欠席5回を超えると期末試験を受ける資格がなくなる。</p>				

対面授業			12002	
授業科目名: 日本文学特講			担当教員氏名: 佐藤 雅代	
Special Topics in Japanese Literature				
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> <p>『源氏物語』の中から様々な情景を選び出し、絵画化した「源氏絵」は、物語の成立からほとんど時を経ずして生み出された。中でも、平安時代後期に成立したと推定される国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』の絵画化例として現存最古のものである。「源氏絵」によって、『源氏物語』の作品世界がどのように創造され、享受されたのかを考察する。</p>				
<b>【授業内容】</b> 第1回: 授業のガイダンス 第2回: 源氏物語と絵画 第3回: 桐壺巻における絵画化の場面を読み解く 第4回: 夕顔巻における絵画化の場面を読み解く 第5回: 若紫巻における絵画化の場面を読み解く 第6回: 末摘花巻における絵画化の場面を読み解く 第7回: 葵巻における絵画化の場面を読み解く 第8回: 花散里巻における絵画化の場面を読み解く 第9回: 須磨巻における絵画化の場面を読み解く 第10回: 明石巻における絵画化の場面を読み解く 第11回: 蓬生巻における絵画化の場面を読み解く 第12回: 柏木巻における絵画化の場面を読み解く 第13回: 鈴虫巻における絵画化の場面を読み解く 第14回: 夕霧巻における絵画化の場面を読み解く 第15回: 御法巻における絵画化の場面を読み解く				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用せず、プリントを使用する。				
<b>【参考図書】</b> 『すぐわかる源氏物語の絵画』東京美術(田口榮一監修) ISBN 978-480870827 推薦図書『世界一わかりすぎる源氏物語』角川ソフィア文庫				
<b>【成績評価の方法】</b> 欠席6回で提出資格を失う。原則として、以下の基準で評価する。授業に取り組む姿勢30%、提出された課題70%				

対面授業				12003	
授業科目名: 日本作家作品研究			担当教員氏名: 高嶋 哲夫		
Study of Japanese Literary Writer and Work					
履修年次 2~4	2単位	集中9月	—		
<b>【授業の目的】</b> 小説とメディアの将来的なコラボレーションについて、担当者自身の例などから考慮する。活字と映像での表現の各種方法の違いを考えよう。 また、岡山県の文学についても紹介したい。					
<b>【授業内容】</b> 第1回: 自己紹介・小説家の仕事について 第2回: 小説家の仕事 第3回: 映画と小説 ~その関係性とできあがるまで~ 第4回: 映画と小説 ~実際に映画化された小説~ 第5回: マンガと小説の関係 第6回: 小説の書き方 第7回: 「三部作」ができるまで 第8回: 吉備路文学館について ~岡山の作家たち~ 第9回: 吉備路文学館について ~岡山の文学について~ 第10回: 15枚の小説 第11回: テレビドラマと小説 ~映画との違い~ 第12回: テレビドラマと小説 ~小説との関係性~ 第13回: 好きな小説 第14回: 何か書いてみよう 第15回: まとめ					
<b>【テキスト】</b> 特になし					
<b>【参考図書】</b> 『ミッドナイトイーグル』『イントルーダー』『風をつかまえて』(文春文庫) 『都庁爆破!』(宝島社文庫)、『首都崩壊』(幻冬舎文庫)、『いじめへの反旗』(集英社文庫)					
<b>【成績評価の方法】</b> レポート提出					

対面授業				12004
授業科目名:感情・人格心理学			担当教員氏名:松浦 美晴	
Psychology of Emotion and Personality				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれ、機能を果たしている。また、人格は、私たち一人ひとりの認知・感情・行動を特徴づけるものであり、そのとらえ方、考え方には様々なものがある。本講義では、感情・人格の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、解説してゆく。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:感情の基礎 第2回:感情の生物学的基礎 第3回:感情の理論(1)古典的理論 第4回:感情の理論(2)基本的感情説と次元説 第5回:感情と行動 第6回:感情の測定 第7回:援助行動・共感性 第8回:感情の制御 第9回:エンターテイメントと感情 第10回:人格の概念 第11回:知的機能の個人差 第12回:人格の形成と変容 第13回:人格の理論 第14回:性格5因子論 第15回:人格の障害				
<b>【テキスト】</b> プリントを配布する。ほかに必要があれば指示する。				
<b>【参考図書】</b> 濱 治世・鈴木直人・濱 保久 (2001)感情心理学への招待 サイエンス社				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。				



対面授業			12005	
授業科目名: 経営学概論			担当教員氏名: 西川 英臣	
Fundamentals of Management				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>経済は生産と消費から成り立っており、その中心に位置するのが企業です。経済学が経済現象について学ぶのだとすれば、経営学は経済のメインプレイヤーの一人である企業の経済活動(経営)について学びます。</p> <p>たとえば、トヨタ自動車はグループで従業員数約38万人、営業収益約37兆円です(2023年3月期)。トヨタの従業者数は岡山市北区の人口(約31万人:2020年)を上回り、営業収益は一国のGDPに匹敵し、国別ランキングのおよそ50位程度に相当します。また、日常生活を取り巻く製品・サービスのほとんどは企業が生み出したものです。ニュースを見ると、企業やその経営に関わる報道が溢れています。企業は社会全体そして個々人の生活にまで多大な影響を及ぼす存在なのです。</p> <p>本講義では、企業経営に関する基礎的な知識と現代の企業経営における課題について、幅広く学んでいきます。</p> <p>授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回: 経営と企業: 顧客の創造  第2回: 業界・組織の形態: 業種・業態、独占・寡占、非営利組織、第3セクター  第3回: 株式会社の仕組み: 株式、株主、上場、ステークホルダー  第4回: 企業組織の構造: マネジメントサイクル、機能別組織、事業部制組織  第5回: 労働とマネジメント: モチベーション、終身雇用、労働三権、労使関係  第6回: 企業の経営戦略: 経営環境、競争戦略、事業の定義  第7回: 企業の成長: 合併買収(M&amp;A)、経営の多角化  第8回: ものが売れる仕組み: マーケティング、顧客価値、STP、4P  第9回: ものを作る仕組み: フォードシステム、トヨタシステム、垂直統合、SCM  第10回: 経済社会と企業経営: GDP、高度成長、リーマンショック、コロナ不況  第11回: グローバル化と企業経営: 国際パートナーシップ、異文化マネジメント  第12回: 企業倫理: CSR、コーポレートガバナンス、コンプライアンス、SDGs  第13回: キャリアデザイン: キャリア、キャリアアンカー  第14回: 経営学の広がり: ファミリービジネス、非営利組織、第3セクター  第15回: まとめと現代の企業</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>『はじめの一步 経営学』守屋貴司・近藤宏一、ミネルヴァ書房、2012年。  『はじめての経営学』東洋経済新報社、2013年。  『1からの経営学 第3版』加護野忠男・吉村典久、碩学舎、2021年。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>期末試験: 60% + 復習課題: 40%  詳細については授業時に説明します。</p>				

対面授業			12006	
授業科目名: 中小企業論			担当教員氏名: 西川 英臣	
Small and Medium Enterprises				
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          中小企業は、大企業と比較して知名度がないため、一見すると見劣りのする、さして重要な存在ではない様に思われがちです。しかしながら、日本の企業数の99.7%は中小企業であり、日本の従業者数の約7割が中小企業によって雇われています。このことからわかるように、日本経済において中小企業は大きな役割を担っています。          本講義では、中小企業とは何か、どのような特徴を持っているか、日本経済の中でどのような役割を果たして来たのかを学びます。加えて、地域経済や特定の業種における中小企業の現状や情報化といったトピックについても具体的な事例を使いながら、解説します。          授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          第1回: 中小企業とは何か?: 中小企業の定義、中小企業認識、実態、多様性          第2回: 日本の中小企業の歴史: 戦前、高度成長期(1950-60年代)、安定成長期(1970-80年代)バブル崩壊後(90年代以降)          第3回: 中小企業政策①: 政策の実施主体、中小企業基本法、中小企業庁          第4回: 中小企業政策②: 中小企業憲章、地方自治体の中小企業政策、小規模企業振興と商工会議所          第5回: 中小企業経営の特徴: ファミリービジネス、生業的経営、事業承継          第6回: 中小企業の労働: 中小企業の経営者、中小企業の労働者、中小企業のキャリア教育          第7回: 中小企業金融: 日本の金融システム、中小企業金融の実態、地域金融の実態          第8回: 下請中小企業: 下請とは何か?、下請をめぐる議論          第9回: 中小製造企業: ものづくり中小企業、タイミングコントローラー、町工場の存立          第10回: 中小商業: 商店街の現状と役割、大規模店舗の出店の影響、チェーンストアと中小企業          第11回: 中小企業と地域①: 地域における企業集積、地域開発と中小企業          第12回: 中小企業と地域②: 外来型開発の失敗、地方創生、地場産業と伝統的工芸品          第13回: 事例①: 企業城下町と下請企業          第14回: 事例②: 脱下請          第15回: まとめと現代の中小企業</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『よくわかる中小企業』関智宏編著、ミネルヴァ書房、2020年。          『中小企業白書』中小企業庁編、各年版</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          期末レポート: 60% + 復習課題: 40%          詳細については授業時に説明します。</p>				

対面授業				12007
授業科目名：地域マネジメント入門			担当教員氏名：中村 聡志	
Introduction to Regional management				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  これから地域マネジメントを学ぶ学生に対し、地域に関わる基本的な諸概念を改めて検討し直し、地域住民の生活の質の維持・向上を目指して地域の諸側面の活動を活発化させること、すなわち地域活性化とは何か、それを実現するためにどのような地域の経営(マネジメント)が必要か、その全体像を示す。特に、具体的な事例検討を通じた学習(ケーススタディ)に力点を置く。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回：オリエンテーション：この講義が目指すもの、講義の進め方  第2回：地域とは何か：地域の概念  第3回：地域とは何か：地域を構成する主体  第4回：地域がかかえる問題：人口  第5回：地域活性化とは何か：地域活性化の概念  第6回：地域活性化の構造：事例検討1-1 島根県海士町 作業  第7回：地域活性化の構造：事例検討1-2 島根県海士町 解説  第8回：地域資源の利活用：地域資源とは何か  第9回：地域資源の利活用：事例検討1-1 岡山県備前市日生 作業  第10回：地域資源の利活用：事例検討1-2 岡山県備前市日生 解説  第11回：地域資源の利活用：事例検討2-1 岡山県真庭市 作業  第12回：地域資源の利活用：事例検討2-2 岡山県真庭市 解説  第13回：ビジネスを通じた地域活性化1：作業  第14回：ビジネスを通じた地域活性化2：解説  第15回：講義全体の振り返り：地域マネジメントとは何か</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  『地域マネジメント草書：岡山の地域づくりに学ぶ』, 白井信雄・中村聡志・松尾純廣編著, 大学教育出版  『事例に学ぶ地域づくり』, 澤俊晴・西村武司編著, 大学教育出版  その他コピー等を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  講義の中で指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  通常課題60%、期末レポート20%、講義に臨む態度20%で評価する。</p>				

対面授業				12008
授業科目名: 地方自治論			担当教員氏名: 菅野 昌史	
Local Government				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  2020年にはじまった新型コロナウイルスの感染拡大への対応など、地方自治体は私たちの生活に関わるさまざまな活動を行っている。また、地方分権改革の推進、地方創生の取組みなど、地方自治体に求められる役割は近年ますます拡大しつつある。この授業では、そうした地方自治の仕組みについて、地方自治法に即しながら説明する。また、できるだけ最近の事例を紹介することで、受講者各自が地方自治体が直面する課題について自分事として考えるきっかけを提供したいと考えている。また、第10回の授業では、住みたい地域をつくるためにあったらいいと考える条例をテーマとして、グループワークを実施する予定である。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: ガイダンス: 日本国憲法と地方自治(テキストChap.1)  第2回: 地方自治の歴史: 戦前・戦後の展開(テキストChap.2)  第3回: 地方自治体の種類: 普通地方公共団体・特別地方公共団体(テキストChap.3)  第4回: 住民の権利と義務: 住民の意義、直接請求、住民投票(テキストChap.4)  第5回: 自治体の事務: 自治事務・法定受託事務(テキストChap.5)  第6回: 国による関与: 関与、国地方係争処理委員会(テキストChap.6)  第7回: 自主行政権①: まちづくり(テキストChap.7)  第8回: 自主行政権②: 情報公開、個人情報保護(テキストChap.8)  第9回: 自主財政権: 地方自治体の歳入・歳出と財産(テキストChap.9/Chap.14)  第10回: 自主立法権: 条例と規則、条例制定権の限界(テキストChap.10)  第11回: 自治体の組織①: 議会と長(テキストChap.11)  第12回: 自治体の組織②: 委員会と委員、監査の仕組み(テキストChap.12)  第13回: 住民による自治体のチェック: 住民監査請求、住民訴訟(テキストChap.13)  第14回: 自治体職員が守るべき約束事: 地方公務員法(テキストChap.15)  第15回: 全体の振り返り: これまでの授業内容の復習及び確認テストを行う。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  『自治体職員のための ようこそ地方自治法』(第3版), 板垣勝彦, 第一法規,  978-4-474-06924-4</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業の中で適宜指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業終了時に毎回提出してもらうリアクションペーパー等、授業への取組み(20%)、第15回で実施する確認テストの成績(80%)で評価する。なお、リアクションペーパーには、単なる感想だけでなく、分からなかった点、授業内容を踏まえて自ら考えたことも書くようにすること。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

山陽学園大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：前期：4月5日（金）まで 後期：9月20日（金）まで

\* 区分（教養/専門）：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2~4		木 9:00~10:30		
12002	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3~4		火 13:05~14:35		
12003	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4		9月集中 9/9(月)~12(木)		
12004	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	2~4		火 13:05~14:35		
12005	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1~4		月 9:00~10:30		
12006	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1~4		月 9:00~10:30		
12007	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1~4		火 13:05~14:35		
12008	地方自治論	専門	菅野 昌史	2	前期	1~4		木 14:50~16:20		

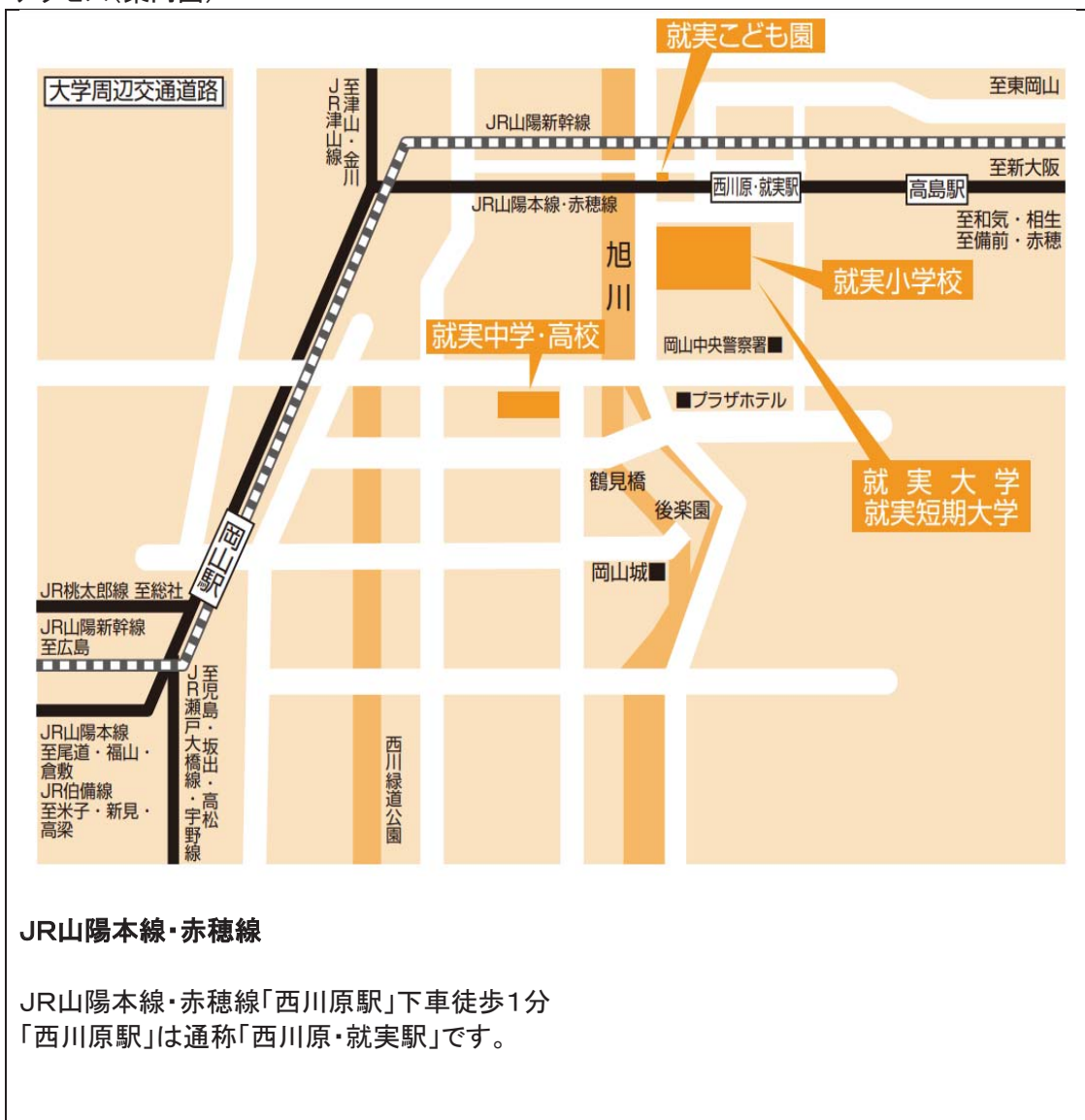
写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚

## (13) 就実大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年 4月 8日(月)	～	2024年 7月 29日(月)
	後期	2024年 9月 24日(火)	～	2025年 1月 23日(木)
試験期間	前期	2024年 7月 30日(火)	～	2024年 8月 5日(月)
	後期	2025年 1月 24日(金)	～	2025年 1月 30日(木)
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階
電 話	086-271-8120

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（**申込受付期間が異なりますので留意してください**）

前期受付:2024年3月1日(金)～3月29日(金)  
後期受付:2024年7月1日(月)～9月9日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。(受入大学訪問時)
  - 学年暦
  - 就実キャンパスガイド
  - 単位互換履修生証（最終講義終了後、**教務課へ返却が必要です**）
  - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL\\_SyllabusKensaku.aspx](https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx)

対面授業			13001																
古典文学研究 1		瓦井 裕子																	
Study on Classic-literature 1																			
2~4年次	2単位	前期	1コマ																
<p><b>【授業の目的】</b>          平安時代の文学作品の絵画化をテーマに、さまざまな絵画資料や文献資料を取り上げ、正確に理解していく。それを通して文学と絵画との関係、文学作品を絵画化することの文化的意義を考える。また、古典文学作品を読む上での知識や技能を身につける。</p>																			
<p><b>【授業内容】</b>          平安時代の文学作品の絵画資料やそれに関連する文献資料を用いながら、文学作品とその享受について理解を深める。絵画だけではなく、絵画化された文学作品自体に対する読解も適宜行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンス</td> <td>9. 『源氏物語』とその絵画(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 平安時代の文学と絵画</td> <td>10. 『源氏物語』とその絵画(3)</td> </tr> <tr> <td>3. 『伊勢物語』とその絵画(1)</td> <td>11. 『源氏物語』とその絵画(4)</td> </tr> <tr> <td>4. 『伊勢物語』とその絵画(2)</td> <td>12. 『源氏物語』とその絵画(5)</td> </tr> <tr> <td>5. 『伊勢物語』とその絵画(3)</td> <td>13. 歌仙絵(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 『伊勢物語』とその絵画(4)</td> <td>14. 歌仙絵(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 『伊勢物語』とその絵画(5)</td> <td>15. 全体のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 『源氏物語』とその絵画(1)</td> <td></td> </tr> </table>				1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)	2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)	3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)	4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)	5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)	6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)	7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ	8. 『源氏物語』とその絵画(1)	
1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)																		
2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)																		
3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)																		
4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)																		
5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)																		
6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)																		
7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ																		
8. 『源氏物語』とその絵画(1)																			
<p><b>【テキスト】</b>          適宜、配布する。</p>																			
<p><b>【参考図書】</b>          適宜、指示する。</p>																			
<p><b>【成績評価の方法】</b>          レポート 70%／授業態度 30%</p> <p>レポートは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。</p> <p>授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。</p>																			



対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲磨</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 喜撰法師	2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平	3. 天智天皇	11. 素性法師	4. 持統天皇	12. 大江千里	5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔	6. 山辺赤人	14. 坂上是則	7. 猿丸大夫	15. まとめ	8. 安倍仲磨	
1. 和歌とは？	9. 喜撰法師																			
2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平																			
3. 天智天皇	11. 素性法師																			
4. 持統天皇	12. 大江千里																			
5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔																			
6. 山辺赤人	14. 坂上是則																			
7. 猿丸大夫	15. まとめ																			
8. 安倍仲磨																				
<p><b>【テキスト】</b>  島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、740 円</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 30%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。</p>																				

対面授業			13003																	
古典文学研究 3			竹内 洪介																	
Japanese Classical Literature 3																				
2～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  近世後期、井原西鶴の活躍によって成立した浮世草子の時代は終わりを迎えようとしていた。そしてその過程で、談義本・洒落本・草双紙(黄表紙・合巻)などの諸ジャンルが勃興・乱立し、そして読本も誕生することになる。しかし、そもそも江戸時代には明確なジャンル意識がなく、例えば浮世草子も「仮名草子」や「風流読本」として認識されていたことがあった。では、「風流読本」とされた浮世草子は、後代に成立した読本とどのように異なるのであろうか。読本は何故談義本や洒落本とは区別されているのか。そもそもなにゆえ談義本や洒落本、草双紙などのジャンルが現在比定されているのか。歌舞伎・浄瑠璃などの演劇作品や国学などの学問、俳文芸などの韻文資料をはじめとした周辺の文芸にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  近世小説史上における、読本の草創期から明治維新までの文学的展開を辿る。読本の展開を中心的に辿りつつ、やや並行する形で成立した談義本・洒落本・草双紙(黄表紙・合巻)など多ジャンルの文芸の特徴を時代的背景、演劇・俳諧などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から把握するとともに、なぜ、どのように浮世草子から他の文芸への転換がなされたのか、という問題を考える。</p>																				
<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス・文学ジャンルを疑う</td> <td>9. 草双紙の展開:黄表紙の登場</td> </tr> <tr> <td>2. 近世における出版技術の発展(1)</td> <td>10. 国学の展開と文学への影響</td> </tr> <tr> <td>3. 近世における出版技術の発展(2)</td> <td>11. 初期読本の登場と上田秋成の文学</td> </tr> <tr> <td>4. 仮名草子の特徴と浮世草子の特徴</td> <td>12. 『絵本太閤記』の出版と絶版</td> </tr> <tr> <td>5. 『日本永代蔵』を読む:仮名草子の教訓性を超えて</td> <td>13. 滝沢馬琴の文学と後期読本の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 浮世草子の展開:趣向主義の時代</td> <td>14. 『絵本太閤記』の再版と草双紙への影響</td> </tr> <tr> <td>7. 談義本の登場と展開</td> <td>15. まとめとテスト</td> </tr> <tr> <td>8. 洒落本の登場と展開</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス・文学ジャンルを疑う	9. 草双紙の展開:黄表紙の登場	2. 近世における出版技術の発展(1)	10. 国学の展開と文学への影響	3. 近世における出版技術の発展(2)	11. 初期読本の登場と上田秋成の文学	4. 仮名草子の特徴と浮世草子の特徴	12. 『絵本太閤記』の出版と絶版	5. 『日本永代蔵』を読む:仮名草子の教訓性を超えて	13. 滝沢馬琴の文学と後期読本の世界	6. 浮世草子の展開:趣向主義の時代	14. 『絵本太閤記』の再版と草双紙への影響	7. 談義本の登場と展開	15. まとめとテスト	8. 洒落本の登場と展開	
1. ガイダンス・文学ジャンルを疑う	9. 草双紙の展開:黄表紙の登場																			
2. 近世における出版技術の発展(1)	10. 国学の展開と文学への影響																			
3. 近世における出版技術の発展(2)	11. 初期読本の登場と上田秋成の文学																			
4. 仮名草子の特徴と浮世草子の特徴	12. 『絵本太閤記』の出版と絶版																			
5. 『日本永代蔵』を読む:仮名草子の教訓性を超えて	13. 滝沢馬琴の文学と後期読本の世界																			
6. 浮世草子の展開:趣向主義の時代	14. 『絵本太閤記』の再版と草双紙への影響																			
7. 談義本の登場と展開	15. まとめとテスト																			
8. 洒落本の登場と展開																				
<p><b>【テキスト】</b>  プリントを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  授業内で適宜指示する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  講義中盤に行う小テスト 40 点／まとめのテスト 60 点</p> <p>リアクションペーパー(Webclass を用い、その内容は成績評価には影響しない)を毎回義務付ける。リアクションペーパーを提出しなかった場合、第 15 回に実施するまとめのテストから提出がなかった回数分減点する。(なお、講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること。その場合、減点は行なわない)。</p> <p>講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60 点)は、授業内容の理解度を問う(配点 40 点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点 20 点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1 時間以上の事前・事後学習を求める。</p>																				

対面授業			13004																	
近現代文学講義 3			坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>          差異をめぐる批評理論の概説と、具体的な作品分析を行う。これらの作業を通じ、文学作品を理論的に読む力を身につけることが目標である。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)</td> <td>9 樋口一葉「にごりえ」を読む②</td> </tr> <tr> <td>2 構造主義／脱構築について①</td> <td>10 ポストコロニアル批評について①</td> </tr> <tr> <td>3 構造主義／脱構築について②</td> <td>11 ポストコロニアル批評について②</td> </tr> <tr> <td>4 構造主義／脱構築について③</td> <td>12 ポストコロニアル批評について③</td> </tr> <tr> <td>5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①</td> <td>13 王昶雄「奔流」を読む①</td> </tr> <tr> <td>6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②</td> <td>14 王昶雄「奔流」を読む②</td> </tr> <tr> <td>7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 樋口一葉「にごりえ」を読む①</td> <td></td> </tr> </table>					1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②	2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①	3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②	4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③	5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①	6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②	7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ	8 樋口一葉「にごりえ」を読む①	
1 インタロダクション(文学研究と批評理論について)	9 樋口一葉「にごりえ」を読む②																			
2 構造主義／脱構築について①	10 ポストコロニアル批評について①																			
3 構造主義／脱構築について②	11 ポストコロニアル批評について②																			
4 構造主義／脱構築について③	12 ポストコロニアル批評について③																			
5 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)①	13 王昶雄「奔流」を読む①																			
6 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)②	14 王昶雄「奔流」を読む②																			
7 「性」をめぐる問題(フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティ)③	15 まとめ																			
8 樋口一葉「にごりえ」を読む①																				
<p><b>【テキスト】</b> 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b> ジョナサン・カラー『文学理論』(荒木映子・富山太佳夫訳、岩波書店、2003年)          廣野由美子『批評理論入門』(中公新書、2005年)</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 課題作品についての小レポート(25%×2回)、期末試験(50%)により総合的に判断する。</p>																				

対面授業			13005
異文化理解と交流 1A		ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures			
3~4年次	2単位	前期	1コマ
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.			
<b>【授業内容】</b> Introduction/American Cultural Issues      Introduction to Latinos and US History African Americans                                  Mexican Americans African Americans                                  Mexican Americans African Americans                                  Mexican Americans Quiz and Review                                   Mexican Americans African Americans                                  Mexican Americans African Americans                                  Quiz and Review Quiz and Review                                   Overall Review/Essay Due			
<b>【テキスト】</b> 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1			
<b>【参考図書】</b>			
<b>【成績評価の方法】</b> Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%			

対面授業				13006																
異文化理解と交流1B			フジシマ ナオミ																	
Understanding Other Cultures																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  Students will have the opportunity to increase their understanding of the United States and to improve their overall understanding of intercultural issues. The focus of this class is Asian minorities in the US.  This class partially fulfills the guidelines established in the Department of Practical English diploma and curriculum policies regarding the development of communication skills, globalization and knowledge of global issues, problem discovery, critical thinking, and the acquisition of knowledge about other cultures.</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 Introduction/Understanding other cultures</td> <td>9 The settling of Japanese America</td> </tr> <tr> <td>2 Building community</td> <td>10 The settling of Japanese America</td> </tr> <tr> <td>3 Asians in Hawaii</td> <td>11 World War II and Asians in the US</td> </tr> <tr> <td>4 Asians in Hawaii</td> <td>12 WWII and internment of Japanese</td> </tr> <tr> <td>5 Asian immigration to the US</td> <td>13 WWII and internment of Japanese</td> </tr> <tr> <td>6 Asian immigration to the US</td> <td>14 WWII and internment of Japanese</td> </tr> <tr> <td>7 Asian immigration to the US</td> <td>15 Review/Essay due</td> </tr> <tr> <td>8 Asian immigration to the US</td> <td></td> </tr> </table>					1 Introduction/Understanding other cultures	9 The settling of Japanese America	2 Building community	10 The settling of Japanese America	3 Asians in Hawaii	11 World War II and Asians in the US	4 Asians in Hawaii	12 WWII and internment of Japanese	5 Asian immigration to the US	13 WWII and internment of Japanese	6 Asian immigration to the US	14 WWII and internment of Japanese	7 Asian immigration to the US	15 Review/Essay due	8 Asian immigration to the US	
1 Introduction/Understanding other cultures	9 The settling of Japanese America																			
2 Building community	10 The settling of Japanese America																			
3 Asians in Hawaii	11 World War II and Asians in the US																			
4 Asians in Hawaii	12 WWII and internment of Japanese																			
5 Asian immigration to the US	13 WWII and internment of Japanese																			
6 Asian immigration to the US	14 WWII and internment of Japanese																			
7 Asian immigration to the US	15 Review/Essay due																			
8 Asian immigration to the US																				
<p><b>【テキスト】</b>  There is no textbook but students will be provided with relevant reading materials by the teacher.</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Takaki, Ronald. (1998) Strangers from a Different Shore. Boston: Little, Brown and Company. ISBN: 0-316-83130-1</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Class participation 20%, reflections and quizzes 60%, essay 20%  Students will write short reflections on the topics covered in the lesson as well as take short quizzes to check their understanding of the main issues.</p>																				

対面授業			13007																			
異文化理解と交流1C			和栗 了																			
Understanding Other Cultures -3C																						
3～4年次	2単位	前期	1コマ																			
<p><b>【授業の目的】</b>  『聖書』とキリスト教についての基礎的知識を修得し、『聖書』がどのように読まれる可能性があるのかを考えることを目的とします。文学者の立場から『聖書』を論じます。  テーマは、『聖書と文学』です。  毎回取り扱うテーマと作品は変更の可能性があります。</p>																						
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入・『聖書』とは何か？</td> <td>9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』</td> </tr> <tr> <td>「創世記」の神と『フランケンシュタイン』</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 原罪説と「人間とは何か？」</td> <td>10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論</td> </tr> <tr> <td>3 「出エジプト記」と『神曲』</td> <td>11 『無関心な人々』と中間者</td> </tr> <tr> <td>4 「列王記」のダヴィデと『非文字』</td> <td>12 『変身』という現代社会</td> </tr> <tr> <td>5 「エレミアのなげき」と『白鯨』</td> <td>13 「はやく人間になりたい」『妖怪人間ベム』の苦悩</td> </tr> <tr> <td>6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』</td> <td>14 遠藤周作『沈黙』と「ヨブ記」</td> </tr> <tr> <td>7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』</td> <td>15 成績確認と学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』</td> <td></td> </tr> </table>					1 導入・『聖書』とは何か？	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』	「創世記」の神と『フランケンシュタイン』		2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論	3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者	4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会	5 「エレミアのなげき」と『白鯨』	13 「はやく人間になりたい」『妖怪人間ベム』の苦悩	6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『沈黙』と「ヨブ記」	7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論	8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』	
1 導入・『聖書』とは何か？	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』																					
「創世記」の神と『フランケンシュタイン』																						
2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論																					
3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者																					
4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会																					
5 「エレミアのなげき」と『白鯨』	13 「はやく人間になりたい」『妖怪人間ベム』の苦悩																					
6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『沈黙』と「ヨブ記」																					
7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論																					
8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』																						
<p><b>【テキスト】</b>  自作プリントを使用します。</p>																						
<p><b>【参考図書】</b>  日本聖書協会編集、『聖書 新共同訳』（スタディ版）、日本聖書協会、2014年。</p>																						
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小テスト（50パーセント）＋毎回の小レポート（20パーセント）＋毎回の宿題（30パーセント）。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																						

対面授業				13008
異文化理解と交流2A			D.J.マカントニー	
Canadian Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding.				
<b>【授業内容】</b> 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Mid-Term 9. Industry 10. Canadian Life 11. Symbolism 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review				
<b>【テキスト】</b> No Textbook. All materials will be provided by teacher.				
<b>【参考図書】</b> None				
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 30%, Review/Homework 30%, Presentation 20%, Tests 20%				

対面授業			13009	
異文化理解と交流2B			D.J.マカントニー	
UK and Ireland Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.				
<b>【授業内容】</b> 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Review				
<b>【テキスト】</b> Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5				
<b>【参考図書】</b> English Dictionary and Japanese-English Dictionary				
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 20% Review/Quiz/Homework 30% Written Tests 50%				



対面授業			13010	
イギリス文化研究 1			雨森 未来	
British Cultural Studies 1				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス: イングランドとセント・ジョージ</li> <li>2. ルネサンス① 芸術と表象</li> <li>3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式</li> <li>4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座</li> <li>5. イングランドの劇場文化 シンボル(象徴)とアレゴリー(寓意)</li> <li>6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史</li> <li>7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル</li> <li>8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』</li> <li>9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メント・モリ」</li> <li>10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装</li> <li>11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニス商人』と批評の変遷</li> <li>12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評</li> <li>13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜</li> <li>14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論: ポストコロニアリズム</li> <li>15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          なし。適宜、プリントや資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          適宜、指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業内課題あるいはコメント・ペーパーの提出を毎講義の内容に合わせて課す(75%)          課題の出来栄えに対する加点及び平常点(25%)          以上から総合的に評価する。          提出課題や発表にはコメントをつけてフィードバックする。</p>				

対面授業				13011
イギリス文化研究2			渡辺 浩	
British Cultural Studies 2				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> このコースにおいては、英国の著名な建物・建築物を取り上げ、その歴史に基づいて英国文化と歴史を考察してゆきます。「ランドマーク」という言葉が最近日本語の中でも使われますが、まさしく陸標、目標物は歴史の中でも文化的な指標となるものが数多く存在します。				
<b>【授業内容】</b> 1 Introduction 2 Stonehenge 3 Hadrian's Wall 4 Caernarfon Castle 5 Canterbury Cathedral 6 Tudor Houses 7 Country Houses 8 Derwent Valley Mills 9 Terraced Houses 10 Manchester Town Hall 11 The Fouth Bridge 12 Brighton Pier 13 Liverpool Docks 14 The South Bank 15 The Channel Tunnel				
<b>【テキスト】</b> ブリティッシュ・ビルディングス、英宝社（2000円＋税） ISBN 978-4-269-15019-5				
<b>【参考図書】</b> 参考資料・図書はその都度指示する予定。				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業中に実施するテストと評価に関連した提出物 70%、毎回の授業に関する取り組みと習熟度 30%				

対面授業				13012																
イギリス文化研究 3			原田 昂																	
British Cultural Studies 3																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 主に 19 世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション:産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. 作品鑑賞、意見交換①</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 作品鑑賞、意見交換②</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table>					1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②	2. 都市化①	10. ナショナルトラスト	3. 都市化②	11. 植民地①	4. 階級①	12. 植民地②	5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①	6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②	7. 教育②	15. 授業のまとめ	8. 科学と産業①	
1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②																			
2. 都市化①	10. ナショナルトラスト																			
3. 都市化②	11. 植民地①																			
4. 階級①	12. 植民地②																			
5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①																			
6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②																			
7. 教育②	15. 授業のまとめ																			
8. 科学と産業①																				
<b>【テキスト】</b> 必要に応じて適宜プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。																				
<b>【成績評価の方法】</b> レポート(50%)、課題提出(30%)、授業への積極的な参加(20%)。 レポートは、与えられた課題に適切に答えられているかを中心に評価する。 課題は、取り組みと毎回の提出を中心に評価する。 授業への積極的な参加は、毎回授業中に設ける意見交換の時間での発言を中心に評価する。																				

対面授業				13013																
アメリカ文化研究1			苔米地 夏緒																	
American Studies 1																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> </tr> <tr> <td>2. Introducing Popular Culture Studies</td> <td>10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>3. What is Racism?</td> <td>11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Dismantling White Privilege</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II	2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I	3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II	4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop	5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I	6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II	7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion	8. Blackness in U.S. Popular Culture I	
1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II																			
2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I																			
3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II																			
4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop																			
5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I																			
6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II																			
7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion																			
8. Blackness in U.S. Popular Culture I																				
<p><b>【テキスト】</b>  各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業			13014																	
アメリカ文化研究2			苦米地 夏緒																	
American Studies 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身につける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Challenges Against Racism I</td> </tr> <tr> <td>2. Americanness and Otherness</td> <td>10. Challenges Against Racism II</td> </tr> <tr> <td>3. Is Islamophobia Racism?</td> <td>11. Case Study</td> </tr> <tr> <td>4. Latinx? Hispanic?</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The Struggles of Native Americans</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Intersectionality</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Colorblindness</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Cultural Appropriation</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Challenges Against Racism I	2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II	3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study	4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop	5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I	6. Intersectionality	14. Workshop II	7. Colorblindness	15. Conclusion	8. Cultural Appropriation	
1. Introduction	9. Challenges Against Racism I																			
2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II																			
3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study																			
4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop																			
5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I																			
6. Intersectionality	14. Workshop II																			
7. Colorblindness	15. Conclusion																			
8. Cultural Appropriation																				
<p><b>【テキスト】</b>  WebClass にて各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業				13015																
アメリカ文化研究 3			和栗 了																	
American Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ合衆国の文学を代表するマーク・トウェイン(Mark Twain)の、人とその作品について講義します。アメリカとは何か、文学とは何かを、トウェインの作品と作家の研究を通じて明らかにします。かつて『トム・ソーヤーの冒険』や『ハuckleベリー・フィンの冒険』を読んで合衆国に憧れた方には驚かれるような内容かもしれませんが、真実のトウェインと彼の作品が意味するものをお伝えします。受講生はマーク・トウェインをひとつの手がかりにしてアメリカ合衆国を理解してください。それが目的です。  30年以上の研究を土台としたマーク・トウェイン研究を語ります。  扱う作品は変更することがあります。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン</td> <td>9. 自伝とマーク・トウェイン</td> </tr> <tr> <td>2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン</td> <td>10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい</td> </tr> <tr> <td>3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン</td> <td>11. 『ハuckleベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？</td> </tr> <tr> <td>4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン</td> <td>12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり</td> </tr> <tr> <td>5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン</td> <td>13. 『自伝』は嘘ばかり？</td> </tr> <tr> <td>6. 先住民とマーク・トウェイン</td> <td>14. 『自伝』の真実</td> </tr> <tr> <td>7. 女性とマーク・トウェイン</td> <td>15. 成績確認・学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 旅行記とマーク・トウェイン</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン	2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい	3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハuckleベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？	4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり	5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？	6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実	7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論	8. 旅行記とマーク・トウェイン	
1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン																			
2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい																			
3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハuckleベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？																			
4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり																			
5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？																			
6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実																			
7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論																			
8. 旅行記とマーク・トウェイン																				
<p><b>【テキスト】</b> 自作プリントを使います。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>Waguri Ryo, <i>Mark Twain and Strangers</i>, Tokyo: Eihou-sha, 2004.  和栗 了監訳、『マーク・トウェイン 完全なる自伝』(第一巻、第二巻、第三巻)(東京: 柏書房、2012年、2015年、2018年)。  和栗 了、『マーク・トウェインはこう読め』(東京: 柏書房、2016年)。  和栗 了訳、『マーク・トウェイン書簡集 第一巻』(大阪: 大阪教育図書、2011年)。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小テスト(50パーセント) + 毎回の小レポート(20パーセント) + 毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13016																
日本史講義 1A			鈴木 琢郎																	
History of Japan 1A (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table>					1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)	2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①	3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②	4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行	5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか	6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経	7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ	8 試験答案の書き方	
1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)																			
2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①																			
3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②																			
4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行																			
5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか																			
6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経																			
7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ																			
8 試験答案の書き方																				
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末の論述試験で評価する。																				

対面授業				13017																
日本史講義 2C			芥米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				



対面授業				13018
日本史講義 3C				三田 智子
History of Japan 3C (Medieval Japan)				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 山川の日本史教科書の記述変化について</li> <li>2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一</li> <li>3 「社会集団」と身分制社会</li> <li>4 村請制とは何か</li> <li>5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動—</li> <li>6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ—</li> <li>7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ—</li> <li>8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業—</li> <li>9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村—</li> <li>12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村—</li> <li>13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村—</li> <li>14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村—</li> <li>15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会—</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>毎回プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010) ISBN978-4-8298-1077-4</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。          受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p>				

対面授業			13019																		
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C		小林 亜沙美																			
History of Europe/America3C (Medieval Europe)																					
3～4年次	2単位	後期	1コマ																		
<p><b>【授業の目的】</b>  中世ヨーロッパとは主に5世紀半ばから16世紀初めを指す。その間に生じた様々な出来事の一部は、当時の社会にとって衝撃的であったため、もしくはそれら事件が後世に大きな影響をおよぼしたため、などの理由で歴史的に重要な事象とされている。本講義ではそのような事件や事柄に焦点を当て、関与した派閥や人間の動機、事件の経緯や結末や影響について扱う。その際、これら事件が同時代人にどのように映ったのか、後代の人にはどう見なされたのかということにも注意深く目を向け、時代を超えた多角的視点にも注目する。</p>																					
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 「中世ヨーロッパ」とは？</td> <td>9 異端者に対する戦い</td> </tr> <tr> <td>2 西ローマ帝国の終わり</td> <td>10 農村・都市・ペスト</td> </tr> <tr> <td>3 クローヴィスのキリスト教改宗</td> <td>11 教皇庁</td> </tr> <tr> <td>4 西ローマ帝国「復活」</td> <td>12 修道院</td> </tr> <tr> <td>5 中世初期「イングランド」の成立</td> <td>13 百年戦争</td> </tr> <tr> <td>6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」</td> <td>14 帝国国王選挙</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「フランス」の形成</td> </tr> <tr> <td>7 叙任権闘争</td> <td>15 総括</td> </tr> <tr> <td>8 異教徒に対する戦い</td> <td></td> </tr> </table>				1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い	2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市・ペスト	3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁	4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院	5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争	6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」	14 帝国国王選挙	「フランス」の形成		7 叙任権闘争	15 総括	8 異教徒に対する戦い	
1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い																				
2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市・ペスト																				
3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁																				
4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院																				
5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争																				
6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」	14 帝国国王選挙																				
「フランス」の形成																					
7 叙任権闘争	15 総括																				
8 異教徒に対する戦い																					
<p><b>【テキスト】</b>  授業で配布する。</p>																					
<p><b>【参考図書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊地良生『神聖ローマ帝国(講談社現代新書)』(講談社、2003年、ISBN 978-4061496736)</li> <li>・ハンス・K.シュルツェ(小倉欣一、河野淳訳)『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配(MINERVA 西洋史ライブラリー96)』(ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428)</li> <li>・神崎忠明『【新版】ヨーロッパの中世』慶應義塾大学出版会、2022年(ISBN 978-4766428087)</li> <li>・川原温、堀越宏一『西洋中世史』放送大学教育振興会、2021年(ISBN 978-4595141584)</li> <li>・ヨーロッパ中世史研究会(編集)『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年(ISBN 978-4130220170)</li> <li>・その他、WebClass に参考文献を記載する。</li> </ul>																					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各授業の小テスト(50%)、期末レポート(50%)。</p>																					

対面授業				13020
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A			山本 航平	
European and American History 2A (Cultural History of Europe and the Americas)				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、近世以降(便宜的に15世紀後半以降＝おおよそ「大航海時代」以降を指す)の南北アメリカとヨーロッパの歴史を文化史の視点から検討する。本授業は特定の国・地域の通史あるいは概説ではなく、「新しい文化史」とよばれる歴史学の研究動向において注目を集めてきたトピックに着目し、各回で設定したテーマに沿った議論を展開する。さまざまな歴史事象やそれらに関して蓄積されてきた研究を紹介することで、受講生が各自の知的関心を発展させる機会を提供したい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 ガイダンス:「西洋史」と「文化史」  2 近世ヨーロッパにおける言語と社会  3 アトランティック・ヒストリー(1)  4 アトランティック・ヒストリー(2)  5 環大西洋革命(1)  6 環大西洋革命(2)  7 感性の歴史(1)  8 感性の歴史(2)  9 記憶の歴史  10 アメリカ合衆国におけるネイティヴィズム  11 イタリアにおける「南部問題」(1)  12 イタリアにおける「南部問題」(2)  13 キューバ独立戦争と野球(1)  14 キューバ独立戦争と野球(2)  15 期末テスト / 授業のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小レポート(30%)、期末テスト(30%)、期末レポート(40%)で評価する。  単位取得に際しては、①授業回数の3分の2回以上の小レポートの提出、②期末試験の受験、③期末レポートの提出、の3点が最低要件である。  評価基準は以下である。</p>				
<p><b>【小レポート】</b>  毎回の授業の最後に講義内容に関する小レポートを課す。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていないか(講義内容が適切に理解できていないか)を評価基準とする。フィードバックは次回授業の冒頭でおこなう。</p>				
<p><b>【期末テスト】</b>  第15回目の授業時に講義内容に関する期末テストをおこなう。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていないか(講義内容が適切に理解できていないか)を評価基準とする。希望者全員に対して試験添削と個人面談による指導をおこない、フィードバックする。</p>				
<p><b>【期末レポート】</b>  複数の研究書・論文の内容をまとめるブックレポートを課す。文献の内容をふまえた記述ができていないか、論理的な文章が書けているか、学問的な問いが立てられているかを評価の基準とする。希望者全員に対してレポート添削と面談による個人指導をおこない、フィードバックする。</p>				

対面授業			13021																	
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の再生</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の再生																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。毎回資料を配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末)  レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。  レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p>																				

対面授業				13022
アジア史講義 2A			井上 あやか	
History of Asia 2A				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 南アジア現代史を事例として、国際関係の中で戦争と地域紛争を歴史的に理解する視点を獲得し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになること。				
<b>【授業内容】</b> 1. アフガニスタンの復興とターリバーン 2. ターリバーンの論理(ドキュメンタリー「密着ムジャーヒディーン」) 3. アメリカの戦略とアフガニスタン 4. 帰還兵から見た戦争(ドキュメンタリー「アフガン帰還兵―若きソビエト兵士たちの9年間」) 5. 現代のイスラーム 6. パキスタンの軍・政治・イスラーム 7. 南アジアの民主主義 8. インドの経済発展(1) 9. インドの経済発展(2)(ドキュメンタリー「11億の消費パワー」) 10. 世界の核管理体制 11. インド・パキスタン対立と核問題(ドキュメンタリー「揺れる核保有国インド」) 12. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(1) 13. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(2) 14. 平和学について 15. 歴史と現在の関わり				
<b>【テキスト】</b> とくに指定しない。				
<b>【参考図書】</b> 教室で、適宜指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期中に適宜コメント紙の提出を求め(40%)、学期末に課すレポート(60%)で評価する。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印

※出願の際には  
履修願に写真は  
貼らずに添付し  
て提出してくだ  
さい。

**写真  
貼付  
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年月日		
		男・女	昭和・平成	年	月
現住所	〒 ー				
	Tel ( ) ー				
メールアドレス @					
※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。					

\* 履修受付締切日：前期：3月29日(金)まで 後期：9月9日(月)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限	履 修 希 望	評 価
対面授業科目 ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13006	異文化理解と交流 1B	専門	フジシマ ナオミ	2	前期	3~4		水 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13007	異文化理解と交流 1C	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13010	イギリス文化研究 1	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13011	イギリス文化研究 2	専門	渡辺 浩	2	後期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13012	イギリス文化研究 3	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13013	アメリカ文化研究 1	専門	苫米地 夏緒	2	前期	3~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13014	アメリカ文化研究 2	専門	苫米地 夏緒	2	後期	3~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13015	アメリカ文化研究 3	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13016	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4		金 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13017	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13018	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13020	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専門	山本 航平	2	前期	3~4		月 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13021	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13022	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20	<input type="checkbox"/>	

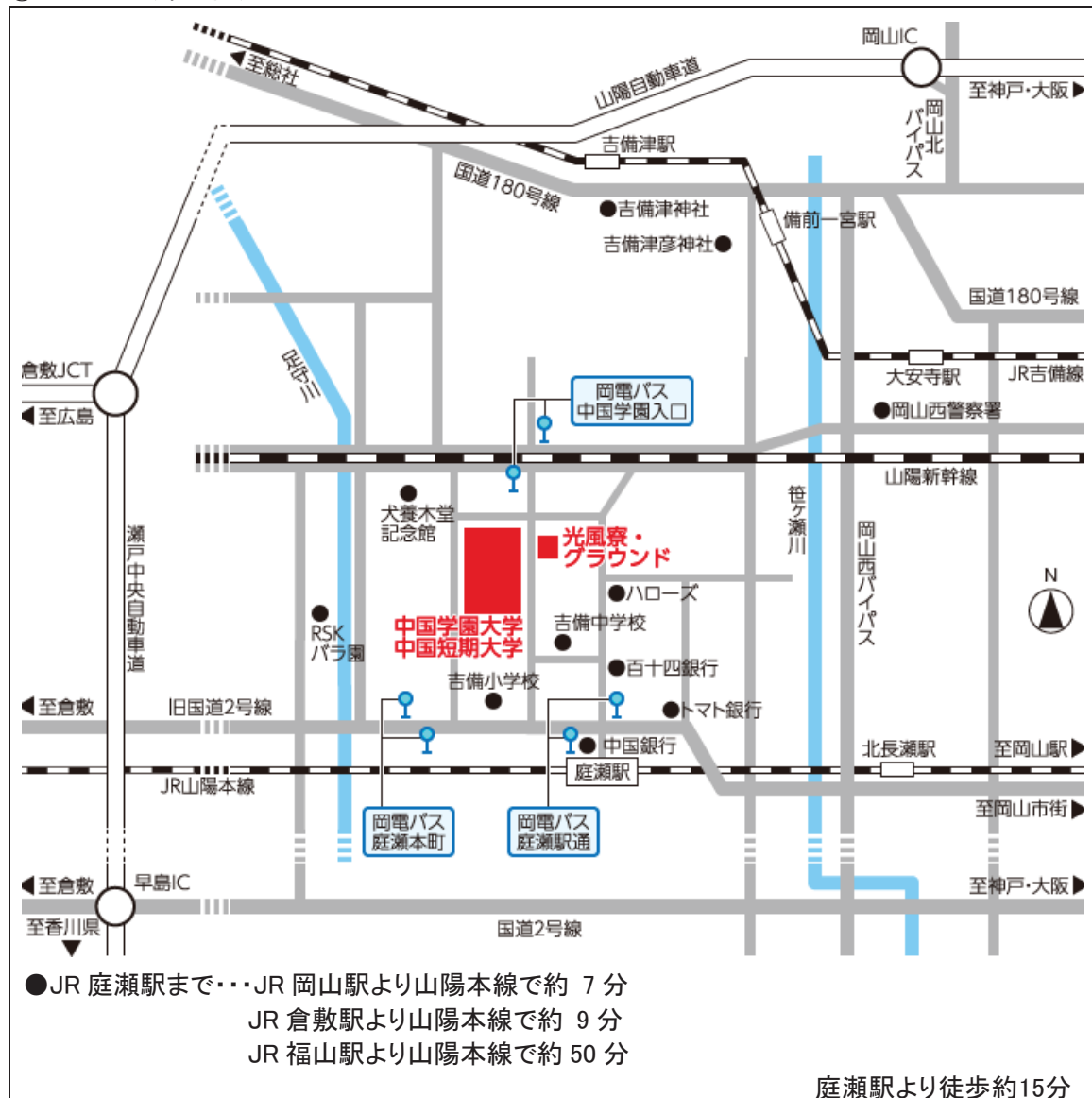
写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) ( カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する )	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1枚	0枚	0枚	1枚

## (14) 中国学園大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月10日	～	2024年7月29日
	後期	2024年9月25日	～	2025年1月27日
試験期間	前期	2024年7月30日	～	2024年8月5日
	後期	2025年1月28日	～	2025年2月3日
授業時間	1限	9:20	～	10:50
	2限	11:00	～	12:30
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)





③ 担当窓口

教務課	
所在地:	本館 2階 事務局 教務課
電話:	086-293-0542

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月3日(水)まで、後期:9月18日(水)までとします。  
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。  
図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://syllabus-cjc.jp/koukai/>  
(中国学園大学・中国短期大学HP→Web シラバス)

・対面授業科目

対面授業			14001	
授業科目名: 公衆衛生学Ⅱ			担当教員氏名: 波多江 崇	
Public HealthⅡ				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          公衆衛生学の学習内容は、母子保健から老人保健までの年齢で区別される領域と、地域保健、精神保健、環境保健などの集団の社会的特性に関する領域まで、広い範囲に亘っている。そのうちで、公衆衛生学Ⅱでは、環境と健康、産業保健、学校保健の分野を中心に学習する。</p> <p><b>【到達目標】</b>          ・社会あるいは家庭において、人びとの健康を保持・増進していくための基礎となる環境保健、産業保健、学校保健、高齢者保健、地域保健の知識を身につける。          ・管理栄養士国家試験の「社会・環境と健康」の分野での十分な実力を身につける。          なお、本科目はディプロマ・ポリシーの〈知識・理解〉の修得に貢献する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成人保健と健康増進;健康増進法, 健康日本 21</li> <li>2 成人保健と健康増進;生活習慣病対策, 特定健康診査・特定保健指導, がん対策</li> <li>3 母子保健, 母子保健法</li> <li>4 高齢者保健, 老人福祉法, 高齢者医療確保法</li> <li>5 介護保険法</li> <li>6 在宅医療</li> <li>7 食品保健;食品保健に関する法律, 食品の表示, 食品の種類と機能</li> <li>8 学校保健</li> <li>9 産業保健</li> <li>10 統計・疫学の計算:検査の精度の指標と計算</li> <li>11 統計・疫学の計算:練習問題</li> <li>12 統計・疫学の計算:コホート研究結果の計算</li> <li>13 統計・疫学の計算:練習問題</li> <li>14 統計・疫学の計算:症例対照研究結果の計算</li> <li>15 統計・疫学の計算:練習問題</li> </ol> <p>※10～15 は、電卓を持参すること。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          書名: 公衆衛生がみえる 2022-2023          著者名: 医療情報科学研究所          出版社: メディックメディア          価格: 3,960 円          ISBN: 4896328585</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>下記の成績を基準に評価する。          ・定期試験(100%): 最終的な理解度を評価する。</p>				

・対面授業科目

対面授業			14002	
授業科目名: 児童英語演習			担当教員氏名: 西田 寛子	
Courses on Teaching Elementary School				
2～4年次	1単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の概要と目的】</b></p> <p>授業実践に必要な英語教育の理論的側面を概観し、その理論の実践面への応用を目指す。そのために、小学校の授業観察・分析や受講生による模擬授業・ディスカッションを通して指導の改善を行う。また、幼児英語教育との接続の観点から、こども園での英語の模擬保育も実施する。将来学校現場において、理論に裏打ちされた実践力を備え、自律的に学び続けるリフレクティブな教師となる基本を身に付ける。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語によるコミュニケーションの指導や、ことばへの気づきをもたらす指導ができる。</li> <li>・小学生や就学前の子どもの英語学習への意欲・技能の向上を図ることができる。</li> <li>・英語で授業を行ったり、ALTとの打ち合わせを英語で実施したりできる。</li> <li>・パフォーマンス評価を行うことができる。</li> </ul> <p>なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、＜思考・問題解決能力＞＜態度＞の修得に貢献する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実践に必要な理論の概観(小学校英語教育導入の背景・変遷, 外国語活動・外国語科の目標, 言語使用を通じた言語活動・音声によるインプット, 異校(園)種との連携・接続 等)</li> <li>2 実践に必要な理論の概観(学習指導要領の内容とその具現化に向けて 等)</li> <li>3 実践に必要な理論の概観(目的や場面・状況を明確にした言語活動, 学習評価, ALT との TT による指導の在り方 等), 実践に向けての演習(小学校英語の授業体験)</li> <li>4 小学校英語の授業観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション</li> <li>5 英語による保育の観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション</li> <li>6 学習指導案の作成</li> <li>7 学習指導案の修正・改善</li> <li>8 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)①</li> <li>9 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)②</li> <li>10 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成①</li> <li>11 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成②</li> <li>12 学外授業(小学校での授業実践)と省察</li> <li>13 学外授業(子ども園での英語保育実践)と省察</li> <li>14 小学校・こども園での指導の省察と指導の改善案作成</li> <li>15 講座全体の振り返りとまとめ</li> </ol> <p>* 学外授業については、受け入れ先との日程調整により、実施時期が前後する可能性がある。 上記予定が変更になる場合は、Google Classroom か G-mail で連絡する。 授業への参加を重視するため、授業 6 コマ相当の欠席で単位の履修が不可能となる。</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>書名: Here We Go! 5・6 / 出版社: 光村図書 / 価格: 708 円          書名: Let's Try 1・2 / 出版社: 東京書籍 / 価格: 510 円          書名: 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』平成 29 年告示 / 出版社: 東洋館出版 / 価格: 140 円</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>書名: 小学校英語 はじめる教科書 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコアカリキュラムに沿ってー / 出版社: mpi / 価格: 2,420 円</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組みの姿勢(60%) 授業中のディスカッション, 授業実践・省察・改善での意欲的な態度を評価する。</li> <li>・レポート(40%) 理論と実践を往還しながら考えたことの記述内容や, 指導・評価計画(学習指導案)の内容を評価する。</li> </ul>				

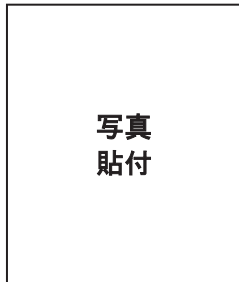
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな 氏 名				印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部 年			学科	
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年 月 日
現住所	〒 ー  Tel ( ) ー				

\* 履修受付締切日：前期：4月3日(水)まで 後期：9月18日(水)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
14001	公衆衛生学Ⅱ	専門	波多江 崇	2	後期	2~4	定員 10名	月 16:30~18:00	<input type="checkbox"/>	
14002	児童英語演習	専門	西田 寛子	1	後期	2~4	定員 10名	火 11:00~12:30	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚

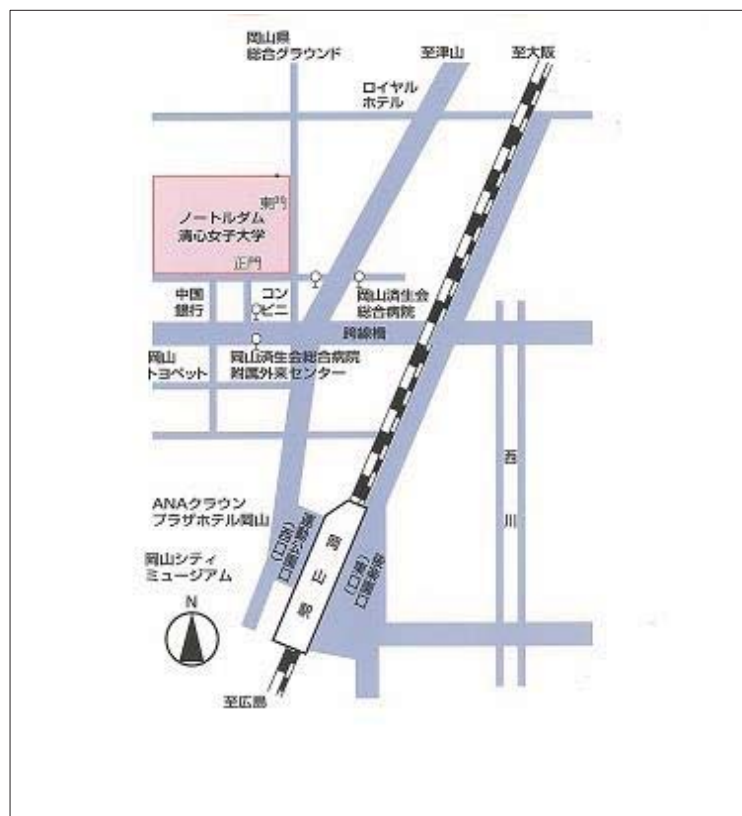
## (15) ノートルダム清心女子大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2024年4月8日	～	2024年8月6日
	2期	2024年9月25日	～	2025年1月31日
試験期間	1期	2024年7月23日	～	2024年8月6日
	2期	2025年1月16日	～	2025年1月31日
授業時間	1時限	9:00	～	10:30
	2時限	10:45	～	12:15
	3時限	13:00	～	14:30
	4時限	14:45	～	16:15
	5時限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)

- JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分
- 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車
- 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



### ③ 担当窓口

学務部	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電話:	086-255-5583

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

申込期限は、前期:4月4日(木)まで 後期:9月12日(木)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

#### ・ 履修手続

##### 履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部がご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

#### ・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

#### ・ 特記事項

--

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業				15001
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies I				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>          死にたいと想うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1. 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち(遠藤周作、井上洋治、三浦綾子、星野富弘、水野源三等)          2. 『新約聖書』の構成・風土的背景          3. イエスの生誕、クリスマスの意味          4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム          5. 神の国の福音宣教、公生活の開始          6. 奇蹟物語と慰め物語          7. イエスの祈り          8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争          9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告          10. 死を覚悟したエルサレムへの旅          11. エルサレム入城と最後の晩餐          12. イエスの受難と十字架の死          13. イエスの復活顕現物語          14. 現代人とイエスの福音          15. まとめ・(期末レポートについて)</p>				
<p><b>【テキスト】</b> &lt;必携書&gt; 遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)、『聖書』</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          ・リアクションペーパー…30%          ・期末レポート…70%</p>				

対面授業				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのか、というよりも、歴史上に実在したイエスがどのような人物であったのかを探究することにある。</p> <p>具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とカテゴライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えたことばと具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 聖書とは</li> <li>3. イエスが生きた時代</li> <li>4. イエスの幼年期</li> <li>5. 洗礼者ヨハネとの出会い</li> <li>6. イエスの自立</li> <li>7. イエスがかがみ込んだ先の人々</li> <li>8. イエスが起こした奇跡</li> <li>9. イエスが説いた神</li> <li>10. 律法学者たちとイエス</li> <li>11. イエスが説いた愛と交わり</li> <li>12. イエスの危機</li> <li>13. イエスの受難と死、復活</li> <li>14. わたしにとってのイエス:ある修道女の語り</li> <li>15. わたしにとってのイエス:ある司祭の語り</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年          本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み態度 20%</li> <li>・リアクションペーパー 40%</li> <li>・レポート 40%</li> </ul>				



対面授業				15003
授業科目名:キリスト教学XVI			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies XVI				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>  「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロ書簡の言葉である。そうしたパウロ書簡と共に新約聖書の中の使徒言行録およびそれと関連する遠藤周作『キリストの誕生』をテキストにして読み、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、迫害にも怯まない信念をもって宣教する使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることで、キリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして、弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、パウロ書簡の言葉から、生きることの意義を追求するための思想を学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 導入:現代人とパウロ書簡の言葉  2 新約聖書の使徒言行録と書簡の概説  3 原始キリスト教の出發  4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノ殉教  5 迫害者パウロの回心  6 原始キリスト教のエルサレムとアンティオキア  7 パウロ第一次伝道旅行  8 パウロ第二次伝道旅行  9 パウロ第三次伝道旅行とローマへの旅  10 ペトロの殉教、パウロの殉教  11 ユダヤ戦争と原始キリスト教  12 原始キリスト教の発展  13 原始キリスト教と福音宣教  14 パウロ書簡より、愛の讃歌、苦しみの連帯  15 まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>聖書、遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>リアクションペーパー30%、期末レポート70%</p>				

対面授業				15004
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅣA			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics ⅣA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、文法格、主題化、補文構造、接続詞、受動化、使役化などを含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の特徴 - 語順</li> <li>2. 主題と主語化</li> <li>3. 文法格 (1)</li> <li>4. 文法格 (2) - 複合動詞の場合</li> <li>5. 文法格と後置詞</li> <li>6. 動詞の状態性と自制性</li> <li>7. 副詞節</li> <li>8. 補文標識の種類と解釈 (1)</li> <li>9. 補文標識の種類と解釈 (2)</li> <li>10. 日英語における「はい」と「いいえ」</li> <li>11. 再帰代名詞</li> <li>12. 主題化と主語化再考</li> <li>13. 日英語の存在文 (1)</li> <li>14. 日英語の存在文 (2)</li> <li>15. 総復習</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 久野暲著『日本文法研究』大修館書店, ISBN978-4-469-22005-6, 本体 2,300 円。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート…50%、課題…50%</p>				

対面授業				15005
授業科目名:英米文学研究 IIIA			担当教員氏名:新野 緑	
Research in British and American Literature IIIA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  &lt;『不思議の国のアリス』を読む&gt;  オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しく教訓のない物語&gt;である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介</li> <li>2. Chapter 1: 地下の国とは</li> <li>3. Chapter 1: アリスとは何者か</li> <li>4. Chapter 2: パロディの意義</li> <li>5. Chapter 3: イギリスの歴史</li> <li>6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ</li> <li>7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か</li> <li>8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い</li> <li>9. Chapter 7: 儀礼と意味</li> <li>10. Chapter 7: 時間とは何か</li> <li>11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育</li> <li>12. Chapter 9: 言葉の変容</li> <li>13. Chapter 11&amp;12: 裁判の手順</li> <li>14. Chapter 12: 夢と現実</li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol> (なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)				
<p><b>【テキスト】</b>  Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  教室で適宜紹介する</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30%  学期末試験 70%</p>				

対面授業				15006
授業科目名: 英米文学研究 III B			担当教員氏名: 新野 緑	
Research in British and American Literature III B				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          &lt;肖像画と文学&gt;          肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステイタスを表すものとして貴族やジェントリーの屋敷に飾られてきた。18 世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好んで取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18 世紀から 19 世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループディスカッションを通して考えたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史          2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i>          3. クラスディスカッション          4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i>          5. クラスディスカッション          6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i>          7. クラスディスカッション          8. George Eliot, <i>Middlemarch</i>          9. クラスディスカッション          10. Robert Browning, "My Last Duchess"          11. クラスディスカッション          12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i>          13. クラスディスカッション          14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i>          15. まとめ・試験          (なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          プリントを配布する</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          教室で適宜指示する</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 20%          クラスディスカッションの成果とレポート 30%          学期末試験 50%</p>				

対面授業			15007	
授業科目名: 古代文学特講 I			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかにより形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 1 授業ガイダンス「訓む」と「読む」と・額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 2 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 3 「穂積皇子・但馬皇女歌群」①: 配列から考える「歌物語」 4 「穂積皇子・但馬皇女歌群」②: 但馬皇女の「朝川渡る」 5 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 6 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 7 大和三山の歌①: 三首の疑問 8 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 9 天平時代のサラリーマン事情: 生活の場と出世への遠い道のり 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 「梅花の宴」①: 「令和」の出典歌を讀解する 13 「梅花の宴」②: 大伴旅人と山上憶良の憶い 14 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b> ＜必携書＞ 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房 1998 年)ISBN:978-4827300819</p>				
<p><b>【参考図書】</b> ＜参考書等＞ 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA 2021 年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>				

対面授業			15008
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ		担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ			
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、『古事記』神話の基礎的な知識を習得し、日本神話の特色を理解することを目的とする。特に上巻の神話部分を中心に読解し、世界の神話とも比較しながら、古代人のものの考え方や価値観について考えるとともに、日本文学史上における神話の位置付けについても考察する。また多くの注釈書や研究史を概観し、作品を多角的に捉える視点を養う。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  1 授業ガイダンス  2 創成神話:「天地初発之時」  3 造化三神:タカミムスヒとカミムスヒ  4 イザナキ・イザナミ神話①:二神の結婚・国生み  5 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(1)  6 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(2)  7 三貴子の誕生:アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ  8 アマテラス神話①:誓約  9 アマテラス神話②:天の岩屋  10 スサノヲ神話①:スサノヲの追放とオホゲツヒメ  11 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(1)  12 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(2)  13 出雲神話①:「稲羽の素兔」とオホクニヌシ  14 出雲神話②:根の堅洲国  15 授業の総括</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  中村啓信訳注『新版 古事記』(角川ソフィア文庫 2009年)ISBN:978-4044001049</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  この史代『ぼおるぺん 古事記』天の巻・地の巻・海の巻(平凡社、2013-2014年)  その他、授業中に適宜紹介する。  なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レスポンスカード 60%  学期末レポート 40%</p>			

対面授業				15009
授業科目名: 古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5人
<p><b>【授業の目的】</b>          平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1 講義概要の説明—物語享受の諸相—          2 古筆切1—概説—          3 古筆切2—和歌切—          4 古筆切3—物語切—          5 源氏物語の写本1—概説—          6 源氏物語の写本2—青表紙本系—          7 源氏物語の写本3—その他—          8 中間まとめ          9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界—          10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集—          11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統—          12 源氏物語の古注釈2—その他—          13 文学と教育1          14 文学と教育2          15 1期まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          &lt;必携書&gt;          『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          &lt;参考書等&gt;          適宜指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。          (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講IV			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5人
<p><b>【授業の目的】</b>          平安期物語作品が、後代にいかに継承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1 講義概要の説明—物語享受の諸相—          2 無名草子1—概説—          3 無名草子2—源氏物語論—          4 無名草子3—その他—          5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語—          6 源氏物語と後期物語2—夜の寝覚—          7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他—          8 中間まとめ          9 源氏物語の続編・偽作 1—概説—          10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①—          11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②—          12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③—          13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①—          14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②—          15 2期まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          &lt;必携書&gt;          特になし。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          &lt;参考書等&gt;          適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。          (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				



対面授業			15011	
授業科目名: 中世文学特講 I			担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院(天皇)本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、所収和歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧的と評される新古今時代の和歌を楽しめる感性を養ってもらいたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 勅撰和歌集について  2. 後鳥羽院について  3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命  4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ  5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』  6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院  7. 和歌の鑑賞② 藤原定家  8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆  9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経  10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親  11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具  12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女  13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王  14. 和歌の鑑賞⑨ 西行  15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15012
授業科目名: 中世文学特講Ⅱ				担当教員氏名: 江草 弥由起
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は平家の公達である維盛、資盛、重衡などの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点が特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 『平家公達草紙』の基礎知識  2. 「内裏近き火」  3. 「青海波」①  4. 「青海波」②  5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」  6. 「公達の盗人」①  7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。  8. 「かたのまもり」  9. 「秋のみやまのもみじ葉」  10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」①  11. 「建春門院の面影」②  12. 「重衡とその想い人たち」①  13. 「重衡とその想い人たち」②  14. 「東北院の遊び」  15. 「隠れ蓑の中将」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト及び定期試験 (manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15013
授業科目名:近代文学特講 I				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				<p>取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。</p> <p>講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。</p>
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イントロダクション</li> <li>2 坪田譲治年譜による作家理解</li> <li>3 作品と同時代および風土について</li> <li>4 坪田譲治の作品理解</li> <li>5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表)</li> <li>6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」</li> <li>7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説</li> <li>8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」</li> <li>9 小説「風の中の子供」および 8 の解説</li> <li>10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」</li> <li>11 10 の解説および期末レポート課題の説明</li> <li>12 同時代資料を使った小説の読解</li> <li>13 同時代資料を使った童話の読解</li> <li>14 期末レポート仮提出とそのフィードバック</li> <li>15 作品分析と作家理解について 期末レポート本提出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15014
授業科目名:近代文学特講Ⅱ				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ				<p>取り扱う作品が指示されたら、必ず読んで授業に臨むこと。</p> <p>講義形式ではあるが、受講者が自身の考えを述べる機会を随時設けるので、常に自己の考えをノートしておくこと。</p>
履修年次 2～4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イン트로ダクション</li> <li>2 宮沢賢治年譜による作家理解</li> <li>3 作品と同時代について</li> <li>4 作品と風土について</li> <li>5 宮沢トシ「自省録」</li> <li>6 童話「虔十公園林」</li> <li>7 童話「めくらぶだうと虹」</li> <li>8 童話「アラムハラドの見た着物」</li> <li>9 童話「ひかりの素足」</li> <li>10 童話「マグノリアの木」</li> <li>11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程</li> <li>12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造</li> <li>13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学</li> <li>14 レポート仮提出とそのフィードバック</li> <li>15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界</li> </ol> <p>レポート本提出</p>				
<p><b>【テキスト】</b>『わたしの宮沢賢治—兄と妹と「宇宙意志」—』(ソレイユ出版 1200 円) 担当教員より授業初回到に販売する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15015
授業科目名:近代文学特講Ⅲ			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 イン트로ダクション(導入と授業の進め方)  2 太宰治の生涯について  3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開)  4 前期文学の特徴  5 中期文学の特徴  6 後期文学の特徴  7 前期作品の読解①  8 前期作品の読解②  9 中期作品の読解①  10 中期作品の読解②  11 太宰治と戦争  12 後期作品の読解①  13 後期作品の読解②  14 太宰治とキリスト教  15 太宰治の死と戦後</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題プリントとコメント用紙の提出(40%)  期末レポート(60%)</p>				

対面授業			15016
授業科目名:近代文学特講IV			担当教員氏名:長原 しのぶ
Special Lecture on Modern Japanese Literature IV			
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  1 インTRODクシヨN(導入と授業の進め方)  2 文学研究の方法から探るマンガの世界①  3 文学研究の方法から探るマンガの世界②  4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について  5 文学とマンガ—太宰治・泉鏡花  6 作品読解①  7 作品読解②  8 文学とアニメ—堀辰雄・梶井基次郎  9 作品読解③  10 作品読解④  11 文学と映画—松本清張・太宰治  12 作品読解⑤  13 作品読解⑥  14 メディア拡大する教科書の中の作家達①  15 メディア拡大する教科書の中の作家達②</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題プリントとコメント用紙の提出(40%)  期末レポート(60%)</p>			

対面授業				15017
授業科目名: 日本語学特講Ⅱ			担当教員氏名: 尾崎 喜光	
Special Lecture on Japanese Linguistics Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 日本語の特徴の一つである「敬語」について、その基本的なしくみを講義する。また、方言や外国語の敬語についても言及する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 ガイダンス、敬語を学ぶ必要性  2 丁重語・尊敬語  3 謙譲語Ⅰ  4 謙譲語Ⅱ(丁重語)  5 美化語  6 授受表現(1)  7 授受表現(2)  8 敬語の誤り・概説(1)  9 敬語の誤り・概説(2)  10 敬語の誤り・各論(1)  11 敬語の誤り・各論(2)  12 敬語の誤り・各論(3)  13 敬語の誤り・各論(4)、全体の復習  14 方言の敬語  15 外国語の敬語  定期試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  使用しない。第1回のガイダンスにおいて、必携書に関連する指示をする。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  国立国語研究所編『国立国語研究所報告 123 言語行動における「配慮」の諸相』(くろしお出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への参加姿勢(出席): 10%  毎授業後に行なう小テスト: 20%  期末試験(定期試験): 70%</p>				

対面授業				15018
授業科目名: 日本語学特講IV			担当教員氏名: 星野 佳之	
Special Lecture on Japanese Linguistics IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。  今年度は、例示の「副助詞」類としてクライの副助詞用法の発生過程を探りたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 「法」という範疇  第2回 品詞について  第3回 述語について  第4回 副助詞と係助詞について  第5回 副助詞各論 1  第6回 副助詞各論 2  第7回 副助詞各論 3  第8回 副助詞各論 4  第9回 副助詞各論 5  第10回 副助詞各論 6  第11回 副助詞各論 7  第12回 副助詞各論 8  第13回 副助詞各論 9  第14回 副助詞各論 10  第15回 副助詞各論 11  定期試験</p>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  ●国立国語研究所のコーパスWebアプリ『中納言』の利用が必須。受講する場合は利用申請を行うこと。  <a href="https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec">https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec</a></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験として、期末レポートを課す。</p>				



対面授業				15019
授業科目名:社会心理学			担当教員氏名:中山 ちなみ	
Social Psychology				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>  社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのかというメカニズムを理解し、自己および人間・社会への洞察を深める。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 イン트로ダクション  2 社会の中の「私」  3 自己の2 側面  4 行為と意識  5 意識の基本構造  6 行為の意図せざる帰結  7 欲求  8 態度とは  9 態度の一貫性の諸理論と事例  10 社会心理学における実験の位置づけ  11 対人魅力の決定要因  12 援助行動  13 リーダーシップ  14 社会的ジレンマ  15 まとめ  定期試験(筆記試験)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  テキストは特に指定しない。ほぼ毎回プリントを配付する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中にその都度、紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  筆記試験:75%  課題レポート:10%  リアクションペーパー:15%</p>				

対面授業			15020
授業科目名: 社会集団・組織論		担当教員氏名: 濱西 栄司	
Social Groups and Organizations			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な社会組織（「会社」、協同組合、行政組織、国際機関、NPO・NGO など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織関係の現れとして分析していく基本的な視座・技法を修得していく。</p> <p>授業では主に Google Classroom を用いて各回の自学習やフィードバック、期末レポートの管理を行う。また自学習を前提として、隣席学生同士（2~3 名）で簡単に意見交換する時間を設けるようにしている。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション: 社会学と社会集団・組織論  &lt;第 I 部 現代の代表的組織&gt;</li> <li>類型とアソシエーション  ——経済: 会社とそれ以外——</li> <li>「会社」の近現代史</li> <li>企業倫理と企業の社会的責任 (CSR)、SDGs</li> <li>同業組合/労働組合の近現代史</li> <li>労働組合の現在とこれから</li> <li>オルタナティブとしての協同組合</li> <li>NPO、社会的企業、ソーシャル・ベンチャー  ——政治: 国家と運動——</li> <li>近代国民国家の形成</li> <li>グローバル・ガヴァナンス</li> <li>業界団体と社会運動</li> <li>&lt;第 II 部 組織の研究&gt;</li> <li>社会学的組織研究: フリーライダーと集合行為論</li> <li>社会学的組織研究: 資源動員論</li> <li>社会学的組織研究: 事例・問題からのアプローチ</li> <li>まとめとこれから</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b>  毎回、レジュメを配布する</p>			
<p><b>【参考図書】</b></p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み: 30%  確認テスト: 30%  期末レポート: 40%</p>			

対面授業			15021	
授業科目名: 宗教社会学			担当教員氏名: 福田 雄	
Sociology of Religion				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  「宗教的な意味」を持つ行為は、何も特定の宗教的場面に限られるものではなく、私たちが日常生活の中であまり意識することなく繰り返し行っている習慣や、災害に襲われたときに夢中で行っている行為の中などに、数多く見られます。  本授業では、宗教と社会の関係について、できるだけ身近な振る舞いや具体的な事例を手掛かりにして掘り下げ、現代社会を理解するための技能を修得します。私たちにとって宗教はどのような意味を持つのかというテーマにかんする知識を、全 15 回の授業を通して学びます。  前半では、今日的なトピックに関連させながら宗教社会学の視点を理解してもらいます。後半では、苦難という観点に焦点を当てながら、事例研究や古典的研究を学びます。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 初詣は「宗教」か？</li> <li>3. 「宗教」とは何か？</li> <li>4. 宗教の定義とその目的</li> <li>5. 折り鶴を燃やすことはなぜ悪か？ 近代社会の聖なるもの</li> <li>6. 生きることを強いることはいかに可能か？ 諸外国の事例</li> <li>7. 生きることを強いることはいかに可能か？ 日本の事例</li> <li>8. なぜ災いをもたらされたのか？ 永井隆の燔祭説</li> <li>9. なぜ災いをもたらされたのか？ 燔祭説への批判とその社会的文脈</li> <li>10. 津波の意味づけ スマトラ島沖地震の津波記念式典</li> <li>11. 津波の意味づけ 東日本大震災の慰霊祭・追悼式</li> <li>12. 「無宗教」式の慰霊祭・追悼式</li> <li>13. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「天職」概念</li> <li>14. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「予定説」</li> <li>15. まとめと振り返り</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  福田雄 2020 『われわれが災禍を悼むとき——慰霊祭・追悼式の社会学』慶應義塾大学出版会 (ISBN 978-4-7664-2654-0)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験(90%)  リアクションペーパー(10%)</p>				

対面授業				15022
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀	
Gender Studies				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識・社会現象や社会問題を取り上げ、検討を加える。ジェンダーに関する基本的な理解を深め、さらに、社会・文化的な性のありようを作り出している構造を解き明かし、現代的課題を提示する。				
<b>【授業内容】</b> 1. 授業の概要説明 2. 「ジェンダー」研究の誕生と発展 3. ジェンダー論の基礎① セックスとジェンダー・グループディスカッション 4. ジェンダー論の基礎②ジェンダーとは何か 5. ジェンダー論の基礎③第1波フェミニズム 6. ジェンダー論の基礎④第2波フェミニズム 7. ジェンダーの社会的構築 8. ジェンダー秩序とジェンダー体制・中間試験 9. ジェンダーの再生産 10. 子ども期のジェンダー 11. メディアとジェンダー 12. 青年期のジェンダー 13. 日常生活のなかのジェンダー 14. 男性学とジェンダー・中間試験 15. 現代社会とジェンダー				
<b>【テキスト】</b> 使用しません				
<b>【参考図書】</b> <参考書等> 参考文献・資料等については講義中に指示する。 適宜資料を配布する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 課題レポート:10% 期末レポート:30% 中間試験2回実施:60%				

対面授業				15023
授業科目名:現代社会学特講 I			担当教員氏名:二階堂 裕子	
Special Topics in Modern Sociology I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、国境を越えて移動する労働者について学ぶ。その目的は、グローバル化の影響のもとで生じる社会現象や社会問題を社会学的な視点から読み解く力を培うこと、また、その過程で自己の価値観を相対化し、新たな視点を獲得することにある。まず、国際的な労働力移動に関する研究動向を概観し、こうした現象を捉えるための基礎知識を身につける。次に、日本の国際移動をめぐる歴史的経緯や背景について理解する。続いて、日本社会における外国人の労働現場に目を向け、外国人の就労実態や日本人との関係のありようを検討する。以上を通して、国際労働力移動をめぐる諸現象や諸問題が、そこに関わる人々の意識や行動とどのように関わり合っているのかについて考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 国境を越えたグローバルな労働力移動  2. 歓迎される移民と排除される移民  3. 国際労働移動とジェンダー  4. 世界都市における分極化  5. 日本社会と移民  6. 日本人の海外移住  7. 日本における産業構造の変化と労働市場開放  8. デカセギ日系人の流入  9. 日系人の顔の見えない定住化  10. 外国人技能実習制度の現状と課題  11. 技能実習生の就労現場  12. 技能実習生の受け入れ政策  13. 送出国からみた外国人技能実習制度  14. 「食の外部化」と外国人労働者  15. 介護現場の外国人労働者</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小課題(授業で学んだことや意見):30%  期末レポート:70%</p>				

対面授業				15024
授業科目名: 日本社会史 II			担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的なありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. はじめに  2. 徳川社会で生きる  3. 「徳川システム」のゆらぎ  4. 開国と幕末社会—地域の視点から—  5. 近代化と地方名望家  6. 近代化と地域の民衆  7. 明治社会を生きる  8. 「家」と農村の女性  9. 小括  10. 都市民衆騒擾の時代  11. 第一次世界大戦後の大衆社会化  12. 恐慌の時代  13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか  14. 総力戦体制下の矛盾  15. むすび</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・渡辺尚志『百姓の力—江戸時代から見える日本—』(柏書房、2008年／角川ソフィア文庫、2015年)  ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』(岩波ジュニア新書、2018年)  ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』(放送大学教育振興会、2015年)  ・大門正克『戦争と戦後を生きる』(小学館、2009年)  その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験ト 70%  リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p>				

対面授業				15025
授業科目名: アジア社会史 I			担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  かつて中国には、千四百年にわたって実施された科挙と呼ばれる制度が存在した。この制度は王朝を支える官僚候補生の代表的な選抜・任用制度であったが、前近代中国社会における人びとの思想や文化・習俗を色濃く反映していた。そのため、なぜこのような制度が必要とされたのか、その制度とはいかなるものであったのか、そして人びとにどのような影響を及ぼしたのかという問題の解明は、中国の歴史・社会そのものを知ることに繋がる。以上のような問題意識のもと、本授業では科挙を題材としてとりあげ、古代～近代における儒教や知識人の世界を中心に講義する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国社会における王朝と民衆とのかかわり</li> <li>2. 県と郷村</li> <li>3. 中国における官僚登用の歴史(1)——漢</li> <li>4. 中国における官僚登用の歴史(2)——魏晋</li> <li>5. 中国における官僚登用の歴史(3)——隋唐</li> <li>6. 中国における官僚登用の歴史(4)——宋</li> <li>7. 科挙合格と官僚任官による社会的成功</li> <li>8. 士大夫の理念</li> <li>9. 民衆と胥吏と官僚</li> <li>10. 科挙合格までの長い道のり</li> <li>11. 科挙の盛行と宗族の発展</li> <li>12. 宗祠・族譜・義荘</li> <li>13. 科挙と移住</li> <li>14. 科挙の廃止と近代中国</li> <li>15. 科挙は近現代の中国社会に何をもたらしたか</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  参考文献は講義中に適宜紹介する。また毎回資料プリントを配付する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小レポート: 10%  期末試験: 90%  (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>				

対面授業				15026
授業科目名:ヨーロッパ社会史Ⅱ			担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> ヨーロッパ史における「罪と罰」「犯罪と刑罰」を取り上げる。千数百年の間に正義と悪の問題がヨーロッパ社会のなかでどのように移り変わってきたかを検討する。前半は宗教世界、後半は世俗世界が対象となる。				
<b>【授業内容】</b> 1. 宗教世界の罪と罰 2. 古代末期の贖罪 3. 中世前期の贖罪 4. 中世後期・近世の贖罪 5. あの世の裁き 6. 異端審問 7. 魔女と悪魔 8. 中世前期;神判 9. 中世盛期;罰金刑 10. 近世;身体刑 11. 近世;国王の正義 12. 18世紀の刑法改革 13. 近現代;監獄刑 14. 近現代;一望監視 15. 近現代;犯罪学				
<b>【テキスト】</b> 毎回の授業で資料教材を配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 平常点(15%) レポート(85%)				



対面授業				15027
授業科目名:考古学 I			担当教員氏名:紺谷 亮一	
Archeology I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 考古学の方法論についての基礎的知識の習得を図る。土器、石器、遺構、人骨、植物遺存体、動物骨の見方、放射性炭素年代測定法について学ぶ。考古学は基本的にモノの分析を通して、当時の社会復元を目指すことを理解する。そして発掘調査による、具体的なデータ蓄積、資料操作なしに、考古学的進歩が無いことを明らかにする。				
<b>【授業内容】</b> 1 講義概要 2 考古資料とは何か 3 考古資料の見方 4 考古学の年代 5 考古学データの扱い方 6 考古学と民族学・民俗学 7 文献資料と考古資料 8 日本考古学の起源 9 魏志倭人伝とは何か 10 魏志倭人伝の内容考察 11 魏志倭人伝の考古学的評価 12 発掘調査とは 13 発掘調査の方法と意義 14 考古学とマスコミ 15 総括				
<b>【テキスト】</b> <必携書> 『魏志倭人伝の考古学』, 佐原真著, 岩波書店, 2003 年				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> レポート(2 回) 50% ノート提出 50%				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心  
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真 貼付
----------

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		女		元号( )	年
現住所	〒 —  Tel ( ) —				
メールアドレス	@				

\* 履修受付締切日：前期：4月4日(木)まで 後期：9月12日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15	<input type="checkbox"/>	
15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15	<input type="checkbox"/>	
15003	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30	<input type="checkbox"/>	
15004	英語学・言語学研究ⅣA	専門	齋藤 衛	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30	<input type="checkbox"/>	
15005	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00	<input type="checkbox"/>	
15006	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00	<input type="checkbox"/>	
15007	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30	<input type="checkbox"/>	
15008	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4	女子のみ	月 14:45~16:15	<input type="checkbox"/>	

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15009	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	1期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15010	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	2期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15011	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15012	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15013	近世文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15014	近世文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15015	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15016	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15017	日本語学特講Ⅱ	専門	尾崎 喜光	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15018	日本語学特講Ⅳ	専門	星野 佳之	2	2期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15019	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1期	2~4	女子のみ	火 9:00~10:30		
15020	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15021	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15022	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		
15023	現代社会学特講Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15024	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15025	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15026	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00		
15027	考古学Ⅰ	専門	紺谷 亮一	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		

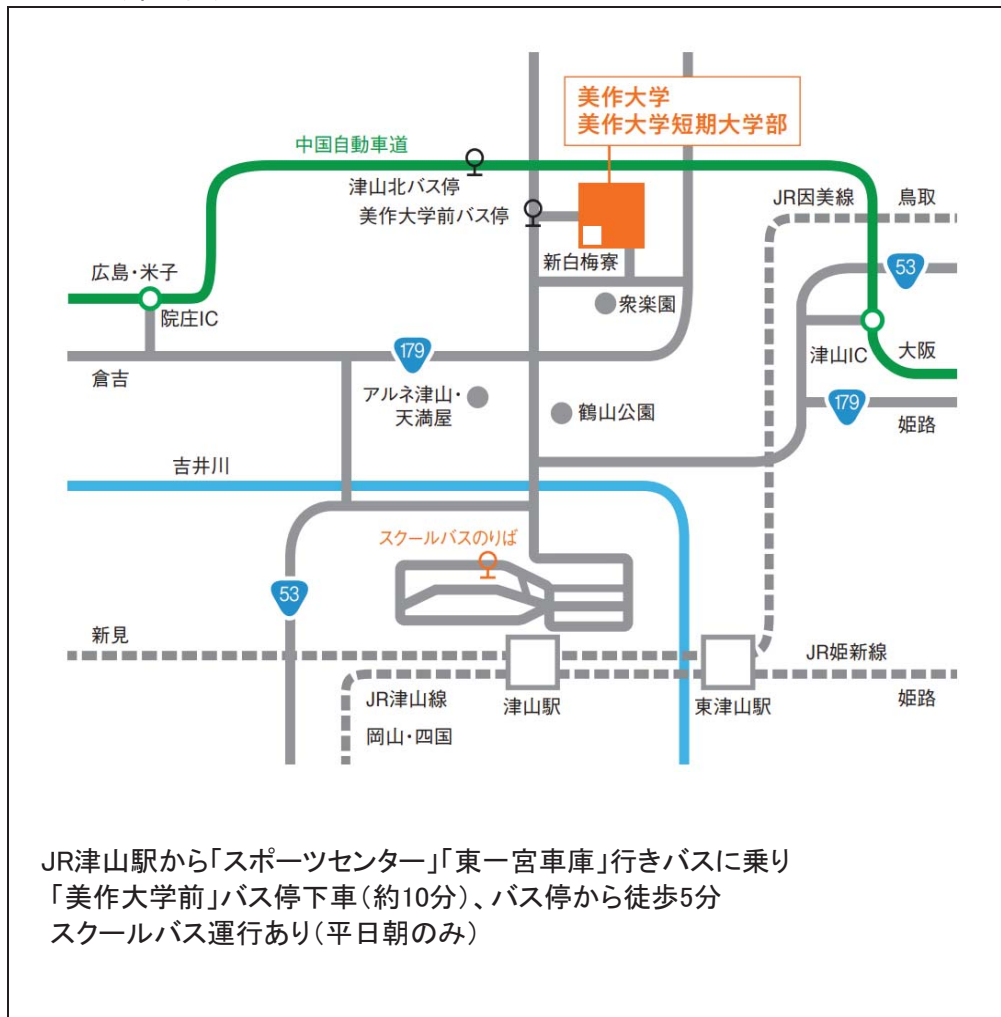
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (16) 美作大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月9日	～	2024年7月29日
	後期	2024年9月25日	～	2025年1月29日
試験期間	前期	2024年8月1日	～	2024年8月8日
	後期	2025年2月3日	～	2025年2月10日
授業時間	1限	8:40	～	10:10
	2限	10:20	～	11:50
	3限	12:40	～	14:10
	4限	14:20	～	15:50
	5限	16:00	～	17:30

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山県津山市北園町 50
電話	0868-22-7310 (教務課直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期 4月5日(金)  
後期 9月20日(金)  
※所属大学によって提出期間が別に定められている場合はその指示に従ってください

・ 履修手続

所属大学の窓口にて上記の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください

・ 施設利用

1. 美作大学在学の学生と同じ扱いとします
2. 以下の印刷物等を配付します
  - ①履修要項 (教務課)
  - ②シラバス(該当科目) (教務課)
  - ③授業時間割表 (教務課)
  - ④行事予定表 (教務課)
  - ⑤学生証 (総務課)
  - ⑥キャンパスガイド (学生課)
  - ⑦駐車許可証(該当者のみ) (総務課)
  - ⑧図書館利用案内 (図書館)

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mimasaka.cloud-syllabus.com/>

・遠隔授業科目

オンライン授業				16101
韓国語 I			朴 貞淑	
Korean I				
履修年次 1~4	1単位	前期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>            アンニョンハセヨ！ 基礎から学ぶ韓国語である。韓国語は、語順及び語彙が日本語と最も近い言語であり、文字と発音さえしっかり身につければ、楽しく話せる外国語である。本授業では、「聞く・話す・読む・書く」に関する基礎的な能力を養成することを目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>            本授業では、韓国語の文字・発音・文法などの基礎を理解し、基本表現を身に付け、簡単なコミュニケーションができる能力を学ぶ。ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会への理解を深める。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>            (1)オリエンテーション 「韓国語 I」授業におけるガイダンス            (2)基本母音字 ハングルの構成            (3)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (4)基本子音字 ハングルの構成、ハングル表            (5)合成母音字 母音と子音の構成、合成母音字の組み合わせ            (6)パッチム 初音・中音・終声、発音のルール、発音の変化            (7)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (8)あいさつ、自己紹介 挨拶、自己紹介の表現            (9)趣味は何ですか？ 「何」を表す疑問詞            (10)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (11)訪問 場所・位置・方向を表す指示詞            (12)空港で 固有数詞・時刻・時間の表現            (13)基本形・丁寧形・会話形 基本形・丁寧形・会話形の活用            (14)平叙文・肯定文と否定文・疑問文 平叙文・肯定文と否定文・疑問文の活用            (15)まとめ 1課～8課まで前期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            『実践韓国語』改訂 2 版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・遠隔授業科目

オンライン授業				16102
韓国語Ⅱ			朴 貞淑	
Korean Ⅱ				
履修年次 1～4	1単位	後期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、「韓国語Ⅰ」に引き続き、文字と発音に重点を置きながら、使用頻度の高い語彙また、基本的な文法や実践的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力を高める。また、ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          本授業では、韓国語の文字・発音・文法などを理解し、基本表現を身に付け、コミュニケーションができる能力を学ぶ。視聴覚教材を用いて、韓国の文化の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>          (1)オリエンテーション 「韓国語Ⅱ」授業におけるガイダンス、前期内容の復習          (2)レストランで 会話、尊敬語の表現          (3)意志・推測・依頼 意志・推測・依頼の表現          (4)地下鉄で 希望・願望の表現          (5)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (6)何月何日ですか？ 漢数詞、数詞、年・月・日の表現          (7)今日は何曜日ですか？ 否定形、曜日の表現          (8)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (9)家族 家族・親族の名称          (10)ソウル旅行 現在進行形、誘い・推量の表現          (11)お正月 過去形、お正月の風習紹介          (12)書店で 助数詞、通貨の表現          (13)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (14)規則活用、不規則活用 規則活用、不規則活用、事例表現          (15)まとめ 9課～16課まで後期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          『実践韓国語』改訂2版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16001
情報のユニバーサルデザイン論			関根 千佳	
Theory of Universal Design for Information				
履修年次 2～4	2単位	前期	集中	5,6月の土曜日・日曜日
<p><b>【授業の目標】</b>  この授業では、学生が世界最高齢国家の日本で、福祉職を始めとする全ての職種で必要不可欠な考え方であるユニバーサルデザイン（誰もが使いやすいまちやもの、情報、サービスの作り方と選び方）と、高齢社会を知るジェロントロジー（高齢学）の基礎について学ぶ。この概念について説明し、自分の仕事に活かせるようになることを目標とする。</p>				
<p><b>【授業の内容及び方法】</b>  基本的に講義形式であるが、障害者の社会参加や高齢社会に関する多くの事例を映像などで見て、課題や解決策をグループで話し合ったり、その結果を発表するといったアクティブ・ラーニング形式での講義となる。欧米を始め各国の障害者支援技術やユニバーサルデザインにおける現場を知り、日本国内の企業や行政機関などの優れた取り組みを知り、障害や加齢を自分事として捉えることや、世の中を少しでも明るい方へ変えていく方法について考える。  ただ座って講義を聴くだけでなく、授業内でのグループディスカッションや発表、フィールドワークなども多用する。リアルの講義を基本とするが、状況によっては、ハイブリッドで行う可能性もある。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  (1)自己紹介とアイスブレイク「私の考えるユニバーサルデザイン」  (2)ユニバーサルデザインの考え方はなぜ必要か  (3)まちのユニバーサルデザイン  (4)もののユニバーサルデザイン  (5)サービスやスポーツのユニバーサルデザイン  (6)情報やICTのユニバーサルデザイン  (7)テレワークとワークライフバランス  (8)カッコいい社会起業家を探す  (9)ジェロントロジーって何？  (10)アクティブシニアのライフスタイル  (11)高齢者の社会参加、就労、学び  (12)ヤングケアラーの問題をどう考える？  (13)高齢者と社会のコミュニケーション  (14)よく生きて、よく死ぬための死生学入門  (15)人生を完成させるためのデザイン</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  『ユニバーサルデザインのちから』関根千佳著 生産性出版 2010年  『東大が作った高齢社会の教科書』東京大学出版会 2017年</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  『情報社会のユニバーサルデザイン』放送大学テキスト 2019年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席点 40% 授業中の議論への参加と発表 30% 最終レポート 30%</p>				



・対面授業科目

対面授業				16002
災害を知る			オムニバス	
Disaster Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月下旬～9月上旬
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、近年多発している自然災害のしくみと、災害に関わる情報を理解でき、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          授業はオムニバス講義形式で行う。最初に近年発生した自然災害と防災士の役割を概説した後、教科書に沿って防災士に必要な知識を具体的に説明する。各講義終了時に質問を受け付け、最終回で回答する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          (1)ガイダンス          (2)地震・津波による災害(Ⅰ)          (3)地震・津波による災害(Ⅱ)          (4)地震・津波による災害(Ⅲ)          (5)火山災害          (6)震災火災・住宅火災          (7)気象災害・風水害・土砂災害          (8)災害関連情報と予報・警報          (9)被害想定・ハザードマップと避難情報          (10)災害情報の活用と発信          (11)災害医療とこころのケア          (12)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)          (13)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ)          (14)企業・団体の事業継続          (15)まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          提出課題(60%)、配布課題の取り組み(40%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16003
災害に備える			オムニバス	
Disaster Prevention Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月下旬～9月上旬
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、災害発生後の行政の対応や、避難所設置、ボランティア活動など、発生後の復旧、復興の流れを理解し、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          授業はオムニバス講義形式で行う。地域の防災活動、減災や危機管理の概念を具体的事例を取り上げながら説明する。防災訓練では、グループワークによる実技演習を行う。この授業では、実際に防災や災害支援等に関わっている専門職等も担当し、現場理解を促す事例を紹介する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)</li> <li>(2)ライフライン・更衣通インフラの確保(Ⅱ)</li> <li>(3)災害と保険、都市防災</li> <li>(4)防災士に期待される活動</li> <li>(5)耐震診断と補強</li> <li>(6)地震・津波の備え</li> <li>(7)風水害・土砂災害等への備え</li> <li>(8)避難所の設置と運営協力</li> <li>(9)地域防災と多様性への配慮</li> <li>(10)災害ボランティア活動</li> <li>(11)災害ボランティア活動</li> <li>(12)防災訓練① 実技訓練</li> <li>(13)防災訓練② 図上演習</li> <li>(14)専門職と防災活動</li> <li>(15)企業・団体の事業継続</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業で指示された課題の実施状況により単位を認定する</p>				

・対面授業科目

対面授業				16004
地球環境論			下池 洋一	
Global Environment Theory				
履修年次 1～4	2単位	後期	火曜 5コマ	
<p><b>【授業の到達目標】</b> 地球環境諸問題の科学的メカニズムを理解し、一般市民に対して分かりやすく説明できる。問題を解決し、持続可能な社会を目指すには、国際協力と市民レベルでの自覚と行動が必要であることが理解できる。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b> はじめに地球の誕生と生命の起源について概説し、後半で、われわれが現在直面している地球環境諸問題の発生原因、メカニズム、対策について項目ごとに具体的に解説する。外部講師の講義では、グループ討論を予定している。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>(1)地球環境総論：地球環境問題の概略  (2)地球環境の歴史：地球の誕生と生命の進化  (3)大気汚染：汚染物質の発生源と対策、PM2.5の越境汚染  (4)地球温暖化①：温室効果ガスと温暖化メカニズム  (5)地球温暖化②：温暖化対策と将来の予測、京都議定書からパリ協定へ  (6)酸性雨：酸性雨の発生機構、被害状況と対策  (7)オゾン層の破壊①：オゾンホール発見とその発生メカニズム  (8)オゾン層の破壊②：オゾン層保護と対策  (9)水質汚染：汚染要因と対策、赤潮と富栄養化  (10)土壌汚染：汚染要因と対策、最近の発生事例  (11)環境保全に向けた活動：リスク評価と環境教育  (12)廃棄物とリサイクル：廃棄物の定義と処理方法、リサイクルの種類  (13)有害化学物質による汚染：有害化学物質の特徴と汚染の現状  (14)エネルギー資源と環境問題①：世界のエネルギー消費の現状、国、地域の特徴  (15)エネルギー資源と環境問題②：再生可能エネルギーの利点と問題点</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 適宜プリントを配布します</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 『環境科学入門』(化学同人)、『私たちと環境』(東京教学社)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 試験(80%)、提出課題(20%)</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

美作大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 -  Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日:前期:4月5日(金)まで 後期:9月20日(金)まで

\* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
16101	韓国語Ⅰ	教養	朴 貞淑	1	前期	1~4	オンライン授業 定員 20名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
16102	韓国語Ⅱ	教養	朴 貞淑	1	後期	1~4	オンライン授業 定員 20名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
16001	情報のユニバーサルデザイン論	専門	関根 千佳	2	前期集中	2~4	定員 20名	5,6月の 土曜日・日曜日	<input type="checkbox"/>	
16002	災害を知る	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~ 9月上旬	<input type="checkbox"/>	
16003	災害に備える	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~ 9月上旬	<input type="checkbox"/>	
16004	地球環境論	教養	下池 洋一	2	後期	1~4	定員 20名	火 16:00~17:30	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚